

2026年(令和8年)5月5日号 第2658号

- 1 第45回 広島県臨床検査精度管理向上研修会**  
臨床検査精度のさらなる向上への取り組み
- 4 広島がん高精度放射線治療センター (HIPRAC) 県民公開セミナー**  
発見しよう！自分に適した「がん治療」
- 11 令和7年度 日本医師会医療情報システム協議会**  
医療DX新時代～現状の課題と未来の展望～
- 18 理事会記事 (4月8日)
- 19 e-広報室のご案内
- 20 会員へのお知らせ  
令和8年度「働き方改革推進支援助成金」業種別課題対応コース(病院等)等(情報提供)  
厚生労働省「令和8年度働き方改革推進支援助成金」団体推進コース(ご案内)  
医療機関等支援事業のご案内  
医療機関等における賃上げ・物価上昇に対する支援給付金のご案内 他
- 35 医師会行事 (4月)
- 36 社保の栞 令和8年度診療報酬改定ホームページ及び関連書籍 e-資料 通達文書(社保関係)掲載情報
- 42 ぽぽじろーだより ひろげようHMネット-参加医療機関の声-INTERVIEW(大手町こぶけ内科クリニック 小武家 和博 先生)  
AI胸部X線画像診断支援システム 機能追加のお知らせ  
ひろしま医療情報ネットワーク(HMネット)は「電子的診療情報連携体制整備加算」の施設基準(10)を満たしています
- 45 広島あっちこっち No. 241 症状あれば早めの受診を(たにクリニック 谷 充理)
- 46 広島県医師協同組合情報 針刺し事故等補償プラン
- 47 募集コーナー
- 65 学術講演会・学会ガイド(5月5日～6月4日)
- 66 学術講演会
- 68 学会案内  
日本医師会認定産業医研修会  
広島県医師会主催 令和8年度 第1回産業医研修会  
市郡地区医師会等が主催する医療安全研修会
- 79 編集室 浮世絵鑑賞を十倍楽しむ方法(住居 晃太郎)

会員の先生方は、e-広報室からカラーで速報を閲覧できます。



## 募集

広島県医師会・広島市医師会共催事業

# 被爆2世医師による被爆伝承手記

8月6日の原爆の日にあわせて、広島県医師会館内「被爆伝承コーナー」に展示する、被爆2世医師による被爆伝承手記を募集します。

これまでご家族から聞いてこられた被爆体験や、被爆地ヒロシマで医療に携わる中で感じておられる思いなどをご寄稿いただき、被爆の記憶を未来へつないでいくことを目的としています。

投稿締切：令和8年6月15日(月)まで  
※詳細については、P.60をご覧ください。



# 第45回 広島県臨床検査精度管理向上研修会

— 臨床検査精度のさらなる向上への取り組み —

と き 令和8年3月15日(日) 午後1時30分

と ころ 広島県医師会館 ホール Web開催



広島県医師会 常任理事 橋本 成史

広島県医師会 常任理事 中島浩一郎



特別講演の様子 講師の岸川暢介先生(左)と座長の茂久田翔先生(右)

本研修会は、令和7年11月に県内各施設の臨床検査の迅速で均質な精度の高い検査を維持することを目的に実施した「第53回広島県臨床検査精度管理調査(主催:広島県医師会、広島県臨床検査技師会)」の「結果の評価と解説」、さらに「成績優秀施設の表彰」を行うために開催した。特別講演では、吉島病院 総合内科・総合診療科 医長 岸川暢介先生より「当院における新型コロナ後遺症外来の実際」と題して講演が行われた。

参加者数は302名であった。

## 開会挨拶(要旨)

広島県医師会会長 松村 誠

(代読: 広島県医師会常任理事 中島 浩一郎)

広島県臨床検査精度管理調査は、迅速かつ均

質な精度の高い検査を維持することを目的に、広島県医師会が昭和48年に第1回調査を実施して以来、今年度で53回を数えるまでになった。これもひとえに、毎年熱心に参加いただいている参加施設の皆さま方の協力と尽力の賜物であ

り、心より感謝申し上げます。

近年、医療の高度化・専門分化が急速に進み、臨床検査を取り巻く環境も大きく変化している。検査技術は日進月歩で進化し、より高度で専門的な知識と精度管理体制が求められる時代である。その中において、臨床検査技師の皆さまは、診断や治療に不可欠な検査を担い、正確で信頼性の高い結果を通じて、医療の質と安全を支える極めて重要な役割を果たしている。早期発見・早期治療のみならず、予防医療の推進、さらには県民の安心につながる医療基盤そのものを支えるものである。皆さまの日々のたゆまぬご努力に、改めて深く敬意を表する。

## 第53回広島県臨床検査精度管理調査 成績優秀施設への表彰および功労者表彰

令和7年11月に実施した本調査について、成績上位9施設の表彰を行った。成績最優秀施設(4施設)は満点(575点)であった。

### 成績最優秀施設

- ・ 県立二葉の里病院
- ・ 広島市立広島市民病院
- ・ 広島市立北部医療センター安佐市民病院
- ・ マツダ病院

### 成績優秀施設

- ・ 福山市民病院
- ・ 中国労災病院
- ・ 福山医療センター
- ・ 尾道市立市民病院
- ・ 厚生連尾道総合病院

また、日本臨床衛生検査技師会臨床検査標準化事業基幹4施設へは、本調査の目標値の設定における協力に対して感謝状を授与した。

### 日臨技臨床検査標準化事業基幹施設により表彰対象から除外

- ・ 広島大学病院
- ・ 県立広島病院
- ・ 広島赤十字・原爆病院
- ・ 厚生連広島総合病院

## 第53回広島県臨床検査精度管理調査 結果の総評

臨床検査精度管理推進委員会委員  
広島大学病院 感染症科 診療准教授  
北川 浩樹

微生物検査のフォトサーベイは、2025年4月に改正された感染症法の届出基準を反映したカルバペネム耐性腸内細菌目細菌(CRE)に関する問題を出題し、回答率は90%を超える良好な結果であった。遺伝子検査は、昨年度まで結核菌群試料での陽性不一致が見られたが、試料調整により改善した。ただし、今回の試料は臨床検体より濃度が高く、今後の課題と考えられる。また今年度は、正答率が低くても臨床検査上重要な問題については評価対象とした。さらに来年度に向けた課題として、疾患名の表記について、近年、用語の整理が進んでおり、例えば「悪性リンパ腫」ではなく「リンパ腫」と表記するなど、新しい分類や用語に基づいた表現が推奨されている。今後は問題作成や選択肢について、新しい分類基準に基づく用語の使用を検討していく。

## 特別講演

### 当院における新型コロナ後遺症外来の 実際

吉島病院 総合内科・総合診療科  
医長 岸川 暢介

吉島病院の後遺症外来は令和3年10月に開設された。診療体制は火・水・木の午後に新患2枠、再診3枠を基本とし、ガイドラインや資料を用いて後期研修医とともに診察してきたが、実際には枠内に収まらないほど多くの患者を診療してきた。

開設後1年で242例を検討した時点では、患者の多くが自らインターネットで検索して受診しており、紹介は4割未満であった。しかし、令和7年9月までのデータでは紹介患者が大幅に増加しており、地域の開業医がまず対応し、難治例を吉島病院へ紹介する流れが定着したことがうかがえる。

受診者は広島市内が中心で、特に30~40代女性が多く、主症状は全身倦怠感、嗅覚・味覚障害、頭痛、ブレインフォグであった。

治療の基本は安静であり、症状に応じて補中益気湯や加味帰脾湯などの漢方薬を使用してきた。初診患者数は令和4年の187人をピークに、

その後は減少し、現在は月1~2人程度で落ち着いている。一方、再診患者は大きく減らず、短期間で回復する層と、数年単位で通院を続ける層が併存していることが分かった。後遺症は、短期間で治る患者と長期にわたり患う患者の二つの層に分かれるのが特徴である。

症例としては、軽症感染後に倦怠感などを訴えながらも、安静と漢方治療により1~2ヵ月ほどで社会復帰する短期改善例が典型的であった。一方、少し無理をすると数日寝込む「クラッシュ」を繰り返す患者では、回復まで2年半を要した例や、4年近く経っても改善しない例もあった。クラッシュは慢性疲労症候群に類似した病態であり、長期化を示唆する重要な症状と考えられた。

著効例としては、①10代男子：起立時頻脈を伴う体位性頻脈症候群（POTS）症状に対し、水分・塩分摂取として1日水分2リットルおよびカップラーメン1個の摂取を指導した。②30代男性：抑うつが前景に出いたため、心療内科との併診により改善した。③30代男性：コルチゾール低値およびACTH低値が持続する副腎不全様病態に対し、コートリル投与を開始した。

長期化する患者への対応で重視している診療

上のポイントは、①患者の理解、②患者の諦め（容認）、③患者の自立支援である。後遺症は外見上分かりにくく、周囲の理解不足が問題となる。感染流行は収束傾向にあるが、後遺症患者への継続的支援は今後も重要である。

## 担当常任理事コメント

第45回広島県臨床検査精度管理向上研修会は、会場およびWebを合わせて302名が参加し、臨床検査精度管理に対する関心の高さが改めて示された。本年度の精度管理調査は全体として良好な結果であり、県内における検査水準の維持・向上が確認された。一方で、成績評価方法については今後の検討課題として提起された。

また、特別講演では新型コロナ後遺症外来の実際が紹介され、症状の多様性や患者支援の重要性について多くの示唆が得られた。

臨床検査は医療の質と安全を支える基盤であり、今後も関係職種との連携を一層深めながら、県民に安心・安全な医療を提供していくことが重要である。

(橋本 成史)

## 不正大麻・けし撲滅運動月間

4月1日~6月30日

5月・6月は「不正大麻・けし撲滅運動月間」です。※広島県は4月から6月  
広島県では、みなさんに大麻・けしに関する正しい知識をもっていただき、不正な栽培及び自生大麻・けしを除去して、その撲滅を図る運動を行っています。

- ・許可なく栽培・所持してはいけません。
- ・身近で自生していることがあります。
- ・判断がつかない場合は相談してください。

詳しい特徴・見分け方などを広島県のホームページで説明しています。

不正栽培または自生している大麻・けしを発見した場合は、中国四国厚生局麻薬取締部、都道府県薬務主管課、保健所、警察署へ連絡してください。

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/yakubutsurannyoubousi/>

# 広島がん高精度放射線治療センター (HIPRAC) 県民公開セミナー

—発見しよう！自分に適した「がん治療」—

と き 令和8年3月7日(土) 午後2時

ところ 広島県医師会館 ホール Web開催



広島県医師会 常任理事 茗荷 浩志



参加者からの質問に答える講師

令和8年3月7日(土)、広島がん高精度放射線治療センター（以下「HIPRAC」）の共同事業者である広島県、広島市、広島大学病院、県立広島病院、広島市立広島市民病院、広島赤十字・原爆病院、広島県医師会の7者共催により標記のセミナーを開催した。

当日は会場開催にWeb配信を併用し、一般県民や医療従事者等あわせて253人（会場180人、Web73人）に参加いただき、盛会裏に終了した。

## 挨拶(要旨)



松村 誠  
広島県医師会  
会長

現在、日本人の2人に1人が「がん」になる時代であり、「がん」は大変身近な病気となっている。その一方で、医療の進歩により3人に2人は治る時代でもあり、早期発見・早期治療により「がん」は決して不治の病ではなくなっている。

その「がん」の中核的な治療がHIPRACが全力で取り組んでいる放射線治療である。このHIPRACは、広島県が平成27年10月に開設し、広島県医師会が運営している施設であり、今年で11年目を迎える。この間、皆さまに安心・信頼いただける施設として、県内のみならず、他県からも患者さんを紹介いただき、全国でもトップクラスの治療実績を上げるまでになっている。

本日は、第一線で活躍される専門医の先生方に、非常に重要ながんの治療に関する講演をしていただく。本日のセミナーが、皆さまにとって健康管理・健康増進維持の一助となれば幸いである。



北原加奈子  
広島県健康福祉局  
局長

「がん」は死亡原因のトップであり、広島県では年間23,000人以上が「がん」と診断され、8,000人以上が「がん」で亡くなっている。

広島県では、この「がん」の医療に関して、「第4次広島県がん対策推進計画」に基づき、県内のどこでも、あらゆる場面に対応する隙間のない総合的ながん対策を推進していくため、「がんの予防・がん検診」、「がん医療」、「がんとの共生」の3つの分野を柱として取り組みを進めている。

「広島がん高精度放射線治療センター」の運営は、広島大学病院、広島市民病院、広島赤十字・原爆病院、県立広島病院の4基幹病院と広島県医師会、広島市、広島県を合わせた7者の共同事業として行われており、本県の「がん医療」の重要な取り組みの1つとなっている。

本セミナーを通じて、「がん治療」に関する知識を深めていただけるものと期待している。

## 講演

座長：広島がん高精度放射線治療センター  
センター長 影本 正之  
「広島県のがん対策」

広島県健康づくり推進課がん対策担当監  
山根 一人

広島県で令和5年に「がん」と診断された人は22,837人で、平成15年の16,807人と比較すると20年で35.9%増えている。また、日本人が生涯に「がん」と診断される確率は、男性62.1%・女性48.9%で、まさに「がん」は国民病の1つとなっている。さらに、広島県の令和6年度年間死亡者35,599人のうち、「がん」で亡くなった方は8,342人と全体の23.4%を占め、昭和54年から死因の第1位となっている。県民全体に関係する課題として「がん対策」に取り組むべく、令和6年3月に「第4次広島県がん対策推進計画」を策定し、「75歳未満のがんによる年齢調整死亡率を計画終期に53.6人以下とする」ことを全体目標に掲げ、3つの柱で取り組みを進めている。

1つ目の柱の「がんの予防」では、平成27年に「広島県がん対策推進条例」を制定し、国や他県に先駆けて受動喫煙防止対策を定めた。さらに令和元年に条例の改正を行い、子どもに対する受動喫煙防止対策を強化し、学校等を敷地内完全禁煙としている。また「がん検診」では、平成24年からデーモン閣下が広島県がん啓発特使に就任し、がん検診に行くよう訴えていただいている。これにより、がん検診の認知度は高まったものの受診率は低く、受診率60%を目指して取り組みを進めている。

2つ目の柱の「がん医療」の取り組みとして「広島がん高精度放射線治療センター」を開設し、開設以来、6,000人以上の患者さんを治療している。

3つ目の柱の「がんとの共生」では、治療と仕事が両立できる環境整備として、両立支援コーディネーターの配置や、社会保険労務士会と連携した研修等を行っている。さらに、将来子どもを産み育てることを望む可能性のある小児、思春期・若年がん患者等が希望を持って治療に取り組めるように、妊孕性温存療法により凍結保存した精子や卵子を用いて行う生殖補助医療に要する費用や、療養生活の質の向上を図るためのウィッグ購入費用の一部助成を行っている。また、「広島がんネット」では、がんに関する情報提供・相談支援として幅広い情報を公開している。

## 「乳がん」



権丈 雅浩  
広島がん高精度  
放射線治療センター

HIPRACは開設から10年を迎え、これまでに6,000人を超える患者の治療を行ってきた。その中でも最も多いのが乳がん患者であり、これまでに1,000人以上の治療に携わってきた。

まず、乳がん罹患した50代女性の1例をもとに、診療の経過を示す。この女性は、以前は2年に1回乳がん検診を受けており、異常を指摘されたことはなかった。しかし、ここ数年は検診から遠ざかっていた。ある日、入浴中に右乳房に硬いしこりを触れたため、乳腺クリニックを受診し、各種検査を受けた。その結果、2cm程度の腫瘍が認められ、針生検により乳がんと診断された。その後、精密検査としてMRI検査やPET検査、追加検査が行われた。その結果、転移のない早期乳がんであり、ホルモン療法が効きやすいルミナルタイプと診断された。治療方針としては、まず手術によりがんを切除し、リンパ節転移の有無を確認することとなった。手術結果を踏まえて、その後の治療方針を決定する流れであった。手術日決定後、麻酔科および放射線治療科で術前診察を受け、乳房部分切除術とセンチネルリンパ節生検が施行された。手術の結果、がんはすべて切除され、リンパ節転移も認めなかった。しかし、詳細な病理検査の結果、再発リスクがやや高いことが判明し、化学療法が勧められた。数種類の抗がん剤を組み合わせた治療を行った後、放射線治療を施行し、その後5年から10年程度のホルモン療法を継続する方針となった。まず半年間の抗がん剤治療を受けた。続く放射線治療は平日に毎日通院して行い、合計16回であった。放射線治療終了から3ヵ月後には、放射線皮膚炎はかなり軽快していた。スキンケアを継続しながら、腕のストレッチも続けていた。1年が経過した頃にはすっかり通常の生活にもどった。現在は定期的にマンモグラフィやエコー検査を受け、再発がないことを確認している。以上が乳がん診療の1つの例である。

続いて総論を述べる。乳がんは、日本の女性で最も多くみられるがんである。2021年の罹患数は、上皮内がんを含めて約11万人であり、年々増加している。一方、死亡数は約1万5,000人で、罹患数と比較すると少なく、乳がんと診断されても治療によって長く元気に生活できる患者が多いことが分かる。

乳がんは幅広い年齢層で見られ、80歳以上でも罹患することがある。発見の契機としては、自らしこりに気付いた例や、無症状のまま検診の画像検査で発見された例が多い。これに対して、痛みや出血などの症状を契機に発見される例は1割以下である。定期的な検診受診と、日頃から乳房の変化に注意を払うことが重要である。

乳がんは、大きく転移しにくい非浸潤がんと、転移の可能性がある浸潤がんに分けられる。さらに、分子マーカーなどによって細かく分類される。タイプによって有効な薬剤が異なり、治療の組み合わせ方も変化する。乳がん治療には、手術、薬物療法、放射線療法という3つの柱がある。がんのタイプ、進行度、患者の全身状態などに応じて、これらを組み合わせて治療を行う。手術は多くの患者で治療の中心となり、目に見える病変を取り除くのに有効である。一方で、目に見えない微小病変まで手術のみで完全に制御することは難しい場合がある。薬物療法は全身に効果がおよぶ。画像に描出されない微小病変にも対応できる可能性があるが、副作用も全身に現れ得る。放射線療法は、照射範囲に含まれる目に見えないがん細胞の制御に有用であるが、治療可能な範囲には限界があり、晩期障害のリスクにも配慮が必要である。

放射線療法は、手術後の再発予防として行われるほか、胸壁やリンパ節への再発時、あるいは骨や脳への転移時にも行われる。術後照射では、平日に1日1回通院し、がんの状態に応じて16回から30回程度、期間としては3週から6週程度かけて治療する。1回の治療時間は数分程度であり、照射した放射線が体内に残ることはない。副作用は主として照射部位に限られる。乳房照射では、通常、脱毛や吐き気は生じず、問題となるような白血球減少も一般的ではない。主な副作用は照射部位に生じる放射線皮膚炎である。まれに放射線肺炎や心膜炎が起こることもある。リンパ節領域を治療する場合には、腕のむくみに注意が必要である。また、ごくまれではあるが、二次がんのリスクにも配慮を要する。

乳がんになりやすい要因としては、乳がんの既往、血縁者に乳がん患者が複数いること、偏った食生活、飲酒、喫煙、肥満などが挙げられる。しかし、日本人女性では9人に1人が乳がんになるとされており、誰にとっても無関係な疾患ではない。現時点で、乳がんを絶対に防ぐ方法はない。

自分で乳房のしこりに気付いた場合には、慌てずに経過を見ることも必要であるが、気になる変化が続く場合には乳腺クリニックを受診すべきである。しこりがはっきり触れる場合や、一定期間たっても変化が続く場合には、早期受診が望ましい。また、痛みがなくても、乳頭から血性分泌がみられた場合には受診が必要である。定期的に乳がん検診を受けることで、がんが大きくなってから発見される可能性を減らすことができる。早期発見のためにも、定期的な乳がん検診受診が重要である。

乳がんと診断された患者、あるいは治療中の患者にとって重要なのは、自身の病期やがんのタイプを知ること、今後の治療の見通しや治癒の可能性について主治医に確認すること、そして定期受診を継続することである。また、放射線治療後に、咳、息切れ、微熱などが続く場合には早めの受診が必要である。加えて、腕のむくみや首から肩にかけてのこわばりに注意し、無理のない範囲でストレッチを継続することが勧められる。万が一再発が認められた場合でも、まず現在の病状を再評価し、これまでに受けた治療内容を踏まえて、今後の治療方針を検討することが重要である。医学は日々進歩しており、以前には存在しなかった治療選択肢が利用可能となっている場合もある。

乳がん患者は年々増加しており、高齢者の乳がんも増えている。一方で、医学の進歩により、治癒が期待できる患者も増えている。早期発見ができれば、治癒の可能性はより高くなり、治療負担も軽減されることが期待される。セルフチェックを行うとともに、定期的に乳がん検診を受けることが重要である。

## 「肺がん」



今野 伸樹  
広島大学病院

肺がんは、最新の統計では部位別のがん罹患数の第2位で、死亡数の第1位となっている。罹患数は増加傾向にあるが、死亡数は横ばいになりつつある。発生率は50歳以上で急激に増加し、死亡リスクも年齢と共に増加しているが、高齢化している

ことを踏まえた年齢調整をすると、死亡率は減少傾向にあり、早期発見や医療の進歩によるものと考えられる。喫煙者の肺がんリスクは男性4.4倍・女性2.8倍であり、喫煙開始年齢が若いほど、また、喫煙量が多いほど、肺がんリスクは高くなるため、やはり禁煙が望ましい。肺が

ん検診には、非喫煙者も対象として40歳以上で年1回の受診が推奨される「胸部レントゲン検査」と、50歳以上で喫煙指数（喫煙年数×1日本数）が600以上の方の受診が推奨される「喀痰細胞診」があり、異常が見つかった場合には胸部CT検査を行う。

肺がんの進行とステージは、肺の中にがんがとどまっている場合はⅠ期、肺門リンパ節への転移はⅡ期、縦隔リンパ節への転移はⅢ期、肺以外の部位にも転移している場合（遠隔転移）はⅣ期と分類される。肺がんの種類には、一般的な「肺がん」といわれる非小細胞肺がん（約85%）と、進行が早く転移しやすい小細胞肺がん（約15%）がある。治療方針として、比較的早期である非小細胞肺がんのⅠ期・Ⅱ期・Ⅲ期の一部および小細胞肺がんの限局型Ⅰ期は手術療法＋化学療法、高齢者や手術を希望されない方は放射線治療、非小細胞肺がんのⅢ期の大部分および小細胞肺がんの限局型Ⅱ－Ⅲ期は放射線治療＋化学療法（抗がん剤）、非小細胞肺がんのⅣ期および小細胞肺がんの進展型Ⅳ期は、化学療法または緩和治療、転移巣へは放射線治療が選択される。このように、放射線治療は肺がんの治療においても、非常に重要な役割を担っている。

手術では、「肺葉切除」が標準治療とされているが、患者の状態に合わせて根治性と肺機能の温存を検討し、肺切除範囲を選択する「区域切除」や「部分切除」が選択されることもある。標準手術（肺葉切除）と縮小手術（区域切除・部分切除）を比較した研究では、縮小手術の生存割合が上回るという報告がある。ただし、全ての早期肺がんで有効性が証明されているわけではないため、患者さんの状況に応じて治療選択を行う必要がある。また、従来の開胸術に比べ、低侵襲な手術法として胸腔鏡手術やロボット支援手術なども選択されるようになってきている。免疫療法と併用することで手術の治療成績が改善するという試験結果も出ている。

最新の放射線治療として、ピンポイント照射（SBRT）は多方向から腫瘍に集中的に照射でき、10グレイ以上の1回大線量（通常は2グレイ程度）が可能で、4日程度の短期間で終了する（通常は6～7週間）という特徴があり、3年局所制御割合や致死的な合併症の割合、生存率は手術に匹敵する。原発性肺がんの場合、腫瘍最大径が5cm以内で、リンパ節転移や遠隔転移がなく、手術できない方や手術を受けたくない方が対象となる。Ⅳ期で遠隔転移があっても少ない

数(オリゴ転移)ならピンポイント照射が有効であるとして、生存延長の可能性を検証する臨床試験が進行中である。次に、強度変調放射線治療(IMRT)は、ビーム内の強さを変えることで、病気の部分に集中的に照射するため、周囲の臓器を保護し、副作用を軽減した治療が可能である。近年、放射線治療と免疫療法の相乗効果が注目されており、臨床試験では、放射線治療後に免疫療法を行うことで進行肺がんの生存率が劇的に向上することが分かった。

薬物療法では、抗がん剤に加え、がん細胞の特徴的な遺伝子の変異部分をターゲットとする分子標的薬や、がん細胞によって弱められた免疫力を活性化させる免疫療法なども選択されるようになってきている。それぞれ長所・短所があり、持病の種類や遺伝子の変異など対象も異なる。

近年はAI(人工知能)の発達により、自動輪郭抽出により正常臓器を正確に抽出し、腫瘍・臓器の輪郭・線量の情報をAIが学習することで、有害事象予測や治療効果予測が可能となっている。

今回ご紹介したとおり、それぞれの治療方法に加え、AIも発達しているため、治療効果を高めながら副作用を低減し、より負担が少ない治療が可能となるよう、技術が進歩している。

## 「血液がん」



高橋 一平  
広島赤十字・  
原爆病院

血液がん：造血器腫瘍の中でも、白血病・悪性リンパ腫・多発性骨髄腫は血液の三大がんと言われ、その罹患数(2025年予測)は、白血病が15,200人/年、悪性リンパ腫が38,300人/年、多発性骨髄腫が8,100人/年で、近年増加傾向にある。血液がん

とは、血液細胞が腫瘍(がん)化したもので、造血幹細胞が成熟した血球に分化・増殖する過程で何らかの遺伝子異常が生じてその成長が止まり、未熟な細胞が増えていくことで発生する。血液がんは遺伝するものはほとんどなく、食事・紫外線・ライフスタイル・ウイルス・飲酒・喫煙などの環境要因が大きいとされているが、加齢も大きな要因で、高齢者に多い疾患である。

血液がんを発症すると正常造血能の低下が起こり、白血球が減り抵抗力が下がることによる感染症、赤血球が減り酸素運搬機能が下がることによる貧血や多臓器不全、血小板が減り止血機能が下がることによる出血が起こる。また、

腫瘍細胞が増加することによる発熱・体重減少や、リンパの腫れ・骨痛・臓器腫大・臓器障害が起こる。治療法は抗がん剤などの全身療法を主体とし、放射線療法や外科療法などを組み合わせる集学的治療を行う。殺細胞性抗がん剤や分子標的薬、造血幹細胞移植など薬物療法をメインに行い、一部薬が効きにくいような大きな塊や体の中に残ったところ、症状が出て痛いところに放射線治療を取り入れる。

悪性リンパ腫は、リンパ球ががん化して塊を作る疾患で、全身のどこにでもできる。組織型により進行スピードが大きく異なり、低悪性度は年単位、中悪性度は月単位、高悪性度は週単位で進行する。病期(ステージ)には限局期～進行期まで幅があり、1領域のリンパ節腫脹だとⅠ期、横隔膜を挟んでどちらか片方だけに2領域以上のリンパ節腫脹だとⅡ期、横隔膜を挟んで両方のリンパ節腫脹だとⅢ期、リンパ節組織以外へのびまん性の浸潤だとⅣ期に分けられる。悪性リンパ腫は全身疾患であるが、ステージにより固形腫瘍として扱うことが可能で、手術や放射線治療などの局所制御が重要となる。低悪性度の治療選択肢となる無治療経過観察は、全く治療せずに放置するというのではなく、腫瘍量・症状・病勢など、経過により適切に治療介入を行う治療法である。

血液がんのような分裂が盛んな母地から発生した悪性腫瘍は、放射線感受性が高い傾向を示すため、放射線治療が効果的である。放射線治療は薬物療法とは異なる作用機序のため、薬物療法が使えない例や無効となった例、薬物が移行しにくい部位(中枢神経や精巣)の治療に有効である。また、血液がんは放射線感受性が高いため、固形がんの半分程度の線量で局所制御や症状緩和が可能で、移植前処置の全身照射では腫瘍細胞の根絶・移植骨髄の免疫拒絶の予防が可能となる。一方、放射線治療の合併症として、急性放射線毒性による粘膜炎・皮膚炎などの症状や、分泌機能(涙・唾液・皮脂など)の低下、遅発性放射線毒性による2次発がん(特に小児～若年者)や心血管障害、骨・歯牙の障害がある。全身療法の進歩、PET-CTによる正確な診断、高精度放射線治療により、放射線を照射する範囲は以前より縮小されており、これらの合併症は少なくなっている。

最近のトピックスとして、CAR-T細胞療法前の「ブリッジング(橋渡し)放射線治療」が悪性リンパ腫の治療法として用いられている。白血球採取からCAR-T投与までの間(約1～2ヵ

月)に、サイズの大きい病変に放射線治療を加えることで治療効果が高くなる可能性がある。

固形がんは放射線の局所効果の増感が期待できるため、抗がん剤と放射線治療の同時併用が有効であるが、血液がんは最初に化学療法を行い、効果によって放射線治療を追加するような逐次併用が基本となっているため、外来通院で放射線治療が可能である。

## 「緩和照射」

放射線治療には、完治・治癒を目的とし、体内に存在するがん細胞の完全消滅を目指す「根治的放射線治療」と、がんによる痛みなどの身体症状の緩和を目的とし、QOLの改善・維持に欠かせない「緩和的放射線治療」があり、早晩に症状出現が予想される病変への予防的な照射も、緩和的放射線治療の重要な役割である。緩和照射により、痛みの軽減や腫瘍出血の止血、脊髄圧迫などの症状緩和が期待できる。緩和照射についてはまだまだ知られていないが、広島市民病院の2025年診療実績では、放射線治療総患者数に占める緩和照射の割合は4割を超えている。緩和照射の中でも、骨転移が41%、脳転移が23%と多く、本日は骨転移と脳転移の緩和照射についてお伝えする。

骨転移の症状には疼痛・神経圧迫症状・骨折・高カルシウム血症などがあるが、放射線治療により、軽い副作用で短期間に疼痛緩和・消失が期待でき、骨折のリスクが高い場合には骨折予防が可能となる。脊椎転移が増大し脊髄を圧迫する転移性脊髄圧迫は、圧迫された脊髄レベル以下に麻痺が生じるため、緊急照射の適応となる。骨転移の治療には、薬物療法・手術療法・放射線治療の3つがある。疼痛に対する緩和照射で、約7割が軽減、約3割が消失し、緩和効果は早ければ治療終了時、有効例の約半数で3週以内、大半で8週以内に得られ、重篤な副作用はほとんどない。また、照射後の疼痛再燃に対しては再照射の有用性が示されており、脊髄・消化管など耐容線量の問題で再照射が困難な場合を除き、再照射は積極的に検討されるべき治療法である。

骨転移以外の疼痛に対する緩和照射では、痛みを伴う切除不能腺がん、原発巣に対する放射線療法や化学放射線療法により除痛効果が報告され、大腸がんで、疼痛・出血などの自覚症

状、QOLの改善を目的とした放射線治療は有効であるとされている。

脳転移はがん患者の約10%が発症し、重篤な症状として意識障害、頭蓋内圧亢進による頭痛・嘔吐・視力障害、巣(局所)症状の3つに大別される。脳転移が生じると、腫瘍という余分な体積が増えたことに加え、周囲の脳に腫れが生じて脳自体の体積が増加することで頭蓋内圧が上昇し、頭痛・嘔吐・視力障害が生じる。脳転移の治療は、抗がん治療として外科治療(腫瘍摘出術)・放射線治療(全脳照射・定位照射)・薬物療法(抗がん剤・分子標的薬・免疫チェックポイント阻害薬)、対症治療として薬物治療(ステロイドと浸透圧利尿薬を用いた脳浮腫に対する治療)・外科治療(シャント手術・ドレナージ手術)がある。放射線治療には、多数個の脳転移(5個以上)を対象として、画像に描出される病変と描出されない病変を同時に治療できる全脳照射(WBI)と、単発あるいは少数個の脳転移(4個以下)を対象として、画像に描出される病変のみを治療できる定位照射(STI)がある。さらに定位照射には、単回照射を行う定位手術的照射(SRS)と、分割照射を行う定位放射線治療(SRT)がある。

「がん救急」とは、がん自体あるいはがん治療に関連した原因により、容態が急激に増悪し救急処置が必要となる状態で、がんの浸潤や遠隔転移によって生じることが多く、迅速かつ適切な診断と治療開始が必要である。腫瘍出血は、放射線腫瘍医が治療を行う「一般的ながん救急」であり、進行したがん患者の約10%に何らかの出血が認められ、緊急照射開始後24~48時間で止血効果が得られる。緊急照射による腫瘍出血の制御率は、消化管88.6%、泌尿器80%、頭頸部87.5%、呼吸器92.8%、四肢100%、婦人科100%と非常に高い。

転移性脊髄圧迫は、脊椎転移・髄内転移などによる脊髄の圧迫で、早期に圧迫を除去しなければ、脊髄内圧の上昇による血流障害、壊死による不可逆性の神経症状を生じる救急病態である。症状としては運動障害、知覚障害、膀胱直腸障害があり、その前兆として頸部痛・背部痛・腰痛が現れる。骨転移が転移性脊髄圧迫の原因となる場合、日~週単位で亜急性に進行することが多いが、症状発現から数時間で麻痺が完成する場合もあり、治療のタイミングを逸すれば不可逆的な脊髄麻痺が生じるため、診断・治療の緊急性が高い。海外のガイドラインでは発症後24時間以内の治療開始が目安となり、臨



松浦 寛司  
広島市民病院

床現場ではほとんどの症例で緊急照射が選択される。歩行可能な状態で治療開始したのか歩行不能な状態で治療開始したのが、その後の歩行機能と生命予後に関係するため、早期の治療開始が非常に重要である。治療開始が遅れる原因として、患者自身の症状の認識不足や医療機関における診断の遅れが挙げられる。がん診療に関わる機会の少ない診療科の医師が、背部痛・しびれの原因として脊椎転移や転移性脊髄圧迫を鑑別診断の上位に挙げることは極めて困難であるが、がんの既往がある患者ではそれらの可能性を考えなければならない。日本では転移性脊髄圧迫の認知度は低いため、患者は症状に気付いたらすぐに受診できるよう、医師は症状が疑われる場合はすぐに紹介できるよう、引き続き患者・医療従事者への啓発・教育を行い、転移性脊髄圧迫による下肢麻痺の撲滅運動を続けていきたい。

の皆さま一人ひとりががんに対する正しい知識を得られる一助として、今後も本セミナーを開催していきたい。

HIPRACは、平成27年10月の開設から10年で、6,000人を超える患者さんに放射線治療を提供してきた。会員の先生方に、放射線治療にご理解をいただいていることに感謝申し上げるとともに、引き続き、ご支援のほどよろしく願います。

### 担当常任理事コメント

本セミナーは、県民の皆さまにさまざまながんの治療方法や最新の情報を幅広く紹介し、その中で放射線治療の役割や有効性について分かりやすくお伝えする場としている。本セミナーを通じてがんの診断や治療に関するさまざまな情報を県民に提供できたことは大変有意義なことと感じる。

HIPRACでは引き続き、がん治療の最新情報を県民に提供するだけでなく、広島県内の放射線治療に係る人材育成、技術支援等に取り組むとともに、オール広島による「政・官・学・民」が一体となった取り組みを進めてまいりたい。会員の皆さまには、引き続きのご支援とご協力をお願いする。

(茗荷 浩志)

### センター長コメント



影本 正之  
広島がん高精度  
放射線治療センター  
センター長

7者共催で開催する本セミナーは平成28年度より開始し、令和7年度で8回目の開催となった。がんが身近な病気となった今、自身や家族、大切な誰かのために、日々目覚ましいスピードで進歩するがん医療に関する最新情報を得ていただくことは、非常に重要と考える。県民

### ◆広島がん高精度放射線治療センター(HIPRAC)◆

〒732-0057 広島市東区二葉の里三丁目2番2号

TEL : 082-263-1314 E-mail : office@hiprac.jp

HP : <https://hiprac.jp>



### Instagramを始めました。

広島県医師会や市区郡地区医師会の  
イベント情報をお知らせしています。  
フォローをお願いします。



広島県医師会  
Instagram

# 令和7年度 日本医師会医療情報システム協議会

－医療DX新時代～現状の課題と未来の展望～－

と き 令和8年3月7日(土) 午後2時  
3月8日(日) 午前9時30分  
ところ 日本医師会館 大講堂



広島県医師会 副会長 岩崎 泰政  
広島県医師会 常任理事 藤川 光一  
広島県医師会 常任理事 茗荷 浩志



開会挨拶をする松本吉郎日本医師会会長

令和7年度の日本医師会医療情報システム協議会が令和8年3月7日(土)、8日(日)の2日間にわたり開催された。今年度のメインテーマを「医療DX新時代～現状の課題と未来の展望～」とし、2日間で事務局セッションを含む4つのセッション、20の講演・総合討論などが行われた。2日目の地域医療情報連携ネットワークの現状の課題と未来の展望セッションでは、藤川光一常任理事が「ひろしま医療情報ネットワーク (HMネット)：生き残りを懸けた試みーAI胸部X線画像診断支援システムの共同利用などー」と題して講演した。2日間で延べ944名が参加した。

※日本医師会 会員限定メンバーズルーム内に、令和7年度医療情報システム協議会の映像や講演資料が公開されておりますので、ぜひご覧ください。

<https://www.med.or.jp/japanese/members/info/sys/2025/index.html>

【1日目：令和8年3月7日(土)】

## 開会挨拶 (要旨)

日本医師会会長 松本 吉郎

本年度の協議会のメインテーマは「医療DX新時代～現状の課題と未来の展望～」である。医療DXは、業務の効率化や情報連携を進めることで、国民や患者により安全で質の高い医療を提供し、医療現場の負担軽減につなげることを目的としている。

1日目は「医療DX-厚生労働省からの現状報告と日本医師会の考え」を取り上げる。医療法改正により電子カルテ普及のための環境整備が国の責任として明記され、診療報酬改定でも医療情報共有やオンライン診療に関する加算が整理・強化される予定である。一方、日本医師会は地域医療を守る観点から、すべての医師が現状のままでも医療を継続できることを前提に、医療DXを拙速に進めるべきではないと考えている。

2日目は地域医療情報連携ネットワーク「地連ネットワーク」をテーマとし、全国医療情報プラットフォームとの併用や今後の在り方について考える。最後のセッションではオンライン診療と遠隔医療を取り上げ、制度や各地の取り組みを共有する。

これからの医療においてDXをどのように活用していくか、参加者とともに考えを深めていきたい。

## I. 医療DX-厚生労働省からの現状報告と日本医師会の考え

座長：日本医師会医療情報システム協議会

運営委員会 川田 剛裕委員、

土屋 淳郎委員

### ①国が推進する医療DX-標準型電子カルテ進捗状況

厚生労働省医政局参事官 (医療情報担当)

木下 栄作

医療DXは、もともと社会保障改革の中で位置付けられていたが、コロナ禍で医療情報共有の遅れが明らかになったことを契機に本格的に進められてきた。現在は政府主導で推進体制が整備され、電子カルテの普及や全国医療情報プラットフォームの構築が進められている。

マイナ保険証や電子処方箋などにより情報共有は段階的に進んでおり、今後は電子カルテ情報の共有によって、より実用的な医療データの活用を目指している。一方で、現場での活用や操

作性、業務負担への配慮などが課題となっている。

電子カルテ情報の共有は、まず限定的な情報から開始し、段階的に拡大する方針であり、全国展開を目指している。また、電子カルテの普及には課題が残っており、特に中小医療機関向けにクラウド型で低コストな仕組みの整備を進めている。今後は医療DXを通じて医療の質向上と効率化を図っていきたい。

### ②オンライン資格確認 (マイナ保険証と医療DX) について

厚生労働省医療介護連携政策課長  
(医政局、老健局併任) 山田 章平

オンライン資格確認は医療DXの第一歩として進められ、導入率は98%と、ほぼすべての医療機関で利用可能となった。利用率も短期間で大きく向上し、マイナ保険証の活用により診療情報の閲覧や共有が進み、医療の質向上や事務負担の軽減につながっている。特にレセプト返戻件数が大幅に減少するなど、現場の効率化にも着実な効果が現れている。また高齢者の利用が進む一方で、若年者層の利用率が低いことが課題となっている。今後は利便性の向上や周知を進めながら、この基盤を活かして医療DXを着実に推進していきたい。

### ③電子処方箋について

厚生労働省大臣官房総務課企画官 (医薬局併任) 兼  
電子処方箋サービス推進室長 徳弘 雅世

電子処方箋は医療DXの一環として導入が進み、2023年の運用開始以降、薬局を中心に普及が進んでいる。現在は診療所で約25%の導入率にとどまるが、調剤結果の85%が登録され、重複投薬や併用禁忌のチェックなど医療安全に大きく寄与している。リアルタイムで薬剤情報を把握できる点も大きな利点であり、患者への聞き取り負担の軽減にもつながる。

一方で普及は途上であり、今後は電子カルテとの連携を進めながら安全性向上と利便性の両立を図り、段階的に導入を広げていきたい。

### ④診療報酬改定DXについて

厚生労働省保険局医療介護連携政策課推進官  
保険局診療報酬改定DX推進室室長代理補  
島添 悟亨

診療報酬改定DXは、医療DX全体の中で医療機関の負担軽減とコスト抑制を目的に進められている。従来は短期間での改修対応が必要であったが、施行時期の後ろ倒しや共通算定モジュール

の導入により作業の平準化と効率化を図っている。

今後はクラウド型レセコンの普及により、システム改修の負担軽減やセキュリティ向上、コスト削減を実現し、請求業務の簡素化も進めていく方針である。また、公費医療の現物給付化や様式の標準化なども進め、医療機関・自治体双方の事務負担軽減を目指す。将来的にはマイナンバーカードを基盤とした効率的で安全な医療提供体制の実現を目指している。

### ⑤国が推進する医療DXに対する日本医師会の考えと取り組み

日本医師会常任理事 長島 公之

医療DXは新たな段階に入り、IT化にとどまらず、その活用によって医療の質向上や効率化を実現することが重要となっている。これまで院内のIT化から始まり、電子カルテやレセプト電算化を経て、現在はオンライン資格確認などにより医療情報の共有が進んでいる。その背景には高齢化による複数疾患を持つ患者の増加、災害対応の必要性などがある。

医療DXの基盤としてマイナンバーカードと保険情報の連携が進み、全国的な情報共有が可能となった。一方で、医療現場の負担軽減と継続性の確保が前提であり、拙速な導入は避けるべきである。特に小規模医療機関への配慮が重要である。

電子カルテの普及には費用や運用の課題があり、標準化やクラウド化による負担軽減が求められている。また、オンライン資格確認や電子処方箋は災害時などで有効性が確認されており、今後は現場での活用促進が課題である。

医療DXは国民に質の高い医療を提供し、医療現場の負担を軽減するためのものであり、国が責任を持って環境整備を進めながら着実に推進していく必要がある。

【2日目：令和8年3月8日(日)】

## Ⅱ. 地域医療情報連携ネットワークの現状の課題と未来の展望

座長/日本医師会医療情報システム協議会  
運営委員会 佐原博之副委員長、  
長尾 信委員

### ①医療DXの全国医療情報プラットフォームと地域医療情報連携ネットワーク

日本医師会常任理事 長島 公之

全国医療情報プラットフォームと地域医療情報連携ネットワークは役割が異なり、前者は広

く網羅的、後者は地域内で電子カルテや画像など深い情報共有や多職種連携ができる点に強みがあるため、併用が重要である。

令和8年度診療報酬改定では地域医療情報連携ネットワークも評価対象となり、多くの施設で要件を満たすことから、届出により体制整備の維持・充実につながる重要な機会となっている。一方で活用は十分ではなく、周知と対応が課題である。

今後は電子処方箋などと組み合わせ、情報共有を超えて医療の質向上にどう活かすかが重要となり、地域の実情に応じた新たな活用が求められる。

### ②ひろしま医療情報ネットワーク(HMネット)：生き残りを懸けた試み -AI胸部X線画像診断支援システムの共同利用など-

広島県医師会常任理事 藤川 光一

全国医療情報プラットフォームの整備が進む中、地域医療情報連携ネットワークはその役割の再定義が求められており、機能の差別化と高度化に取り組んでいる。その一例として、AI胸部X線画像診断支援システムの共同利用を開始し、読影精度の向上や医師の負担軽減に寄与している。利用件数や参加施設も増加しており、医療機関の参加促進にもつながっている。

また、ファイル共有システム「HM-BOX」により、オンライン診療や地域連携パス、疑義照会などの情報共有が効率化され、在宅医療や介護分野でも活用が広がっている。さらに、大容量データを迅速に送信できる仕組みや、検査データを一元的に集約・閲覧できるシステムの整備により、診療の迅速化と連携強化を進めている。加えて、画像データのオンライン共有を目指す取り組みなど、従来のCD媒体に依存し



HMネットについて講演する藤川光一常任理事

ない新たな連携基盤の構築も進めている。これらは単なる情報閲覧にとどまらず、診断支援や業務効率化といった実務面での価値を高めるものであり、地域医療情報連携ネットワークの強みとなっている。

このように、地域医療情報連携ネットワークは独自の機能を強化しながら、全国医療情報プラットフォームと補完し合う形で発展を目指している。

### ③地域医療情報連携ネットワークの新しい使い方

東北大学病院医療データ活用センター長  
東北大学災害科学国際研究所教授 藤井 進

医療現場では高齢化や人材不足により需給バランスが崩れつつあり、AIや医療DXへの期待が高まっている。一方でサイバー攻撃やコスト面の課題があり、個々の医療機関だけの対応は困難である。そのため地域医療情報連携ネットワークを共通基盤として活用し、負担軽減と効率化を図る必要がある。

具体的には、ランサムウェア対策として攻撃を早期検知する仕組みや、クラウド型AIによる診療支援が進められている。AIはカルテ作成や要約を自動化し、診療の効率化に寄与する。またPHRと連携することで患者情報の活用も進む。さらにサイバー攻撃時の対応を想定した訓練や知識共有を地域で行うことも重要であり、地域医療情報連携ネットワークを医療の安全性と持続性を支える基盤へと発展させていくことが求められる。

### ④しまね医療情報ネットワーク(まめネット)

NPOしまね医療情報ネットワーク協会副理事長  
島根県立中央病院病院長 小阪 真二

しまね医療情報ネットワークは、自治体と医師会が連携した官民一体の体制で運営され、基盤とサービスを分離することで持続的な運用を実現している。連携カルテは標準化とベンダーフリーを特徴とし、病院と診療所の双方向で情報共有が可能で、患者同意のもと多職種が同じ情報を閲覧できる。また在宅ケアや介護分野とも連携し、ケアプランや各種文書を電子的に共有することで業務効率化と即時性が向上している。

今後は地域包括ケアにおける活用をさらに進め、医療と介護を一体的に支える基盤としての役割が期待されている。

### ⑤HumanBridgeが実現する地域医療と地域連携システム構想～医療DXと持続可能な医療へ～

富士通Japan株式会社ヘルスケア事業本部  
第二ヘルスケアソリューション  
事業部シニアディレクター 柳原 毅志

高齢化の進展により医療・介護需要が今後さらに増加する中、地域医療情報連携ネットワークは全国医療情報プラットフォームと併存しつつ、新たな価値創出が求められている。課題としては運用負担やコスト、利用の広がり不足があり、クラウド化や機能拡張、Web会議機能の導入などを進め活性化を図っている。

実際には診療情報や画像の共有に加え、多職種連携や遠隔診療など従来にない医療連携が実現されているが、活用は一部にとどまっており、事例の横展開が重要である。また全国医療情報プラットフォームとは役割が異なり、地域医療情報連携ネットワークはより実務的な連携基盤として補完関係にある。

今後は地域全体を一つの単位として医療資源を最適化し、AIなどを活用した検査枠の調整や効率化など、新たな価値創出が求められる。

### ⑥庄内地域における地連ネットワーク

日本海総合病院病院統括医療監  
地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構理事長  
島貫 隆夫

山形県庄内地域における地域医療情報連携ネットワーク「ちょうかいネット」は、ID-Linkを活用し2011年から運用されている。医師記録の開示を義務化し、診療録や画像、検査結果を多職種で共有できる点が特徴で、医師や看護師に加え介護支援専門員の利用も増加している。実際に患者情報をリアルタイムで把握でき、診療や在宅支援の質向上に寄与している。

また県内全域や県境を越えた連携も進めており、災害時や広域医療にも有効である。今後は全国医療情報プラットフォームと補完的に活用し、API連携による一体的な情報閲覧の実現が期待されている。

### ⑦全国医療情報プラットフォームとの役割分担～ユニオン連携の深化と「全国ID-Link EHR」

株式会社エスイーシー取締役情報処理事業本部  
本部長 伊藤 龍史

全国医療情報プラットフォームと地域医療情報連携ネットワークは競合ではなく、互いに補

完する関係にある。全国医療情報プラットフォームは広く浅い情報を網羅的に提供し、地域医療情報連携ネットワークは診療録など深く詳細な情報を扱うことで、それぞれの役割を担う。

ID-Linkの特徴である「ユニオン」は、地理ではなく共通の目的で医療機関を結び、柔軟な連携を可能にする仕組みである。これにより広域や多様な医療ニーズに対応できる。

今後は、病気の概要、治療経過、患者の生活や意向といった多層的な情報を統合し、全人的医療の実現を目指す。そのために両者が共存しながら医療DXを進めていくことが重要である。

### Ⅲ. オンライン診療と遠隔医療 ー現状の課題と未来の展望

座長：日本医師会医療情報システム協議会

運営委員会 長島 公之委員長、

吉原 秀一委員、合地 明委員

#### ①医療法改正ーオンライン診療

厚生労働省医政局総務課保健医療技術調整官  
九十九 悠太

今回の医療法改正は、2040年の高齢化ピークや医療需要の変化を見据え、地域ごとの実情に応じた医療提供体制の再構築を目的としている。入院需要は地域差があり減少傾向も見られる一方、在宅医療や救急対応の重要性が増している。こうした中で、新たな地域医療構想や医師偏在対策が進められている。

オンライン診療は医療法に位置付けられ、利便性向上と適正な運用の両立が図られることとなった。通院負担の軽減や医療資源の少ない地域での活用などが期待される一方、基準遵守や届出義務なども新たに求められる。

今後はオンライン診療を含めた医療DXを活用し、地域の実情に応じた持続可能な医療体制の構築が求められる。

#### ②オンライン診療の現状～休日診療所・ 郵便局等でどう活用するか～

山口県立総合医療センターへき地医療支援センター  
診療部長 原田 昌範

山口県の離島・へき地では医師不足が深刻化しており、常勤医の確保が難しくなる中で、遠隔医療の活用が重要となっている。オンライン診療は医療そのものを補完する手段であり、地域包括ケアを支えるツールとして位置付けられる。

郵便局や移動診療車、休日夜間診療と組み合わせることで、診療機会の確保や多職種連携が進み、医療資源の効率的活用につながっている。またコロナ禍では遠隔医療が自宅療養や感染対策に有効であることが実証された。

今後は平時から活用を進め、顔の見える関係とリアルタイムの情報共有が重要である。

#### ③D to P with N型オンライン診療の 現状と近未来に向けた取り組み

仙台市医師会会長 安藤 健二郎

D to P with N型オンライン診療は、看護師が患者側に付き診療補助や機器操作を行うことで安心感と信頼性を高める仕組みとして発展してきた。特に高齢者への対応や通信機器の扱いを支援できる点が大きな利点である。

高性能な機器を用いれば聴診音や画像を高精度で共有できるがコストが課題となるため、安価な機材や既存の通信手段を活用した低コストな仕組みの検討も進められている。また山間部など通信環境が不安定な地域では衛星通信などの活用も重要である。

今後は高性能化と低コスト化の両立を図りながら人口減少地域を中心に普及を進め、持続可能な医療提供体制につなげていくことが求められる。

#### ④遠隔ICUの社会実装における診療報酬の課題とAIによる機能拡張

横浜市立大学附属病院集中治療部部长  
高木 俊介

遠隔ICUは、医師や看護師不足が深刻化する中で集中治療の質と安全性を維持するために導入が進められている。大学病院などの専門医が遠隔で複数のICUを支援し、生体情報や画像を共有することで、診療支援の効率化を図っている。これにより医師の負担軽減や働き方改善に加え、死亡率低下や在院日数短縮といった効果も示されている。

一方で、人材やコスト、診療報酬の課題があり、制度面の整備が求められている。今後はICUに限らず救急や病棟、在宅まで対象を広げるとともに、AIを活用した患者状態の解析やトリアージにより効率化を図ることが重要である。地域ごとのニーズに応じた柔軟な運用を進め、持続可能な医療体制の構築を目指す必要がある。

## ⑤遠隔手術の実用化に向けての展望と課題

弘前大学医学部附属病院消化器外科准教授  
諸橋 一

遠隔手術は、医師不足や地理的制約を背景に医療格差の是正を実現するものとして期待されている。ロボット手術と高速通信を組み合わせ、遠隔地から手術支援を行う仕組みであり、日本ではまず現地に医師がいる前提で実用化が進められている。

技術面では通信帯域、ロボットの性能などが重要であり、日本国内では安全に実施可能な水準にあることが実証されている。一方で、通信の安定性やコスト、診療報酬、責任の所在など制度面の課題が残っている。

今後は安全性と経済性の確保、法整備を進めることで実用化が期待され、地域間の医療格差解消や患者負担軽減、医師の教育・働き方改革にもつながると考えられる。

## 閉会挨拶

日本医師会常任理事/  
日本医師会医療情報システム協議会運営委員会  
委員長 長島 公之

この2日間は非常に充実した内容であり、まさに医療DXの新たな局面の幕開けを実感する機会であった。初日は厚生労働省から現状と施策について具体的な説明があり、2日目は地域医療情報連携ネットワークやオンライン診療・遠隔医療といった分野について議論が深まった。いずれも今後の医療を支え、国民の生活の質向上に直結する重要な内容であったと感じている。

今回示された取り組みは、単なる将来構想ではなく、数年以内に実現していく現実的なものであり、5年後、10年後に振り返った際に、この講演で語られた内容が着実に形になったと実感できる、非常に意義深い2日間であった。

## 担当常任理事コメント

国の医療DX計画は、オンライン資格確認、マイナ保険証、電子処方箋などの整備が一段落

し、いよいよ全国医療情報プラットフォーム(全国PF)の中核である電子カルテ情報共有システムの実現を目指す新たなフェーズに入った。医療情報の電子的共有は患者および医療機関双方にとって有用であるが、その基盤となる電子カルテの導入には、費用面に加え運用習熟といった課題もある。診療所における電子カルテ普及率が50~60%程度にとどまっている現状を踏まえると、その実現は容易ではない。また、既に電子カルテを導入している医療機関においても、電子カルテ情報共有システムとの連携には追加モジュールの整備が必要となる(文末参照)。国には現状を十分に把握したうえで、費用補助のみならず、スケジューリングや技術支援を含めたきめ細かな対応が求められる。

地域医療情報連携ネットワーク(地連NW)については、全国PFとの共存が必要であることが日本医師会から繰り返し示されており、本協議会においても、それらの連携や棲み分けに関する7つの講演が行われた。中でも、令和8年度診療報酬改定で新設される電子的診療情報連携体制整備加算に関する長島公之日本医師会常任理事の説明は示唆に富むものであり、地連NWの存続・普及を目指す立場として注目される内容であった。地域において継続的に運用されてきた地連NWの価値を踏まえた制度設計が、今後ますます重要になると考えられる。

オンライン診療・遠隔医療については、交通インフラの弱体化や医師の不足・偏在が深刻化する中で、その必要性はますます高まっている。本協議会では5つの講演が行われ、へき地における郵便局を活用した事例や、D to P with N型オンライン診療の取り組みが紹介された。これらは、地域の実情に即した医療提供体制の一つとして、各地域での検討が求められる。

会場ブースでは、日本医師会ORCA管理機構より「標準型電子カルテ(導入版)」の展示が行われた。本システムは電子カルテと称されているものの、実際には電子カルテ情報共有サービスを利用するための入出力モジュールであり、院内用電子カルテとしての機能を有するものではない。導入を検討する際には、この点を十分に理解しておく必要がある。

(藤川 光一)



# e-広報室 新着のお知らせ

e-広報室に下記を追加いたしました。



## e-資料 通達文書

- 令和8年4月17日 令和8年度「働き方改革推進支援助成金」業種別課題対応コース（病院等）等について（情報提供）
- 令和8年4月21日 厚生労働省「令和8年度働き方改革推進支援助成金」団体推進コースについて（ご案内）
- 令和8年4月21日 糖尿病普及啓発資材の周知・活用について
- 令和8年4月21日 疑義解釈資料の送付について（その3）
- 令和8年4月21日 令和8年度診療報酬改定に係る施設基準届出チェックリストのご案内について
- 令和8年4月21日 「厚生労働大臣が指定する病院の病棟における療養に要する費用の額の算定方法の一部改正等に伴う実施上の留意事項について」等の一部改正について
- 令和8年4月22日 出産育児一時金等の受取代理制度の届出について（令和8年度）
- 令和8年4月23日 歯科医師の医科麻酔科研修のガイドラインについて
- 令和8年4月23日 疑義解釈資料の送付について（その4）
- 令和8年4月23日 デペモキマブ（遺伝子組換え）製剤に係る最適使用推進ガイドラインの策定に伴う留意事項について
- 令和8年4月23日 使用薬剤の薬価（薬価基準）の一部改正等について
- 令和8年4月23日 令和8年岩手県大槌町の林野火災に伴う災害の被災者に係るマイナ保険証又は資格確認書等の提示等について



## 学会・研修会等 Web申込受付一覧

広島県医師会HPから下記の申し込みを受け付けております。

- |            |  |            |
|------------|--|------------|
| 5 / 17(日)  | 令和8年度日本医師会認定産業医基礎・前期研修会 (第2回)                  | 申込受付終了     |
| 5 / 31(日)  | 第41回広島県医師会勤務医ゴルフ大会                             | 締切 5 / 7   |
| 6 / 3(水)   | 令和8年度医学生・研修医等をサポートするための会                       | 締切 5 / 25  |
| 6 / 7(日)   | 2026 (令和8) 年度母体保護法指定医師研修会                      | 締切 5 / 7   |
| 6 / 10(水)  | 第26回たばこと健康・広島フォーラム                             | 締切 5 / 31  |
| 6 / 28(日)  | 広島県医師会主催令和8年度第1回産業医研修会                         | 締切 5 / 15  |
| 11 / 16(月) | 令和8年度広島県医師会医療安全研修会～増加している採血関連医事紛争対策と裁判事例に学ぶ!!～ | 締切 10 / 23 |

広島県医師会 医師のみなさまへ・県民のみなさまへ

検索

## 県医師会理事会記事

## 令和8年度第1回理事会

(令和8年4月8日)

## 松村会長 挨拶



## 「立候補表明の鉄則」

皆さん、こんばんは。来たる4月15日は、広島県医師会会長候補理事選挙が公示されます。

本日は、これまで何度か挨拶の中で触れてまいりました「挨拶は難しい」という話の一環として、立候補表明の鉄則についてお話いたします。

第一に、「なぜ出るのか」。立候補の動機を明確に述べることが重要です。

第二に、「何をやるか」。重要政策は三つにまとめて、ワンフレーズで説明します。

第三に、「自分がやる理由」。この人に任せたいと思っていただくことが必要です。

さらに、挨拶は「分かりやすく、短く」、そして「最初と最後が勝負」であり、結びで決意・覚悟を述べることが大切です。

立候補表明の挨拶は、動機、政策、自分の強みを、短く、分かりやすく、かつ印象的に伝えることが鉄則です。

## 協議事項

- ・令和8年度広島県医師会会費賦課徴収減免申請の件 (茗荷常任理事)  
令和8年度分として疾病減免2名の申請を承認
- ・第139回定時代議員会次第の件 (茗荷常任理事)  
令和8年6月14日(日)午後1時より第139回定時代議員会を開催することを決定

## 報告事項

- ・3月17日 日本医師会 第13回理事会 (松村会長)  
第15回「日本医師会赤ひげ大賞」の実施、「医師偏在是正に向けた広域マッチング事業」などについて協議した。
- ・令和8年4月1日付け事務局職員の人事異動について (茗荷常任理事)  
事務局人事異動について報告した。
- ・会員異動 (3月分) (茗荷常任理事)  
3月31日現在、広島県医師会会員は6,879名(前月より18名減)、日本医師会会員は5,632名(前月より14名減)であった。3月の会員からの届出は、入会13件・退会31件・異動35件であった。
- ・3月3日・10日・18日・24日・31日 常任理事会報告 (茗荷常任理事)  
常任理事会協議報告などについて資料により報告した。


## 地球温暖化防止対策(クールビズ)の実施について

本年も地球温暖化防止に向けて、冷房設定温度を上げ、クールビズ(常識的な判断による夏の軽装)を実践いたしますので、趣旨をご理解いただき、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

- ・実施期間 令和8年5月1日(金)から10月31日(土)まで
- ・本会役員および職員も軽装とさせていただきます



## 会員へのお知らせ

 のマークのある文書は、  
e-広報室「通達文書」へ全文  
が掲載してあります。



### 令和8年度「働き方改革推進支援助成金」業種別課題対応コース（病院等）等 について（情報提供）



日医発第176号（医経）（健Ⅲ）令和8年4月17日  
日本医師会常任理事 城守 国斗  
宮川 政昭

本助成金は、働き方改革の推進に取り組む中小企業事業主を支援するための制度であり、生産性の向上や労働能率の向上等を目指すもので、一定の成果目標を達成するために実施した事業に要した費用の一部が支給されます。

本助成金には、「業種別課題対応コース」「労働時間短縮・年休促進支援コース」「勤務間インターバル導入コース」「団体推進コース」の4コースが設けられております。

特に、「業種別課題対応コース（病院等）」が、病院、診療所、介護老人保健施設、介護医療院に特化したコースとなっております。令和8年度における「業種別課題対応コース」の見直し事項の一つとして、実際に労働時間を減らしたことも評価できるよう、事業実施期間のいずれか1か月における所定外労働時間を、前年同月比で（職種に限らず全労働者平均）5時間以上10時間未満を削減したときは50万円、10時間以上を削減したときは100万円（上限）が助成されるメニューが追加されています。

「業種別課題対応コース（病院等）」の対象となる中小企業事業主の範囲は、医業に従事する医師が勤務する病院、診療所、介護老人保健施設、介護医療院を営む事業主については常時使用する労働者数が300人以下の事業主となります。

また、診療所の場合、雇用主である医師のほかに、兼業・副業等により勤務する医師がいれば、「業種別課題対応コース（病院等）」の利用が可能です。

医師が一人のみ（医師が雇用主のみ）の診療所で看護師や事務職（労働者）がいる事業場の場合は、「労働時間短縮・年休促進支援コース」「勤務間インターバル導入コース」の活用が可能となっております。

交付申請書の提出は令和8年11月30日まで（必着）となっておりますが、国の予算額に制約されるため、それ以前に予告なく受付を締め切る場合があります。

なお、本助成金に関してご不明な点やご質問は、医療機関の所在地を管轄する都道府県労働局雇用環境・均等部または雇用環境・均等室へご相談ください。

※本助成金に関する詳細は、厚生労働省の下記サイトに掲載されています。申請様式（Wordファイル）、申請マニュアル、交付要綱等は下記サイトよりダウンロードしてください。

（業種別課題対応コース）

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000120692\\_00001.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000120692_00001.html)

（労働時間短縮・年休促進支援コース）

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000120692.html>

（勤務間インターバル導入コース）

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000150891.html>

## 厚生労働省「令和8年度働き方改革推進支援助成金」団体推進コース について (ご案内)



日医発第202号 (健Ⅲ) 令和8年4月21日  
日本医師会常任理事 城守 国斗

働き方改革推進支援助成金については、業種別課題対応コースを含め4コースがあります。その内、今回、「**団体推進コース**」について情報提供させていただきます。本コースの用途としては、中小企業事業主の団体や、その連合団体（以下「**事業主団体等**」）が、その傘下の事業主のうち、労働者を雇用する事業主（以下「**構成事業主**」）の労働者の労働条件の改善のために、時間外労働の削減や賃金引上げに向けた取組を実施した場合に、その事業主団体等に対して助成するものです《註①》。

本助成金に係る交付申請書の提出締切は令和8年11月30日(月)ですが、国の予算額に制約されるため、11月30日以前に予告なく受付を締め切る場合があるとのことです《註②》。

なお、本資料の内容に係る疑義および申請書類等の提出は、所在地を管轄する都道府県労働局雇用環境・均等部（室）にお問い合わせください。

### 註①：対象の位置付け

- **事業主団体**には一般社団法人（含む、公益社団法人）も該当しますので、都道府県医師会および郡市区等医師会が相当します。
- **構成事業主**は、医業に従事する医師が勤務する病院、診療所、介護老人保健施設、介護医療院については常時使用する労働者数が300人以下の場合は、中小企業事業主に該当します。

### 註②：本助成金に関する詳細

- 本助成金に関する詳細は、厚生労働省のサイトに掲載されています。申請様式、申請マニュアル、交付要綱等は当該サイトよりダウンロードをお願いします。

厚生労働省「働き方改革推進支援助成金（団体推進コース）」

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000200273.html>

## 糖尿病普及啓発資材の周知・活用について



日医発第203号 (健Ⅱ) 令和8年4月21日  
日本医師会常任理事 佐原 博之

厚生労働省健康・生活衛生局がん・疾病対策課より、糖尿病についての正しい知識の普及および早期発見と治療につなげることを目的とした、普及啓発兼受診勧奨資材の周知依頼がありました。

### 「糖尿病は誰でもなりうる病気」

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000059490\\_00008.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000059490_00008.html)

### 「糖尿病と付き合うために」

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000059490\\_00009.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000059490_00009.html)

## 歯科医師の医科麻酔科研修のガイドラインについて



日医発第221号（法安）令和8年4月23日  
日本医師会常任理事 藤原 慶正

歯科医師の医科麻酔科における研修については、現在は「歯科医師の医科麻酔科研修のガイドラインについて」（平成20年6月9日付け医政医発0609002号・医政歯発0609001号厚生労働省医政局医事課長及び歯科保健課長連名通知（本会より平成20年6月16日日医発第302号（地I49、法1）にて通知済み）。以下「旧ガイドライン」という）に基づき実施されているところです。

その後の実施状況の評価・検証とともに、旧ガイドラインの運用上の課題等について、厚生労働省「歯科医師の医科麻酔科研修に関する検討会」が、令和5年8月に公表した報告書、ならびにこれを踏まえた令和6年度厚生労働科学特別研究事業「歯科医師の医科麻酔科研修のガイドライン改訂のための研究」の検討結果等を踏まえ、厚生労働省医政局医事課長及び同局歯科保健課長より、各都道府県衛生主管部（局）長宛てに、「歯科医師の医科麻酔科研修のガイドラインについて（通知）」が発出された旨、本会宛てに事務連絡がありました。

本件は、旧ガイドラインを令和9年3月31日限りで廃止し、改訂後のガイドラインを、令和9年4月1日より適用することとするものです。

## 医療事故調査制度に関する相談窓口

広島県医師会では医療事故調査制度に関する相談窓口を設置しています。「医療事故」に該当するかの相談、医療事故調査に必要な支援を求めたいときなどは下記へご相談ください。

### 一般社団法人広島県医師会 医療安全対策課（医療事故調査等支援団体）

相談専用TEL：082-568-2129 ※夜間・休日はコールセンターにて対応

相談専用FAX：082-568-2130

相談専用E-mail：jikocho@hiroshima.med.or.jp

URL：https://www.hiroshima.med.or.jp/ishi/jikosoudan/

※ご相談は365日受け付けますが、合議により回答いたしますので即答は困難です。ある程度の時間を要しますことをご了承ください。

※基本は所定の様式（上記URL参照）でのご相談となりますが、必要事項が記載されていれば、貴院にて纏められた様式でも結構です。

また、一般社団法人日本医療安全調査機構においても医療事故調査の実施に関する相談に応じる窓口を設けています。

### 一般社団法人日本医療安全調査機構（医療事故調査・支援センター）

相談専用TEL：03-3434-1110（平日9：00～17：00）

URL：https://www.medsafe.or.jp



地域を支える皆様を応援します!

物価高騰



# 医療機関等 支援事業 のご案内



物価高騰の影響を受ける保険医療機関等に対し、**光熱費及び食材料費の一部を支援する**補助金を支給します。

申請受付期間

令和8年**4月20日**月～**5月31日**日

## 1 光熱費等に対する補助

令和7年度広島県原油価格・物価高騰に係る  
医療事業者補助金 [対象施設]

病院 / 有床診療所 /  
無床診療所(歯科含む) / 薬局 /  
施術所 / 歯科技工所

## 2 食材料費に対する支援

広島県医療機関食材料費高騰対策支援金  
[対象施設]

病院 / 有床診療所  
※入院患者へ食事提供を行う保険医療機関

### 1 2 [対象要件]

- 令和8年1月1日以前に県内に所在 または ● 令和8年4月1日以前に県内に所在 (※いずれかに該当)
  - 基準日時点および申請時に休止していないこと ● 令和8年5月31日まで 廃止・休止予定がないこと
  - 入院患者への食事提供を行っていること (※2 広島県医療機関食材料費高騰対策支援は上記とあわせて、必要要件となります)
- ※国、県、市町、一部事務組合等の直営施設は対象外となります

原則 **WEB申請**とします

(郵送申請希望の場合は事務局へお問い合わせください。)

複数の施設を運営している事業者は、まとめて申請いただけます。

詳しくはこちらをご確認ください。専用ホームページ ▶ <https://hiroshima-iryo.jp>



支援を受けるためには申請が必要です。裏面もご覧ください。

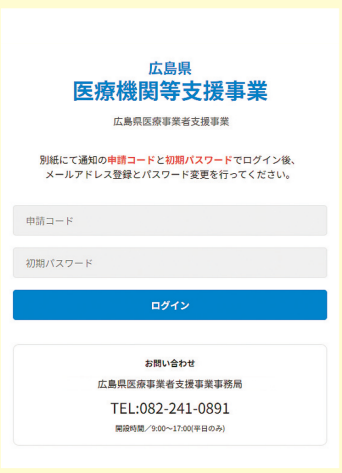
	光熱費等補助の基準額		食材料費支援の基準額	
	(1) 令和8年1月1日以前に 県内所在する施設	(2) 令和8年4月1日以前に 県内所在する施設	(1) 令和8年1月1日以前に 県内所在する施設	(2) 令和8年4月1日以前に 県内所在する施設
病院	1床あたり 20,100円	1床あたり 8,100円	許可病床数1床あたり 9,200円	許可病床数1床あたり 3,700円
有床診療所	1施設あたり 272,000円	1施設あたり 109,000円	許可病床数1床あたり 9,200円	許可病床数1床あたり 3,700円
無床診療所 (歯科診療所も含む)	1施設あたり 68,000円	1施設あたり 27,000円	—	—
薬局	1施設あたり 34,000円	1施設あたり 14,000円	—	—
歯科技工所	1施設あたり 14,500円	1施設あたり 5,800円	—	—
施術所	1施設あたり 12,700円	1施設あたり 5,100円	—	—

[光熱費補助の注意事項] ●休床している病床は除算対象 ●稼働病床数が1~19床の病院は、有床診療所分を交付  
●全床休床の病院・有床診療所は、無床診療所分を交付 ●(1)(2)両方の要件に該当する場合は、令和8年1月1日以前所在分 で交付

[食材料費支援の注意事項] ●基準は 許可病床数 ●(1)(2)両方の要件に該当する場合は、令和8年1月1日以前所在分 で交付

申請コードと初期パスワードは、令和8年4月17日付けで広島県から医療機関に送付されている「事業案内チラシ送付のご案内」をご確認下さい。

### WEB申請について



- 1 別紙にて通知の**申請コード**と**初期パスワード**をご準備ください。
- 2 表面記載の公式HPを確認の上、**WEB申請フォーム**へお進みください。
- 3 左記画面にて**申請コード**と**初期パスワード**をご入力ください。  
■パスワード変更の指示が出て参ります。  
■**申請内容を確認する際に必要になるため、変更後のパスワードは各自で設定をいただき忘れないよう保管ください。**
- 4 **初期ログイン**時に登録のメールアドレスへ**発信**が参ります。そちらを利用し、**申請内容の登録**を行ってください。
- 5 **事業者登録後**、支援対象となります項目に関し、必要情報の入力を行ってください。

申請に関する詳細は、専用ホームページをご覧ください。



# 医療機関等における 賃上げ・物価上昇に対する 支援給付金 のご案内



医療機関等における賃金上昇・物価上昇の影響を踏まえ、  
**賃上げの実施と診療等に必要な経費の負担軽減を支援**します。

**申請受付期間** 令和8年 **4月20日** 月 ~ **5月31日** 日

## 1 診療所等賃上げ支援事業

**対象職員のベースアップを行う施設を支援〔対象施設〕**  
有床診療所(医科・歯科) / 無床診療所(医科・歯科)  
薬局 / 訪問看護ステーション

## 2 診療所等物価支援事業

**物価上昇の影響を受ける施設を支援〔対象施設〕**  
有床診療所(医科・歯科) / 無床診療所(医科・歯科)  
薬局

**1 2 [対象要件(共通)]**  
● 広島県内に所在していること ● 保険医療機関コードが発行されていること  
● 令和7年4月1日から申請時点までに診療報酬請求実績があること  
(※1 診療所等賃上げ支援事業は上記とあわせて、下記の要件が必要となります)  
● 令和8年3月1日時点でベースアップ評価料を届けている施設(詳細は、要綱をご確認ください)  
● 対象職員のベースアップを実施すること  
● 対象期間は令和7年12月~令和8年5月(令和7年12月~令和8年3月分は一時金・特別手当での対応も可能)  
● 令和8年6月1日以降もベースアップ水準を維持または拡大すること

**対象外となる主な者**  
● 支援対象施設の管理者  
● 開設法人の理事長  
● 個人事業主  
● 薬局の開設者

**原則 WEB申請とします** 複数の施設を運営している事業者は、まとめて申請いただけます。  
(郵送申請希望の場合は事務局へお問い合わせください。) 詳しくはこちらをご確認ください。専用ホームページ ▶ <https://hiroshima-iryjo.jp>



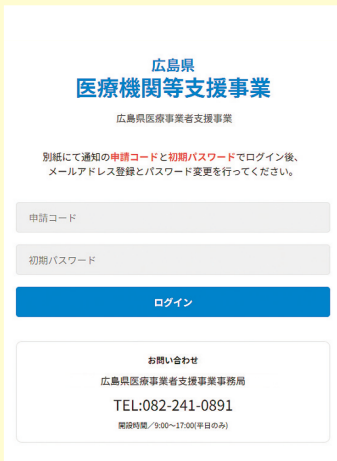
支援を受けるためには申請が必要です。裏面もご覧ください。

	診療所等賃上げ支援事業 基準額	診療所等物価支援事業 基準額
有床診療所	使用許可病床数3床以上 1床あたり <b>72,000円</b>	使用許可病床数14床以上 1床あたり <b>13,000円</b>
有床診療所	使用許可病床数2床以下 1施設あたり <b>150,000円</b>	使用許可病床数13床以下 1施設あたり <b>170,000円</b>
無床診療所	1施設あたり <b>150,000円</b>	1施設あたり <b>170,000円</b>
薬局	同一グループ1~5店舗 1施設あたり <b>145,000円</b>	同一グループ1~5店舗 1施設あたり <b>85,000円</b>
薬局	同一グループ6~19店舗 1施設あたり <b>105,000円</b>	同一グループ6~19店舗 1施設あたり <b>75,000円</b>
薬局	同一グループ20店舗以上 1施設あたり <b>70,000円</b>	同一グループ20店舗以上 1施設あたり <b>50,000円</b>
訪問看護 ステーション	1施設あたり <b>228,000円</b>	—

[注意事項] ●他の国・県の補助等と対象経費の重複受給は不可 ●取組中止・廃止時は承認が必要 ●賃上げ支援事業は実績報告書の提出が必要  
●帳簿書類は5年間保存 ●暴力団排除規定あり

申請コードと初期パスワードは、令和8年4月17日付けで広島県から医療機関に送付されている「事業案内チラシ送付のご案内」をご確認下さい。

## WEB申請について



- 1 別紙にて通知の**申請コード**と**初期パスワード**をご準備ください。
- 2 表面記載の公式HPを確認の上、**WEB申請フォーム**へお進みください。
- 3 左記画面にて**申請コード**と**初期パスワード**をご入力ください。  
 ■パスワード変更の指示が出て参ります。  
 ■**申請内容を確認する際に必要になるため、変更後のパスワードは各自で設定をいただき忘れないよう保管ください。**
- 4 **初期ログイン**時に登録のメールアドレスへ**発信**が参ります。そちらを利用し、**申請内容の登録**を行ってください。
- 5 **事業者登録後**、支援対象となります項目に関し、必要情報の入力を行ってください。

申請に関する詳細は、**専用ホームページ**をご覧ください。

[お問い合わせ]

広島県医療事業者支援事業事務局 電話 **082-241-0891** 開設時間 9:00~17:00(平日のみ)

「広島県出身の医学部生」、  
「広島県で就業希望の医師(大学院生・専攻医)」の皆さまへ



月額**20万円貸与**

県内の指定公的医療機関での一定期間勤務により  
**返還免除**

# 広島県医師育成 奨学金制度のご案内



将来、**地域医療に  
貢献する医学生等  
を支援します**

募集  
期間

**第1次締切：令和8年5月20日(水)【必着】**  
※締切後も、令和9年1月29日(金)まで  
常時募集します(募集人数に達した場合は終了)

対象

将来、**県内の中山間地域の公的医療機関等に就業したいと考えている**①又は②に該当する方

①**県内出身**※の医学部医学科の学生(学年は問いません)

※県内に所在する高校・中等教育学校卒業生又は父母・祖父母等ご家族が、令和8年4月1日時点で県内に在住しており、在住期間3年以上の方

②**医学に関する研究科を専攻する大学院生又は専攻医**(県内出身者に限りません)

人数

4名程度

選考

書類+面接

※第1回面接は令和8年6月に広島市内で実施予定  
(その後の面接は個別に日程調整)

募集要項や応募方法等の  
詳細はHPでご確認ください

広島県 医師 奨学金

検索



元気、  
美味しい、  
暮らしやすい  
ENERGY OF PEACE  
ひろしま

お問い合わせ

広島県庁  
医療政策課

TEL 082-513-3062

MAIL fumedsei@pref.hiroshima.lg.jp

## 令和8年度広域化予防接種事業について （令和8年4月からの予防接種委託料変更等のお知らせ）

広島県医師会  
感染症担当常任理事

広域化予防接種事業の推進につきましては、平素より格別のご支援・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

感染症対策の根幹である予防接種事業をより一層推進するため、広域化予防接種事業実施協力機関におかれましては、県民の方が県内どの市町でも各種の定期予防接種を公費で受けることができるよう、引き続きご高配のほどよろしくお願いいたします。

さて、令和8年度広域化予防接種事業における各市町の予防接種委託料の変更および、令和8年度より新たにRSウイルス母子免疫ワクチン（4月開始）、高齢者に対する高用量インフルエンザワクチン（10月開始予定）が定期接種として実施されることに伴う請求書様式の変更について、留意事項を下記の通りお知らせいたします。

つきましては、ご確認の上、ご対応のほど何卒よろしくお願いいたします。

### 記

○ 4月からの市町別委託料一覧につきましては、30ページ別表の通りです。市町別委託料一覧につきましては、広島県医師会ホームページにも掲載しております。

○ 令和8年度よりRSウイルス母子免疫ワクチン、高齢者に対する高用量インフルエンザワクチンを追加した新様式の請求書に変更（令和8年4月改定）しております。新様式請求書につきましては、令和8年5月請求（4月接種分）からご使用ください。旧様式請求書につきましては4月請求（3月接種分）まではご使用可能ですが、5月請求以降はご使用いただかないようお願いいたします。

新様式請求書は実施協力医療機関へ郵送にてお送りしておりますが、追加でご入り用の場合は、本会ホームページの注文フォームよりご申請ください。なお、広域化予防接種請求総括表につきましては本会ホームページよりダウンロードが可能です。

○ 広域化予防接種請求の手引きを更新し、広島県医師会ホームページに掲載いたしましたので、ご確認下さい。

○ **【HP】**

県医師会HOME > 医師のみなさまへ > 地域医療・保健（予防接種）> 定期予防接種（広域化予防接種）

以上

## 事故防止、医師と患者の信頼関係

「日本医師会特約保険」・「法人向け団体医師賠償責任保険」・「団体医療施設賠償責任保険」に加入されていますか？医療におけるクレーム・紛争または訴訟にまきこまれた時、あなたとあなたの医療機関は大丈夫ですか？

お問い合わせ先 広島県医師会事務局 保険医事課  
TEL：082-568-1511  
E-mail：ijihosei@hiroshima.med.or.jp



令和8年度広域化予防接種市町別委託料一覧 (1/2)

ワクチン名		市町名											単位: 円 (消費税含む)		
		安芸太田町	安芸高田市	江田島市	大崎上島町	大竹市	尾道市	海田町	北広島町	熊野町	呉市	坂町	庄原市		
子宮頸がん(HPV)	五種混合(DPT-IPV-Hib)	6歳未満: 20,530 6歳以上: 19,700	6歳未満: 20,940 6歳以上: 20,190	20,060	19,970	6歳未満: 20,550 6歳以上: 19,720	19,500	20,120	6歳未満: 20,530 6歳以上: 19,700	未就学児: 20,120 就学児: 19,370	6歳未満: 20,548 6歳以上: 19,723	6歳未満: 20,120 6歳以上: 19,370	20,440		
	四種混合(DPT-IPV)	6歳未満: 11,720 6歳以上: 10,900				6歳未満: 11,640 6歳以上: 10,810	10,650		6歳未満: 11,720 6歳以上: 10,900	未就学児: 11,390 就学児: 10,640	6歳未満: 11,638 6歳以上: 10,813	6歳未満: 11,540 6歳以上: 10,790	10,370		
	三種混合(DPT)	6歳未満: 8,700 6歳以上: 7,950		9,390	9,245	6歳未満: 9,820 6歳以上: 9,000		9,340	6歳未満: 8,700 6歳以上: 7,950	6,060	1期未満: 7,183 2期以上: 6,358	6歳未満: 9,400 6歳以上: 8,650			
小児用肺炎球菌	二種混合(DT)	6歳未満: 6,330	6歳未満: 6,300 6歳以上: 5,550	6,000	5,855	6歳未満: 7,180 6歳以上: 6,360	6,010	6,010	6,330	6,010	1期未満: 7,183 2期以上: 6,358	2期: 6,010	6,330		
	不活化ポリオ(IPV)	6歳未満: 10,460 6歳以上: 9,630	6歳未満: 10,110 6歳以上: 9,360	9,900	9,993	6歳未満: 10,480 6歳以上: 9,660	9,380		6歳未満: 10,460 6歳以上: 9,630	未就学児: 10,100 就学児: 9,350	6歳未満: 10,483 6歳以上: 9,658	6歳未満: 10,140 6歳以上: 9,390	9,330		
ロタウイルス	ヒブ(Hib)	9,010	8,670	8,900	9,345	9,380	8,750	9,000	9,010	9,000	6歳未満: 9,923 6歳以上: 9,098	9,000	7,880		
	パクニユバンス(15価) ブレバナー(20(20)価)	12,380	12,830	11,700	12,270	12,410	11,720	12,530 12,640	12,380	12,160 12,200	12,408	12,530 12,640	11,130		
B型肝炎	ロタリックス(1価)	15,050	15,580	15,000	14,910	15,160	14,500	15,170	15,050	14,950	15,158	15,170	15,850		
	ロタテック(5価)	10,320	10,770	10,300	10,180	10,130	9,460	10,330	10,320	9,910	10,131	10,330	10,650		
麻疹・風疹(MR)	BCG(結核)	11,620	9,550	11,150	11,060	11,640	10,460	11,210	11,620	11,210	11,638	11,210	11,580		
	麻疹・風疹(MR)	6歳未満: 11,120 6歳以上: 10,290	6歳未満: 10,770 6歳以上: 10,020	10,600	10,565	6歳未満: 11,140 6歳以上: 10,320	9,980	1期: 10,720 2期: 9,970	6歳未満: 11,120 6歳以上: 10,290	10,720	6歳未満: 10,738 6歳以上: 9,933	6歳未満: 10,720 6歳以上: 9,970	11,080		
麻疹	麻疹	7,540	6歳未満: 7,200 6歳以上: 6,450	6,800	6,990	6歳未満: 7,600 6歳以上: 6,770	6,470		7,540		6歳未満: 7,568 6歳以上: 6,743	6歳未満: 7,140 6歳以上: 6,390	6,190		
	風疹	7,550	6歳未満: 7,210 6歳以上: 6,460	6,800	7,001	6歳未満: 7,600 6歳以上: 6,770	6,480		7,550		6歳未満: 7,601 6歳以上: 6,776	6歳未満: 7,140 6歳以上: 6,390	6,190		
水痘	水痘	9,410	9,070	9,000	8,530	9,440	8,860	9,120	9,410	9,120	6歳未満: 9,372 6歳以上: 8,547	9,120	8,140		
	日本脳炎	6歳未満: 8,040 6歳以上: 7,210	6歳未満: 7,700 6歳以上: 6,950	7,500	7,485	6歳未満: 8,060 6歳以上: 7,240	6,960	1期: 7,690 2期: 6,940	6歳未満: 8,040 6歳以上: 7,210	未就学児: 7,650 就学児: 6,900	6歳未満: 8,063 6歳以上: 7,238	1期未満: 7,690 1期以上: 6,940 2期: 6,940	7,220		
RSウイルス(母子免疫)	シルガード9(9価)	27,000	26,780	28,600	28,460	28,110	27,810	28,610	27,000	28,240	28,825	28,610	26,750		
	アブリスボ	30,090	29,390	29,600	30,090	30,780	30,090	30,090	30,090	29,600	29,953	30,090	30,090		
高齢者肺炎球菌	患者負担	5,000	3,300	5,200	0	3,000	5,500	7,900	5,000	3,500	4,500	3,500	3,500		
	公費負担	6,720	7,720	6,500	11,720	8,580	6,220	3,710	6,720	7,950	7,083	8,220	8,220		
高齢者帯状疱疹	患者負担	4,000	4,000	4,000	2,600	2,500	4,900	4,000	4,000	2,600	3,000	2,500	4,400		
	公費負担	4,860	4,860	4,860	6,260	6,110	4,360	3,310	4,860	5,730	5,613	5,870	4,460		
帯状疱疹	患者負担	11,000	11,000	10,000	6,600	6,500	11,000	18,100	11,000	6,600	7,000	6,400	10,000		
	公費負担	11,060	11,060	12,060	15,460	15,310	11,060	3,310	11,060	14,860	14,813	15,060	12,060		
予診のみ	予診のみ	3,230	2,040		2,210	6歳未満: 4,050 6歳以上: 3,220 高齢者: 3,220	2,930 高齢者: 1,880		3,230	未就学児: 3,660 就学児: 2,910 高齢者: 1,830	3,201				

(令和8年4月更新)

令和8年度広域化学予防接種市町別委託料一覧 (2/2)

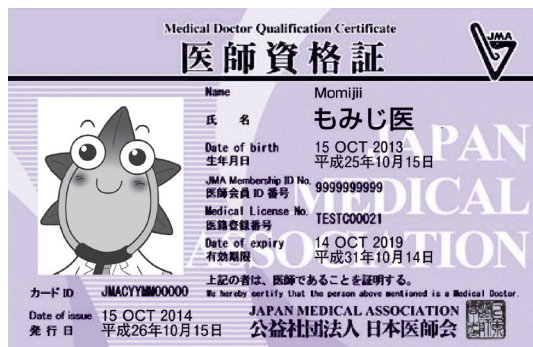
ワクチン名		市町名											三原市		三次市	
・ワクチン料 + 手技料 (消費税含む)		神石高原町	世羅町	竹原市	廿日市市	東広島市	広島市	福山市	府中市	府中町	三原市	三次市	三原市		三次市	
五種混合 (DPT-IPV-Hib)	市町名	20,180	19,400	19,590	6歳未満: 20,270 6歳以上: 19,520	20,570	20,773	20,180	20,669	20,520	19,400	20,746				
		10,390	4,860	8,870	6歳未満: 9,545 6歳以上: 8,795	9,810	10,483	別添協議して定める	11,759	9,800	8,600	10,945				
三種混合 (DPT)	市町名	6,490	4,860	6,230	6歳未満: 6,155 6歳以上: 9,455	6,340	10,670	6,490	6,210	6,340	5,900	6,330				
		10,630	9,270	9,560	6歳未満: 10,205 6歳以上: 9,455	10,310	10,670	10,630	10,615	10,470	9,200					
不活化ポリオ (IPV)	市町名	9,480	8,200	8,970	9,052	9,490	9,616	9,480	9,460	9,460	8,200	8,514				
		12,550	11,210	11,780	12,130	12,470	11,565	12,550	12,539	12,470	11,200	11,792				
小児用 肺炎球菌	市町名	6,850	5,700	5,970	6,311	6,890	7,099	6,850	6,791	6,720	5,700	6,100				
		14,570	15,000	14,530	14,165	15,090	15,950	14,570	14,410	15,160	14,500	15,300				
ロタウイルス	市町名	9,690	9,500	9,800	9,490	10,100	10,923	9,690	9,812	10,390	9,300	10,490				
		11,450	10,600	10,680	10,711	11,620	12,298	11,450	11,506	11,490	10,600	12,331				
麻疹・風疹 (MR)	市町名	1期: 10,550 2期未満: 10,550 2期以上: 9,720	9,900	10,190	6歳未満: 9,545 6歳以上: 8,795	1期: 10,960 2期: 10,290	1期: 13,937 2期: 12,562	1期: 10,550 2期未満: 10,550 2期以上: 9,720	6歳未満: 9,933 6歳以上: 9,103	10,940	9,900	11,363				
			6,220	6,610		1期: 7,390 2期: 6,660	1期: 10,362 2期: 8,987	別添協議して定める	7,313	7,770	6,400					
麻疹	市町名	1期: 7,330 2期未満: 7,330 2期以上: 6,500	6,220	6,620		1期: 7,400 2期: 6,670	1期: 8,239 2期: 7,821	1期: 7,330 2期未満: 7,330 2期以上: 6,500	6,483	7,780	6,400					
			8,250	8,480	9,160	9,260	9,625	9,200	9,416	9,400	8,200	9,911				
水痘	市町名	1期未満: 7,990 1期以上: 7,160 2期: 7,160	6,830	7,110	6歳未満: 7,158 6歳以上: 6,408	1期: 7,880 2期: 7,180	1期: 8,723 2期、特例: 7,425	1期未満: 7,990 1期以上: 7,160 2期: 7,160	6歳未満: 7,568 6歳以上: 6,738	7,960 7,140	6,800	7,205				
			27,700	29,930	27,660	28,270	28,728	26,880	26,945	28,630	27,700	28,710				
子宮頸がん (HPV)	市町名	26,880	27,700	29,930	27,660	28,270	28,728	26,880	26,945	28,630	27,700	28,710				
		30,080	33,000	30,090	29,750	29,810	30,140	30,080	30,080	29,710	29,500	30,090				
RSウイルス (母子免疫)	市町名	3,500	3,500	3,500	7,800	4,000	7,900	4,100	5,500	7,900	3,300	5,800				
		8,220	8,220	8,220	3,580	7,660	3,955	7,620	5,890	3,660	7,900	5,920				
肺炎球菌	市町名	4,000	2,600	2,600	2,600	2,600	4,900	3,100	4,000	4,900	2,500	4,400				
		4,860	6,150	6,260	6,260	5,830	3,900	5,760	4,860	3,800	5,700	4,460				
帯状疱疹	市町名	10,000	6,500	6,600	6,600	7,000	18,100	7,800	10,000	18,100	6,500	11,000				
		12,060	15,450	15,460	15,460	16,650	3,900	14,260	3,800	3,800	15,000	11,060				
予診のみ	市町名	乳幼児: 3,360 乳幼児以外: 3,200 (※1につき田井のみ)	高年齢者: 2,910 小児: 2,000	乳幼児: 2,880 高年齢者: 1,790	3,210	小学生以上: 3,311 小学生未満: 4,136 乳幼児以外: 3,200 (※1につき田井のみ)	3,350	3,350	3,102	6歳未満: 4,026 6歳以上: 3,201						
			2,000	1,790	3,210	小学生以上: 3,311 小学生未満: 4,136 乳幼児以外: 3,200 (※1につき田井のみ)	3,350	3,350	3,102	6歳未満: 4,026 6歳以上: 3,201						

(令和8年4月更新)

## 電子処方箋を利用するには「医師資格証」が必要です

令和5年1月から運用を開始した「電子処方箋」を利用するためには、オンライン資格確認のシステム導入のほか、「HPKIカード」の取得が必要です。HPKIカードは、複数の公的機関が発行していますが、日本医師会が発行する「医師資格証」であれば、日本医師会会員は無料で取得、利用できます。

まだ申請をされていない場合は、ぜひお早めに申請をしてください。



### ●医師資格証の申請方法について

医師資格証の申請方法には以下の方法があります。

- マイナポータルから申請する方法
- 日医HPからオンラインで申請する方法
- 日医HPで申請用紙を入力し、申請書を印刷して郵送申請する方法

詳しくは、日本医師会電子認証センター HPの「申請の概要」のページをご覧ください。

<https://www.jmaca.med.or.jp/application/>



申請時にご用意いただく書類等は申請方法によって異なります。

詳しくは日本医師会電子認証センター HPの「申請方法」のページをご覧ください。

<https://www.jmaca.med.or.jp/application/how-to-apply/>



### ●医師資格証の優先発行申請について

電子処方箋のご利用について、一般財団法人医療情報システム開発センター (MEDIS) が提供する「リモート署名サービス」が令和7年4月から有料となりました。

これを受けて実施された日医A①会員の先生に対する一部補助は令和7年度で終了し、令和8年度以降は規定どおりの利用料が発生いたします。

「リモート署名サービス」を使用せず、医師資格証 (ICカード) を用いたローカル署名方式で電子処方箋の発行を予定されている医療機関におかれましては、以下のリンクの優先発行申請フォームから、お早めに、医師資格証優先発行申請のお手続きをお願いいたします。

### ●令和8年度以降の「リモート署名サービス」利用について (周知)

[https://www.jmaca.med.or.jp/jmaca\\_wp/wp-content/uploads/2026/03/2025sys\\_1982.pdf](https://www.jmaca.med.or.jp/jmaca_wp/wp-content/uploads/2026/03/2025sys_1982.pdf)



### ●費用

日本医師会会員は初回発行手数料、5年毎のカード更新料も全て無料

日本医師会非会員は初回発行時および5年毎のカード更新時に5,500円かかります。

## ●医師資格証の利用方法について

### ①身分証としての利用

- ・医療機関等の採用時に医師免許証の提示の代わりとして。
- ・オンライン診療時の医師であることの証明として。
- ・JMAT等の災害時における医療チーム派遣時に医師であることの証明として。

### ②HPKI電子署名時の利用

- ・電子処方箋システムで電子署名をする際に利用。
- ・地域医療連携における電子紹介状、診断書、主治医意見書等への電子署名に利用。

### ③認証時の利用

- ・ひろしま医療情報ネットワーク「HMネット」におけるログイン認証に利用。

### ④講習会受付ならびに受講履歴・単位管理

- ・日医生涯教育制度、かかりつけ医機能研修制度等の研修会の入退室時の受付に利用。
- ・医師資格証ポータル画面で受講履歴や単位確認、受講証明書の発行に利用。

### ⑤広島県医師会館の駐車場利用料の減免

- ・市郡地区医師会および医会主催の研修会・講習会に参加した時間に限り広島県医師会館地下駐車場の利用料が減免可能。  
(※減免の詳しい条件、処理方法は広島県医師会ホームページをご覧ください)

## ●ホームページ

- ・日本医師会電子認証センター HP  
(<https://www.jmaca.med.or.jp/>)



- ・広島県医師会HP>医師のみなさまへ>医師資格証について  
(<https://www.hiroshima.med.or.jp/ishi/shikaku/>)



## ●お問い合わせ

広島県医師会 広報情報課 (角田<sup>すみた</sup>)

TEL : 082-568-1511 E-mail : [jouhou@hiroshima.med.or.jp](mailto:jouhou@hiroshima.med.or.jp)

## コロナ特例の終了について (2028年3月末)



コロナ禍により有効期限内に更新必要単位が充足できなかった認定産業医 (有効期限 : 2020年 (令和2年) 2月以降) につきましては、更新手続きの特例を設けておりましたが、研修会開催数や認定産業医の更新率が平常時に戻りつつあることから、日本医師会認定産業医制度運営委員会で慎重に議論をした結果、特例措置は2027 (令和9) 年度末 (2028 (令和10) 年3月末) をもって終了することといたしました (2028年3月末までに必要な単位を取得していること)。

# 名簿の廃棄、 お困りではありませんか？



一般社団法人広島県医師会

今年度広島県医師会では、会員支援事業の一環として本会並びに市区郡地区医師会が配布・発行した名簿や会議等書類（取扱注意のもの）の廃棄を実施いたします。

実施要領は以下の通りです。

○対象 広島県医師会会員

○対象物

本会並びに市区郡地区医師会が配布・発行した名簿、会議等資料（取扱注意のもの）

※会員医療機関のカルテ等医師会活動に無関係な資料は一切受け付けません

○実施期間 令和9年2月末まで

○実施手順

名簿等廃棄申込書（以下）とともに不要な名簿・書類を本会へご送付（送料は自己負担）ください。なお、本会へのご持参も受け付けております。



## お問合先

広島県医師会事務局経理課

電話 082-568-1511、FAX 082-568-2112

Mail keiri@hiroshima.med.or.jp

## 名簿等廃棄申込書

年 月 日

一般社団法人広島県医師会 御中

以下の通り書類等の廃棄を申し込みます。

申 込 者	医 療 機 関 名	
	会 員 ご 氏 名	
	連 絡 先 電 話 番 号	
廃 棄 物 内 訳	名 簿 類	冊
	そ の 他	内容【  （ ）冊もしくは約（ ）kg

## 医師会行事

## 4月

- 2日(木) ・ 広島大学病院オリエンテーション
- 3日(金) ・ 広報委員会
- 4日(土) ・ 第20回男女共同参画フォーラム
- 6日(月) ・ 安佐准看護学院 第47期生入学式
- 7日(火) ・ 第20回日本禁煙学会学術総会 第1回プログラム委員会
- 8日(水) ・ 理事会
- 9日(木) ・ 広島市医師会看護専門学校 令和8年度入学式
- 12日(日) ・ 京都府医師会との交流会
- 13日(月) ・ 第65回議事運営委員会
- 14日(火) ・ 保険医療機関等(医科)の指導打合せ会  
・ 常任理事会
- 15日(水) ・ 都道府県医師会新たな地域医療構想に関する担当理事連絡協議会  
・ 第1回女性医師部会
- 16日(木) ・ 審査運営協議会(支払基金)  
・ 第1回産業医部会・市郡地区医師会産業保健担当理事連絡協議会
- 17日(金) ・ 学校医部会心臓検診検討会 心電図判定事業  
・ 広報委員会
- 19日(日) ・ 日本医師会 学校保健講習会
- 20日(月) ・ 第2回有床診療所の国無形文化財登録を目指す検討会議
- 21日(火) ・ 日本医師会 第1回理事会
- 22日(水) ・ 学校医部会心臓検診検討会 心電図判定事業  
・ 常任理事会
- 23日(木) ・ 広島医学編集委員会  
・ 第1回母体保護法指定医師審査委員会
- 24日(金) ・ 日本赤十字社常任理事会  
・ 中国地方社会保険医療協議会広島部会  
・ 「がん検診へ行こうよ」推進会議  
・ 学校医部会心臓検診検討会 心電図判定事業  
・ 合同審議会  
・ 広島県医師会スポーツ医部会
- 26日(日) ・ 第1回基礎前期産業医研修会
- 28日(火) ・ 第48回市区郡地区医師会長Web会議  
・ 常任理事会  
・ 第3回選挙管理委員会
- 29日(水祝) ・ 第31回広島県医師クラブ対抗テニス大会
- 30日(木) ・ 原対協常務理事会  
・ 日本医師会 第11回産業保健委員会  
・ 学校医部会心臓検診検討会 心電図判定事業  
・ 第35回ジュノー記念祭準備会

## 日本医師会ORCA管理機構

## 医療現場のICT化を推進するORCAプロジェクトは新たなステージへ

ORCAプロジェクトは発足から20年以上が経過し、医療現場の「安心」と「安全」を考えた、次世代医事会計サービス WebORCAクラウド版をリリースし、画面や操作感はそのままだに快適な動作スピードを実現、在宅医療や往診など、診療スタイルの変化、モバイルデバイスの充実など、取り巻く環境の変化に一早く対応しています。


詳しくは下記ORCA管理機構のホームページをご確認ください。



ORCA公式ホームページ WebORCAクラウド版

<https://www.orca.med.or.jp/>

# 社 保の葉

 のマークのある文書は、  
e-広報室「通達文書」へ全文  
が掲載してあります。



## 令和8年度診療報酬改定ホームページ及び関連書籍について

6月1日施行の令和8年度診療報酬改定（薬価改定4月施行・6月施行）について「令和8年度診療報酬改定ホームページ」（以下、改定ページ）を開設し、説明動画及び関連資料を掲載しました。なお、案内及び資料一式（改定診療報酬点数表参考資料（白本）含）を、医療機関宛に送付（無料）しております。

### 【令和8年度診療報酬改定ページへの入室方法】

①一般向け広島県医師会ホームページ → 医師のみなさまへ → 診療報酬改定  
(パスワードは2月25日号の付録でお知らせしております)

②会員専用コンテンツe-広報室 → メニュー → 診療報酬・指導関連情報  
→ 令和8年度診療報酬改定情報

e-広報室の会員専用ID・パスワードがご不明な場合は、ログイン画面の「ログインID/パスワードをお忘れの方：お問い合わせ」よりお問い合わせいただくか、本会広報情報課までお問い合わせください。

### ①医科診療報酬点数表/②薬価基準点数早見表について（お知らせ）

6月改定となりました前回より、医科診療報酬点数表・薬価基準点数早見表の1冊ずつの自動送付（後日代金引去）を取り止めております。その他の関連書籍も含めて本誌に案内（注文書）を掲載しておりますので、必要な場合は各出版社へ直接お申込ください。

#### 《取り扱い出版社》

- |           |              |   |
|-----------|--------------|---|
| ・ 社会保険研究所 | 医科診療報酬点数表の解釈 | 他 |
| ・ じほう     | 診療所外来点数マニュアル | 他 |
| ・ 医学通信社   | 診療報酬点数表早見表   | 他 |



## 成年後見制度等権利擁護支援に関するガイドライン

広島県では、成年後見制度等の権利擁護支援の概要や趣旨、手続き等について、市町をはじめ、相談支援機関や医療機関、金融機関などで、成年後見制度の対象となる方やその御家族への対応に役立てていただくため「成年後見制度に関するガイドライン」を作成しました。

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/263/seinenkouken-guidelines.html>

株式会社社会保険研究所行

FAX 082-223-2728

**医科点数表の解釈** 令和8年6月版  
 ●オンライン版の提供を開始 A4判/約1,950頁  
 絶大なる信頼を得た点数表書籍のスタンダード！  
 必要な情報を体系的に網羅し、抜群の正確さを誇る決定版。  
**【購入者特典】「オンライン医科点数表の解釈」**  
**(秋以降公開予定)の利用が可能に！**

**医療DXキーワードと関連診療報酬 一問一答**  
 ●2026年新刊図書 A5判/184頁  
 医療DXのキーワードと関連する診療報酬に特化した一問一答形式の解説書。  
 医療DXやICT分野(データ・デジタル・DPC関連を含む)に係る診療報酬についても同様に解説。

**医科診療報酬点数表** 令和8年6月版  
 B5判/約1,100頁  
 本文2色による構成、改定による変更箇所には下線を表示。  
 独自の編集によるフルカラーの早見表や別紙様式も掲載。

**薬価基準点数早見表** 令和8年4月版  
 A5判/約1,000頁  
 薬価基準収載全医薬品を、50音順に配列し薬価を表示。見やすくシンプルでひきやすい、実用早見表の決定版！  
 \*追補情報をサイト上に無料で掲載(追補サービス)

**薬効・薬価リスト** 令和8年度版  
 B5判/約1,130頁  
 適応・薬価をはじめレセプト事務に必要な情報を集約。  
 請求・審査・点検に欠かせない決定版。  
 \*追補情報をサイト上に無料で掲載(追補サービス)

**施設基準等の事務手引** 令和8年6月版  
 B5判/約1,700頁  
 施設基準の全内容を収載、人員や設備・施設などの基準を整理しわかりやすく掲載。  
 追加や変更点など、取り扱いが変わった箇所を下線で明示。

**検査と適応疾患** 令和8年6月版  
 レセ電算コード付 A5判/約600頁  
 レセプト電算処理に対応！  
 医科診療報酬点数表「検査」「病理診断」「画像診断」の部の項目に対し、レセ電コードごとに主な適応疾患・関連検査を、点数表の区分番号順に配列。

**特材算定ハンドブック** 令和8年6月版  
 レセ電算コード付 A5判/約500頁  
 特定保険医療材料を簡明に解説。  
 診療報酬算定ルール・主な適応等を収録したコンパクトな1冊！  
 材料の解説・主な写真を収録。

No.	図書名	発刊	本体価格	特別価格	ご注文冊数	No.	図書名	発刊	本体価格	特別価格	ご注文冊数
110029	医科点数表の解釈	6月	7,480	6,110	冊	160290	医療DX キーワードと関連診療報酬 一問一答	既刊	2,420	2,550	冊
100023	医科診療報酬点数表	4月	3,410	3,000	冊	120040	薬価基準点数早見表	3月	4,180	3,550	冊
120230	薬効・薬価リスト	4月	7,370	6,490	冊	130517	施設基準等の事務手引	7月	6,820	6,220	冊
140091	検査と適応疾患	5月	3,740	3,670	冊	150158	特材算定ハンドブック	4月	5,940	5,470	冊

●上記価格は全て消費税込みです。特別価格は送料込み価格です。

\* 請求書類、払込取扱票は図書と一緒に送りたいします。払込取扱票は郵便局専用で、手数料は掛かりません(小社負担)。

\* 請求書類に記載の銀行でお支払いの場合、手数料はお客様負担となりますので、ご注意ください。

貴名				申込日: 令和 年 月 日
部署名		担当者名		
ご住所	〒			
電話		FAX		

(株)社会保険研究所 〒730-0012 広島市中区上八丁堀5-15 新沢ビル5F TEL:082(223)2707 FAX:082(223)2728

## (株)じほう発行 診療報酬・薬価基準関連書籍のご案内

### 治療薬ハンドブック2026

薬剤選択と処方のポイント



編集/堀 正二、菅野 健太郎、  
門脇 孝、乾 賢一、林 昌洋

定価 4,950円 (本体4,500円+税10%)  
B6変型判/1,888頁/2026年1月刊  
ISBN : 978-4-8407-5687-7

添付文書だけではわからない情報がいつでもさっと調べられる医療従事者必携の治療薬情報集。今版より「腎機能」欄が全面リニューアル。アプリや動画もさらに充実！【付録アプリ付】

適応・用法付 薬効別薬価基準

### 保険薬事典 Plus<sup>+</sup> 令和8年4月版



編集/薬業研究会

定価 5,280円 (本体4,800円+税10%)  
A5判/2色刷/約1,100頁/2026年3月刊  
ISBN : 978-4-8407-5695-2

適応情報も確認できる医療用  
医薬品リストの定番書籍！

《※2026年度薬価改定に対応!!》

レセプト事務のための

### 薬効・薬価リスト 令和8年版



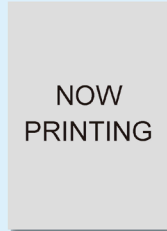
制作/医薬情報研究所

定価 7,370円 (本体6,700円+税10%)  
B5判/約1,100頁/2026年4月刊  
ISBN : 978-4-8407-5697-6

禁忌・併用禁忌のチェックも可能な、保険請求事務・審査事務の決定版!!

《※2026年度薬価改定に対応!!》

### 診療所外来点数マニュアル2026



編著/診療報酬研究会

定価4,180円 (本体3,800円+税10%)  
A4判/約476頁/2026年6月予定  
ISBN : 978-4-8407-5702-7

2026年度診療報酬改定に対応！  
診療所の外来到に特化した読みやすい「必携の1冊」

《※2026年度薬価改定に対応!!》

お申込書 (切り離さずそのままお申込ください)

お申込は、(株)じほう大阪支局 FAX : 0120-189-015 へ

- お申込は、下記にご記入の上、(株)じほう大阪支局まで FAX にてお送りください。
- 書籍と請求書は(株)じほうから直接お送りいたします。
- 会員価格での販売は、本お申込書による(株)じほう大阪支局への直接注文に限ります。
- 本申込書でのご注文は、書店の取扱いができませんのでご注意ください。

税込・送料込み

(お申込日: 年 月 日)

書籍名	発行	ISBN	発行日	定価 (税込)	会員価格 (税込)	ご注文数
治療薬ハンドブック 2026 【付録アプリ付】	じほう	56877	2026年1月	4,950円	4,510円	
保険薬事典 Plus <sup>+</sup> 令和8年4月版	じほう	56952	2026年3月	5,280円	5,280円	
薬効・薬価リスト 令和8年版	じほう	56976	2026年4月	7,370円	6,490円	
診療所外来点数マニュアル 2026	じほう	57027	2026年6月予定	4,180円	3,894円	

ご住所	(〒 - )		
貴施設名	部署 お名前		
お電話番号	FAX		
通信欄			

収集させていただいた個人情報、厳重に管理するとともに、ご注文書籍の発送、代金のお支払いの確認、弊社出版物のご案内等、弊社事業活動に利用させていただく場合がございますので予めご了承ください。ご不明な点は、右記へお問い合わせください。 E-mail : privacy@jiho.co.jp

【お問合せ先】 株式会社じほう 大阪支局 TEL : 06-6231-7061

【広島県医師会 202601】

### 医学通信社 2026年新刊書籍のご案内

謹啓 この度、(株)医学通信社発行の2026年新刊書籍を、**特別価格**でご提供させていただく運びとなりました。  
 ご注文は、下記の「**特別価格(15%引き)FAX注文書**」にご記入の上、医学通信社宛にFAXにてお申し込みください。  
 さらに、**同一書籍を50部以上ご注文の際は、その書籍に限り20%引き**でご提供します。  
 なお、特別価格適用は、**2026年5月15日(金)到着分まで**となりますので、ご了承ください。  
 本件に関するご連絡は、木田 (☎03-3512-0251) までお願い申し上げます。 謹白

## 特別価格(15%引き)FAX注文書 ※この注文書で書店からはご購入できません

HIR

医学通信社 行 **FAX 03-3512-0250**

申込日： 年 月 日

書籍名	刊行予定	定価→特別価格(15%引・税抜)	申込部数
 診療点数早見表 2026年度版	5月 下旬	4,600円 → <b>3,910円</b>	
 薬価・効能早見表 2026年4月版	4月 月上旬	5,600円 → <b>4,760円</b>	
 DPC点数早見表 2026年度版	5月 下旬	4,600円 → <b>3,910円</b>	
 最新検査・画像診断事典 2026-27年版	5月 下旬	2,800円 → <b>2,380円</b>	
 診療報酬完全攻略 2026-27年版	6月 中旬	2,800円 → <b>2,380円</b>	

※内容は、弊社ホームページ (<https://www.igakutushin.co.jp/>) をご参照ください。

【書籍送料】 1~9部：100円(+税)×部数。 10部以上は一律1,000円(+税)

ご住所(〒 - )

名 称 ふりがな..... 部署名

担当者 ふりがな..... 電話..... 備考



## e-資料 通達文書（社保関係）掲載情報

☆e-広報室 → 広島県医師会速報 →  通達文書 → 医師会速報e-資料に全文掲載しております。



### 「厚生労働大臣が指定する病院の病棟における療養に要する費用の額の算定方法の一部改正等に伴う実施上の留意事項について」等の一部改正について 令和8年4月21日（日医発第167号 保険）

厚生労働省より一部改正について通知された。



### 令和8年度診療報酬改定に係る施設基準届出チェックリストのご案内について 令和8年4月21日（日医発第206号 保険）

「令和8年度診療報酬改定に係る施設基準届出チェックリストの送付について」日医ホームページのメンバーズルームに掲載した。

本資料を含む関係資料につきましては、厚生労働省ホームページ「令和8年度診療報酬改定について」（[https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_67729.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_67729.html)）を参照。



### 疑義解釈資料の送付について（その3） 令和8年4月21日（日医発第207号 保険）

令和8年度診療報酬改定に関するQ&A「疑義解釈資料の送付について（その3）」が発出された。

※日医ホームページのメンバーズルーム中、医療保険の「令和8年度診療報酬改定に関する情報」に掲載。

【発送済みの令和8年度診療報酬改定資料（白本）に同封しております】



### 出産育児一時金等の受取代理制度の届出について（令和8年度）

令和8年4月22日（日医発第205号 保険）

令和8年度も引き続き受取代理制度を導入するが、令和7年度の届出の内容に変更のある診療所、受取代理制度を利用している全ての病院および直近の会計年度において、年間の平均分娩取扱件数が100件超であって、かつ収入に占める正常分娩に関する収入の割合が50%未満の診療所については、令和8年5月22日（金）までに届出を行っていただく必要がある。

なお、令和8年度においても受取代理制度を引き続き導入する診療所であって、令和7年度の届出の内容（施設の基本情報・年間の分娩取扱件数が100件以下又は収入に占める正常分娩に関する収入の割合が50%以上）に変更がない場合には、改めて届出をする必要はなく、令和8年度より新規に受取代理制度を導入する医療機関は、令和8年5月22日（金）までに届け出る必要がある。

さらに、令和7年度までに届出している医療機関において、既に受取代理制度の活用を廃止している医療機関は、令和8年5月22日（金）までに届出を行う必要がある。今後、受取代理制度の活用を廃止する医療機関につきましては、受取代理制度を廃止することが明らかになった時点で、届け出ることとなる。受取代理制度を導入している医療機関の名称及び所在地につきましては、届出をもとに、厚生労働省において一覧を作成の上、医療保険者に対して情報提供、ホームページで公表される。



### デペモキマブ（遺伝子組換え）製剤に係る最適使用推進ガイドラインの策定に伴う留意事項について 令和8年4月23日（日医発第219号 保険）

デペモキマブ（遺伝子組換え）製剤（販売名：エキシデンサー皮下注100mgシリンジ及びエキシデンサー皮下注100mgペン）に関して、最適使用推進ガイドラインが策定されたことに伴い、本製剤に係る留意事項が示された。

※日医ホームページのメンバーズルーム中、医療保険の「医薬品の保険上の取扱い等」に掲載。



## 使用薬剤の薬価(薬価基準)の一部改正等について

令和8年4月23日(日医発第220号 保険)

薬価基準等の一部が改正され、同年4月15日から適用された。

※日医ホームページのメンバーズルーム中、医療保険の「医薬品の保険上の取扱い等」に掲載。



## 令和8年岩手県大槌町の林野火災に伴う災害の被災者に係るマイナ保険証又は資格確認書等の提示等について

令和8年4月23日(日医発第225号 保険)

氏名、生年月日、連絡先(電話番号等)、被用者保険の被保険者にあつては事業所名を、国民健康保険又は後期高齢者医療制度の被保険者にあつては住所(国民健康保険組合の被保険者については、これらに加えて組合名)を申し立てることにより、保険診療を受けることが可能な取扱いとする旨、厚生労働省より事務連絡が発出された。

また、公費負担医療の対象者であつて、医療券等の関係書類を紛失あるいは家庭に残したまま避難している等の場合には、各制度について、被爆者健康手帳や患者票等がなくても、①各制度の対象者であることの申し出、②氏名、③生年月日、④住所等を確認することにより受診することが可能であり、緊急の場合は、指定医療機関以外の医療機関でも受診できる取扱いとする事務連絡が厚生労働省より発出された。



## 疑義解釈資料の送付について(その4)

令和8年4月23日(日医発第226号 保険)

令和8年度診療報酬改定に関するQ&A「疑義解釈資料の送付について(その4)」が発出された。

※日医ホームページのメンバーズルーム中、医療保険の「令和8年度診療報酬改定に関する情報」に掲載。

【発送済みの令和8年度診療報酬改定資料(白本)に同封しております】

詳細な内容は通知の全文をご確認ください。



5月18日までの早期届けを!

## 《令和8年度診療報酬改定に伴う施設基準の届出について》

令和8年6月1日からの算定に係る施設基準の届出については、令和8年5月7日(木)~令和8年6月1日(月)までに届出書の提出・受理が行われたものについては、6月1日から算定することが可能です。

なお、令和8年5月下旬以降は中国四国厚生局の窓口は届出が集中し、混雑が予想されることから、**可能な限り令和8年5月18日(月)までの届出への協力**が中国四国厚生局よりお願いされております(電子申請につきましては、令和8年5月25日(月)8時から受付開始となります)。

例えば、ベースアップ評価料を令和8年6月以降も算定する場合は、届出を済ませている医療機関も再度の届出が必要です。

厚生労働省 ベースアップ評価料等の特設ページ(説明・様式など掲載)

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000188411\\_00053.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000188411_00053.html)

提出方法 中国四国厚生局指導監査課へ電子メールにエクセルファイルを添付・提出

問合せ先 中国四国厚生局指導監査課 電話番号 082-223-8209

日本医師会メンバーズルームにも説明資料が掲載。

※<https://www.med.or.jp/login.html>

トップ > 医療保険・介護保険 > 診療報酬改定に関する情報 < 令和8年度





# ひろげようHMネット —参加医療機関の声—

## INTERVIEW

大手町こぶけ内科クリニック 小武家 和博 先生

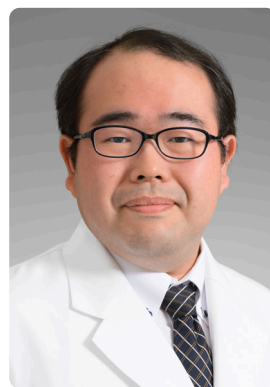
### 病院との併診をつなぐHMネット ～糖尿病診療を支える情報連携～

#### ●地域に根ざした糖尿病診療

当院は糖尿病、生活習慣病、内分泌疾患の診療を中心としつつ、一般内科診療も行っています。生活習慣病の患者さんが多いことから、糖尿病に関する専門的な治療を行いながら、かかりつけ医として患者さんの日々の生活に寄り添った診療を心がけています。

#### ●HMネットを使い始めたきっかけ

糖尿病患者さんは基礎疾患として糖尿病を持ちながら、合併症や併存疾患が多く、総合病院と併診している方が多くおられます。従来、総合病院受診と近いタイミングで受診された際に「先日病院で採血(検査)した」と言われても、結果を持参されないことが少なくありませんでした。患者さんの負担を減らすため、重複検査を避けたいと考え、前院長時代の2013年からHMネットの利用を始めました。



#### ●検査結果の確認に利用することが多いです

通常は患者さんの受診予定日の当日朝または前日に、直近の総合病院受診時のデータを参照し、取り込み可能な場合は院内の情報システムへ検査結果を取り込んでいます。開示病院で血液検査を受けている患者さんの情報を確認するために利用しているケースが多いです。

また、患者さんから伝え聞いた治療内容がはっきりしない場合に、医師のカルテ記載を確認することで理解が深まることもあります。

#### ●必要な患者さんに紹介しています

患者さんには「あなたが通院している病院での検査結果を、当院で確認できる仕組みがあるので利用させてほしい」とお願いしています。当院との直接の関係が薄くとも、病院と他のクリニックで連携しておいた方がよいと考えられる患者さんにもHMネットについて紹介することがあります。最近では、開示病院側から利用案内をしていただくこともあり、利用患者さんが増え、情報が得られやすくなりました。

#### ●より使いやすくなるために

診療情報開示・参照システムでは患者さんのHMカードを読み込むことで患者一覧に追加され、2回目以降の参照が非常に容易になります。大変便利な機能であり、広島大学病院や広島市民病院等では導入されていますが、全ての開示病院での実装が進むことを強く期待します。

また、開示病院の検査結果を、院内電子カルテやデータベースへ直接テキストなどで貼り付けられるようになれば、より利便性が高まると感じています。時系列で閲覧できれば、さらに有用でしょう。

VPN接続はセキュリティ面で安心ですが、そのために別のPCを用意する必要がある点は負担となっています。HPKI認証や二段階認証などを活用し、通常のインターネット接続環境から閲覧できるようになれば、利用する医療機関も増えるのではないのでしょうか。

●AIの運用開始はタイムリーでした

胸部X線の読影に不安があるため、気になる画像があればAI胸部X線画像診断支援システムを併用しています。特に市の肺がん健診時に活用しています。

自院でAI読影システムの導入も検討しましたが、導入せずに済んだことで、手間やコスト面で大きな助けとなりました。

当院では検査データの管理にRS\_baseを使用しており、X線画像も撮影装置からRS\_baseに取り込んで保管しています。AI読影に必要なDicom画像は、院内LANを經由して、RS\_baseからHMネット用PCに送り、読影結果も、pngファイルでダウンロードしてRS\_baseに保存しています。CDなどのメディアに取り出す手間がなく、元画像と並べて整理できるので、後から参照する時にも大変便利です。

●これから利用を検討される医療機関へ

処方内容はオンライン資格確認や電子処方箋管理サービスでも確認可能な時代ですが、入院中の経過や治療状況まで把握できる点は大きな利点です。紹介して終わりではなく、その後も連携を続けるのであれば、HMネットでつながっておくことは有用と考えます。

そして何より、AI胸部X線画像診断支援システムは「超便利」です。それだけでも使ってみる価値は十分にあると思います。



大手町こぶけ内科クリニック

〒730-0051

広島県広島市中区大手町3丁目1-11平野ビル1F

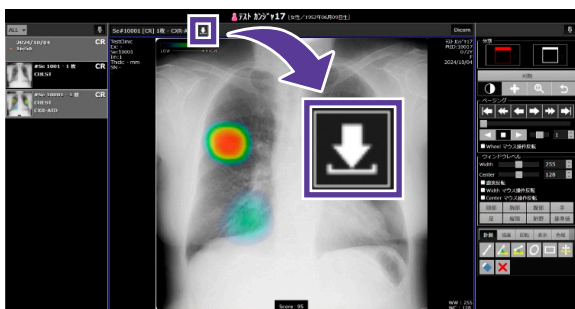
TEL : 082-504-6255/FAX : 082-504-6618

AI胸部X線画像診断支援システム 機能追加のお知らせ

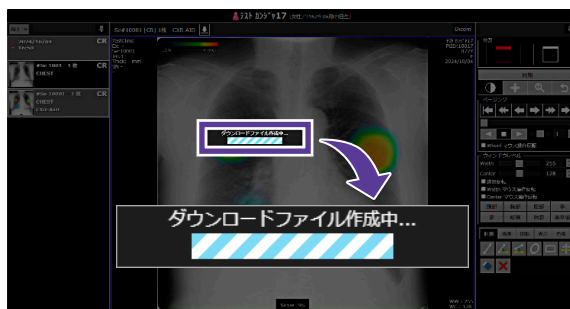
AI胸部X線画像診断支援システムにおいて、AI解析結果をDICOM形式でダウンロードできる機能を追加いたしました。

操作方法の詳細につきましては、HMネットポータル画面に掲載しておりますマニュアルをご参照ください。今後も利便性向上に努めてまいりますので、引き続きご活用くださいますようお願いいたします。

【画像ビューワ画面】



【ダウンロード】ボタンをクリック



画像のダウンロードが開始されます。ダウンロード画面に従い、ダウンロードを行ってください。

### ひろしま医療情報ネットワーク (HMネット) は「電子的診療情報連携体制整備加算」の施設基準<sup>(10)</sup>イを満たしています

令和8年度診療報酬改定において、「電子的診療情報連携体制整備加算」が新設されました。ひろしま医療情報ネットワーク (HMネット) は、本加算の施設基準<sup>(10)</sup>イの(イ)から(ウ)のすべての要件を満たしております。

**電子的診療情報連携体制整備加算の新設①**

電子的診療情報連携体制整備加算の新設①

医療DX関連施策の進捗状況を踏まえ、普及した関連サービスの活用を基本としつつ、更なる関連サービスの活用による質の高い医療の提供を評価する観点から、医療情報取得加算及び医療DX推進体制整備加算の評価を見直す。

【医療DX推進体制整備加算】	
初診時 (月に1回)	再診時 (月に1回)
医療DX推進体制整備加算1 (12点)	11点
医療DX推進体制整備加算2 (11点)	10点
医療DX推進体制整備加算3 (10点)	8点
医療DX推進体制整備加算4 (10点)	9点
医療DX推進体制整備加算5 (9点)	8点
医療DX推進体制整備加算6 (8点)	6点

※ 医科・歯科は初診料、調剤は調剤科本料

【改定後】

【電子的診療情報連携体制整備加算】	
初診時 (月に1回)	再診時 (月に1回)
電子的診療情報連携体制整備加算1 / 2 / 3	15点 / 9点 / 4点
電子的診療情報連携体制整備加算	2点
【電子的歯科診療情報連携体制整備加算】	
初診時 (月に1回)	再診時 (月に1回)
電子的歯科診療情報連携体制整備加算1 / 2	9点 / 4点
再診時は歯科と同様	
【電子的調剤情報連携体制整備加算】	
調剤基本料 (月に1回)	電子的調剤情報連携体制整備加算
	8点

**電子的診療情報連携体制整備加算の新設②**

電子的診療情報連携体制整備加算の新設②

【施設基準 (電子的診療情報連携体制整備加算1)】

- オンライン請求を行っていること。
- 診療報酬明細書を患者に郵送で交付していること。
- オンライン資格確認を行う体制を有していること。
- 医師又は歯科医師が、オンライン資格確認システムを利用して取得した診療情報を、診療を行う診療室、手術室又は処置室等において、閲覧又は活用できる体制を有していること。
- マイナ保険証利用率が、30%以上であること。
- マイナンバーの医療情報等に基づき、患者からの健康管理に係る相談に応じる体制を有していること。
- 明確な責任に関する事項、医療DX推進の体制に関する事項等について、当該保険医療機関の員やすい場所及びウェブサイトに掲載していること。
- 電子処方箋を発行する体制又は調剤した薬剤に関する情報を電子処方箋システムに登録する体制を有していること。
- 以下のアからウの全て又はエを満した電子カルテを有していること。
  - ア 厚生労働省「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」に準拠した体制であること。
  - イ 電子処方箋管理サービスの接続インターフェースを有していること。
  - ウ 電子カルテ情報共有サービスの接続インターフェースを有していること。
  - エ 厚生労働省が認定する電子カルテ製品であること。
- アを満す又はイ(ウ)を満すこと。
- 医療機関が提供する電子カルテ連携サービスにより取得される診療情報等を活用する体制を有していること。
- 地域の複数の医療機関間で検査結果や画像情報等を含む診療情報等を共有又は閲覧できるネットワークであって、以下の(イ)から(ウ)の全てを満たすものを活用する体制を有していること。
  - (イ) 当該ネットワークに参加している保険医療機関の数が10以上であり、そのうち診療情報を開示している病院の数が2以上であること。
  - (ロ) 登録患者数が1,000人以上であること又は新規登録患者数が年間100人以上であること。
  - (ハ) 当該ネットワークに参加していること及び実際に患者の情報を共有している実態のある保険医療機関の名称について、当該保険医療機関の員やすい場所に開示していること。
- 診療情報提供料(1)の検査・画像情報提供加算又は電子的診療情報連携体制整備加算の施設基準を掲げていること。
- 当該ネットワークに参加していること及び実際に患者の情報を共有している実態のある保険医療機関の名称について、当該保険医療機関の員やすい場所に開示していること。

保険医療機関数および登録患者数は、HMネットのホームページ (<https://www.hm-net.or.jp/>)の「INFORMATION」に掲載しております。届出様式の記入の際にご確認くださいようお願いいたします。

なお、(様式1の6) 5イの記入例のうち、登録患者数、年間新規登録患者数、年間新規登録患者数開始年月および終了年月の記載方法(年単位か年度単位か等)については、中国四国厚生局指導監査課に確認中です。今後、疑義解釈等で示される可能性もありますので、内容が分かり次第、HMネットホームページのお知らせ欄に掲載いたします。今しばらくお待ちくださいますようお願いいたします。

#### ●(様式1の6) 電子的診療情報連携体制整備加算及び電子的歯科診療情報連携体制整備加算(初・再診料)の施設基準に係る届出書添付書類(5イの記入例)

5. 電子カルテ情報共有サービス等に係る要件

ア 国等が提供する電子カルテ情報共有サービス(該当する場合、□に「✓」を記入すること。)	国等が提供する電子カルテ情報共有サービスにより取得される診療情報等を活用する体制が整備されている
イ 地域の複数の医療機関間で検査結果や画像情報等を含む診療情報等を共有又は閲覧できるネットワーク	
ネットワーク名	ひろしま医療情報ネットワーク(HMネット)
ネットワークを運営する事務局名	一般社団法人 広島県医師会
ネットワークを運営する事務局所在地	〒732-0057 広島市東区二葉の里3-2-3
登録患者数	
年間新規登録患者数	
年間新規登録患者数 開始年月(和暦で記載すること)	年 月
年間新規登録患者数 終了年月(和暦で記載すること)	年 月
ネットワークの運営主体による連携医療機関及び登録患者数のウェブサイトでの公表	有・無

HMネットにご参加いただいている医療機関におかれましては、他の施設基準をご確認のうえ、届出様式をご提出くださいますようお願いいたします。

また、HMネットに未参加の医療機関におかれましては、この機会にぜひご参加をご検討くださいますようお願いいたします。

参加申請書類のダウンロード  
<https://www.hm-net.or.jp/koubo/koubo.zip>

参加申請書類の提出先 (FAXおよびメールでの提出も可能です)  
〒732-0057 広島市東区二葉の里3-2-3  
一般社団法人 広島県医師会 HMネット推進課  
TEL : 082-568-1511 / FAX : 082-568-2112 / E-mail : hm-net@hiroshima.med.or.jp



今年は例年よりも暑い。毎年同じセリフを言っている気もするが、今年も暑い。この暑い中、往診に使用している軽自動車の空調の効きが悪い。もう11年以上乗っているのに、仕方ないかもしれないが、車検をうけたばかりなのに、どうも調子がよろしくない。通常速度で走行している分には問題なく空調が効くのだが、低速走行になるとただの送風状態になってしまう。信号にたびたび引っかかる状態だとほとんど車内の温度は下がらず、窓を開けたほうがマシなくらいだ。同乗する看護師からは早くディーラーに見てもらった方がよいと再三言われたが、車検うけたばかりだし、通常速度で走行している分には問題なく空調が効くので、修理に出すのも面倒だと放置していた。

8月も半ば過ぎになり、あいかわらず修理しないままの往診車で府中町を走行していた。土曜日の夕方、ソレイユ近辺の道はたびたび大渋滞となる。特にマツダスタジアムでカーブの試合がある日は、広島駅方面の道路は山陽本線の北側の道も南側の道も渋滞する(勝手にカーブ渋滞と呼んでいる)。またカーブ渋滞かと、半ばあきらめながら、空調の効かない車に汗をかきながら乗っていると、なにやら、メーターの警告ランプが点灯している。このランプはなんだったかなと考えながら見ていると、今度はランプが点滅し始めた。これはなにやらずい状態になっているのでは、と思いはじめた時、ボンネットから煙(水蒸気)がもくもくと上がり始めた。これは…「オーバーヒート」だ、と気が付いた。先ほど点灯していたランプは水温警

告灯だったのだ。「オーバーヒート」はよく聞く単語ではあるが、実際に体験するのは初めてのことである。早急にエンジンを冷やさないといけませんが、渋滞に巻き込まれ、逃げ道が見当たらない。さらに悪いことにすぐそばにガソリンスタンドがあり、こんなところでエンジンになにかあれば大変なことになる。車内はとて暑いのに、背中には冷や汗をかいていた。こんなに暑いのに、冷や汗って、ほんとうに冷たく感じるんだと、段々なにを考えているかわからなくなってきていたが、ふと視界の端にガソリンスタンドの横の側道に抜ける道が見えた。側道に入り、なんとか渋滞を抜け、エンジンを冷やすことでオーバーヒートを解除することができた。

後日、ディーラーに見てもらったところ、クーリングファンが全く回っていなかったことでエンジンも車内も冷却できていないことがわかり、修理することで無事空調も正常に作動するようになった。

いつもクリニックでは、「健診でひっかからなくても、いつもと違う症状があれば受診してくださいね」と患者には言っているのに、「車検で異常なかったし、もう少し様子を見るか」と油断をしていたことで、あわや大惨事になるところであった。今年で12年目を迎える往診車ではあるが、もうすこし活躍してもらおう予定なので、今後は車の声にも耳を傾けておかしいと思えばちゃんと受診(修理)するようにしたいと思う。



全国医師協同組合連合会専用の制度です

万が一針刺し事故等により HBV、HCV、HIVに感染したら・・・  
そんな不安を抱えている会員の皆さまに！

団体割引  
30%適用

# 針刺し事故等補償プラン

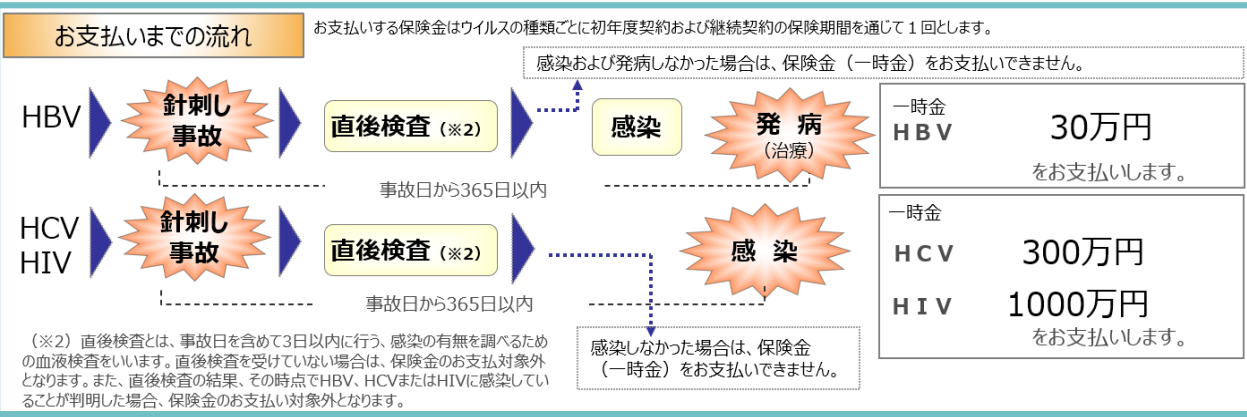
## 針刺し・傷害プラン



		医師向けプラン			従業員向けプラン		
		保険金額			保険金額		
		Aタイプ	Bタイプ	Cタイプ	Xタイプ	Zタイプ	Yタイプ
基本補償①	針刺し事故等による感染症保険金	HBV: 30万円 HCV: 300万円 HIV: 1,000万円 <small>保険金額1,000万円に、ウイルスの種類に応じて支払割合を乗じた上記金額をお支払いします。</small>					
基本補償②	死亡・後遺障害保険金	1億円	5,000万円	3,000万円	1,000万円	500万円	なし
	入院保険金(日額)	15,000円	10,000円	5,000円	5,000円	5,000円	5,000円
	手術保険金	(入院中の手術)入院保険金日額の10倍 (通院中の手術)入院保険金日額の5倍					
	通院保険金(日額)	10,000円	5,000円	3,000円	3,000円	2,000円	2,000円
	介護保険金	年間120万円			なし		
	被害事故補償保険金	5,000万円			なし		
	月払保険料	12,410円	6,610円	4,110円	2,250円	1,590円	1,150円

### 補償の概要

医療従事者が業務従事中に生じた針刺し、切創、血液飛散、血液接触により、HBV (B型肝炎ウイルス(※1))、HCV (C型肝炎ウイルス)、HIV (ヒト免疫不全ウイルス)に感染した場合に、保険金(一時金)をお支払いします。  
(※1) HBVの場合は感染後、B型肝炎を発病し治療した場合に限り保険金(一時金)をお支払いします。



このチラシは、概要を説明したものです。詳しい内容につきましては取扱代理または損保ジャパン営業店までお問い合わせください。

<取扱代理店>  
 広島県医師協同組合指定代理店  
 広医株式会社  
 〒732-0057  
 広島県広島市東区二葉の里3-2-3 県医師会館5F  
 TEL 082-568-6330  
 FAX 082-262-1688  
 (受付時間: 平日の午前9時から午後5時まで)

<引受保険会社>  
 損害保険ジャパン株式会社  
 広島支店法人第一支社  
 〒730-0031  
 広島県広島市中区紙屋町1-2-29 損保ジャパン紙屋町ビル  
 TEL 082-243-6201  
 FAX 082-542-5597  
 (受付時間: 平日の午前9時から午後5時まで)

Web申込可

# 募 集 コ ー ナ ー

Web申込可 マークは広島県医師会ホームページからお申し込みいただけます

Web申込可

## 第41回広島県医師会勤務医ゴルフ大会

勤務医ゴルフ大会を下記の要領で開催致します。  
勤務医相互の親睦の場として多数のご参加をお待ちしております。  
初心者の方も大歓迎です。

と き : 令和8年5月31日(日) 1組目スタート 午前9:30 (予定)

と ころ : グリーンバースゴルフ倶楽部 (三原市大和町大草20905番37 TEL:0847-33-1751)

競技方法 : 18ホール ストローク・プレー、ダブルペリア方式、個人戦及び団体戦 (地区別)

参加資格 : 広島県医師会勤務医会員

参加費 : 3,000円 (当日現金徴収。参加賞、懇親会費を含む)

プレー代 : 15,000円 (利用税別)

※参加費とは別途、ゴルフ場へお支払いいただく代金です。(プレーフィー、カート代)

申込方法 : 下記参加申込書に記入のうえFAXかメール、または広島県医師会HP申し込みフォームよりお申し込み下さい。

締 切 : 令和8年5月7日(木)必着

申込・問合せ : 広島県医師会学術課 勤務医ゴルフ大会係  
〒732-0057 広島市東区二葉の里3-2-3  
TEL:082-568-1511 FAX:082-568-2112  
E-mail:gaku@hiroshima.med.or.jp



Web申込みは  
二次元コードより

Web申込可

### 第41回広島県医師会勤務医ゴルフ大会 (参加申込書)

FAX 082-568-2112 (学術課 今田行)

フリガナ氏名			
所属地区医師会名			
勤務先		診療科目	
勤務先住所	〒		
E-mailアドレス	TEL		
生年月日	西暦	年	月 日生
ハンディキャップ	(参考までにオフィシャルまたはプライベートHDを記入下さい)		
希望欄	(組み合わせ等)		

# 第26回たばこと健康・広島フォーラム

日本医師会認定産業医研修会 (2単位)、日本医師会生涯教育講座認定 (2単位)、  
日本禁煙学会認定5単位、禁煙学会サポーター指定講演会 申請中

広島県医師会では、1980年(昭和55年)から会内に禁煙推進委員会を設置し禁煙推進活動に取り組んでおります。その活動の一つとして、「世界禁煙デー(5月31日)」の時期に合わせて、禁煙推進に関心のある医師をはじめとした医療関係者を対象とし、「たばこと健康・広島フォーラム」を開催しております。

今年度は、本県において「第20回日本禁煙学会学術総会(令和8年10月24日(土)～25日(日))」が開催され、全国から禁煙推進に関わる医療・保健関係者等が広島に参集されます。この機会は、本県の禁煙推進および受動喫煙防止の取組を全国へ発信する好機であることから、この学術総会と連動して本フォーラムを実施し、本県全体における禁煙に関する意識の向上と社会的機運の醸成を図り、継続的な禁煙推進につなげてまいります。

つきましては、第26回フォーラムを次の日時で開催する運びとなりましたので、ご案内申し上げます。

- と き** 令和8年6月10日(水) 午後7時～午後9時5分
- と ころ** 広島県医師会館 1階ホール (広島市東区二葉の里3-2-3)/Web ※ハイブリッド開催
- 内 容** 『※未定 (職域における禁煙推進に関する内容)』  
自治医科大学附属さいたま医療センター 副センター長  
第19回 (令和7年) 日本禁煙学会学術総会大会長 藤田 英雄 先生
- 定 員** 会場参加【250名程度】 Web参加【200名程度】
- 申込方法** 広島県医師会HP申込フォームまたはFAXによりお申し込みください。
- 申込期限** 令和8年5月31日(日)必着
- 単 位** 日本医師会認定産業医研修会 (基礎・後期 2単位 又は 生涯・専門 2単位) ※申請中  
日本医師会生涯教育講座認定 (2単位) (CC:12 (地域医療)) ※申請中  
日本禁煙学会認定5単位、禁煙学会サポーター指定講演会 ※申請中
- 問 合 先** 広島県医師会 地域医療課 TEL:082-568-1511

## 第26回たばこと健康・広島フォーラム 申込書

FAX:082-568-2112 広島県医師会 地域医療課 行

フリガナ氏名	男性 / 女性	生年月日 (西暦 年 月 日)
TEL: ( ) - / E-mail:		
医師 (医籍番号: ) / 看護師 / その他 ( )		
所属機関名		
参加方法	会場参加 / Web参加 ※日医認定産業医単位を申請する場合は会場参加となります。Webでの参加では単位取得できません。	
日医認定産業医単位申請	申請する ( 基礎 ・ 生涯 ) ・ 申請しない ※MAMIS未登録の場合はマイページ登録完了後にお申込ください。 ※令和7年度より、産業医研修会の単位はMAMIS (日医会員管理システム) により、管理されています。MAMIS未登録の場合、本フォーラムで取得頂いた単位が、付与できない可能性があります。	
受講票送付先住所	〒 -	

(参考)  
日本医師会HP: <https://www.sangyo-doctors.gr.jp/>

## 【広島県からのお知らせ】

# 総合診療専門研修プログラム合同説明会2026

広島県では、少子高齢化が進展する社会において、複数疾患をもつ高齢者等の総合的な診療を担う総合診療医の役割が重要となるなか、総合診療専門医の確保・育成に取り組んでいます。

この度、広島大学病院総合診療医センターとの共催により、県内の臨床研修医や医学生等の進路選択のヒントとしていただけるよう「総合診療専門研修プログラム合同説明会2026」を開催します。

県内で運営されている8つの総合診療専門研修プログラムの内容等について、各プログラムの責任者や指導医、専攻医等から直接、聞くことができますので、ぜひご参加ください。

### 概 要

- (1) 対象者：臨床研修医、医学生等、興味のある方
- (2) 参加費：無料
- (3) 日 時：①令和8年5月15日(金) 14:00～15:00  
②令和8年6月4日(木) 18:30～19:30  
※両日ともオンラインによる開催です。  
※両日とも8つのプログラムの内容等を紹介するため、いずれかの日程での参加でかまいません。
- (4) 参加方法：申し込み後、当日のZoomのURLを申込時に登録のあったメールアドレスへ送付します。
- (5) 内 容  
■広島県内の総合診療専門研修プログラムによるプログラム内容等の紹介  
※詳細は広島県HPをご覧ください。
- (6) お申込みについて  
下記URLより、申込みフォームへアクセスし、申込んでください。  
<https://x.gd/iW7xH>

〈申込みに関する問い合わせ先〉広島大学病院総合診療医センター  
(TEL: 082-257-1597 E-Mail: yama2024@hiroshima-u.ac.jp)

日本  
医師会

## オンライン資格確認等システムなど 医療DX全般の相談窓口

日本医師会では、医療DXに関する相談窓口（問い合わせフォーム）を設置しています。お困りごと、心配なことなどがございましたら、ぜひ、相談窓口までお寄せ下さい。

<https://www.med.or.jp/japanese/members/info/jirei.html#e>  
(※日本医師会ホームページメンバーズルーム内に掲載しているため、アクセスするには日医会員用ユーザID、パスワードが必要です)



(問い合わせフォーム)

# 令和8年度介護職のための在宅緩和ケアセミナー

## 1 目的

在宅で療養するがん患者や家族と接する機会が多い介護職員等が緩和ケアについて学び、現場への支援に活かすことにより、適切な緩和ケアの体制整備を図ることを目的としています。

## 2 実施主体

広島県健康福祉局健康づくり推進課

## 3 対象者

在宅医療・介護連携に従事する者、介護職員、介護支援専門員、地域包括支援センター職員等

## 4 開催方法及び開催日

- 開催方法 ZoomウェビナーによるWeb（オンライン）開催
- 開催日 第1回 令和8年5月29日（金） 18：00～19：30  
第2回 令和8年6月26日（金） 18：00～19：30  
第3回 令和8年7月31日（金） 18：00～19：30

	講義名	予定講師
第1回	最期まで“その人らしく”を支援する ～在宅と施設のケアからみえてきたこと～	特別養護老人ホームやまゆり施設長 ／ケアマネマイスター広島 中東 奈津紀 氏
第2回	在宅療養・緩和ケアに欠かせない介護職の力	にじのはな在宅看護センター 緩和ケア認定看護師 清水 和子 氏
第3回	在宅でも介護施設でも実践できる看取りに向けた 本人と家族への声かけ	おおい在宅緩和ケアクリニック 院長 大井 裕子 氏

## 5 申込リンク及び二次元コード

[https://zoom.us/webinar/register/WN\\_G3dOalfISQmOsjUe\\_Xd2tw](https://zoom.us/webinar/register/WN_G3dOalfISQmOsjUe_Xd2tw)

申込期限：令和8年5月28日（木）まで



## 6 参加費用

無料

## 7 お問い合わせ先

広島県健康福祉局健康づくり推進課 がん医療・共生グループ

〒730-8511 広島市中区基町10-52

Tel. 082-513-3093

# 認知症を知る講演会

## 目 的

認知症は誰もがなり得るものであり、認知症に対する偏見を払拭し、「認知症になっても希望を持って自分らしく暮らす姿（新しい認知症観）」を幅広い世代へ啓発することが重要である。当事者等による講演会を開催することにより、認知症に対する正しい知識の普及を図るとともに、新しい認知症観の啓発を行う。

## 主 催

広島県

## 開催日時

令和8年6月8日(月) 13時30分～16時00分（開場：13時00分）

## 会 場

広島県医師会館ホール（広島市東区二葉の里三丁目2番3号）

## 対象者・定員

県民（定員：300名）

## 内 容

認知症を知る講演会～“その人らしさ”はなくなる～

①講演：「新しい認知症観～脳科学から見た認知症～」

講師：恩蔵 絢子（脳科学者・東京大学大学院総合文化研究科特任研究員）

②講演：「認知症とともに生きる」

講師：丹野 智文（認知症当事者・認知症本人大使「希望大使」）

③対談

登壇者：恩蔵 絢子・丹野 智文

進行：木田 裕子（広島県若年性認知症支援コーディネーター）

## 参加費

無料

## 申込方法

右記の申込フォーム（二次元コード）からお申しいただくか、下記の申込書に必要事項をご記入の上、メール（fukyousei@pref.hiroshima.lg.jp）またはFAX（082-502-8744）でご送付ください。



【申込フォーム】

## 認知症を知る講演会申込書

①氏名（ふりがな）	
②氏名（漢字）	
③住所（市町まで） （例：広島市）	
④メールアドレスまたはFAX番号 （※いずれかをご記入ください。）	

## 申込締切

令和8年6月5日(金) 12時00分

## お申込・お問合せ先

広島県健康福祉局 地域共生社会推進課 認知症共生グループ

TEL：082-513-3201（ダイヤルイン） FAX：082-502-8744

E-mail：fukyousei@pref.hiroshima.lg.jp

# 令和8年度 依存症治療指導者養成研修・ 依存症相談対応指導者養成研修及び地域生活支援指導者養成研修

## 1 目的

平成29年度から開始された「依存症対策全国拠点機関設置運営事業」の一環として開催され、県等における依存症の支援に必要な人材養成を推進し、指導的な役割を果たす者を養成することを目的としており、アルコール健康障害、薬物依存症、ギャンブル等依存症、ゲーム障害を対象とした、依存症患者や家族に対する治療・相談等に係る研修です。

## 2 実施主体

依存症対策全国センター及び独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター

## 3 研修概要

### (1) 依存症治療指導者養成研修

依存症専門医療機関等において、依存症の治療に当たる医療従事者を対象とした、専門性を向上させるための研修

### (2) 依存症相談対応指導者養成研修

県精神保健福祉センター等において、依存症の相談支援に当たる職員を対象とした、依存症患者や家族等からの相談への対応力を強化するための研修

(1)・(2)の研修日程

研修名			開催日	実施方法	定員	申込締切日(必着)
アルコール依存症			【オンライン】 令和9年1月15日(金) 【オンデマンド】 12月1日(火)～12月15日(火)	ZOOMによる オンライン研修 ※アルコール依存症に係る研修のみオンデマンドによる開催あり	100名	5月8日(金)
薬物依存症			7月7日(火)～7月8日(水)		190名(※)	
ギャンブル等依存症			令和9年1月21日(木)～1月22日(金)		400名	
ゲーム依存	治療指導者	第1回	10月1日(木)～10月2日(金)		70名	
		第2回	令和9年2月4日(木)～2月5日(金)		70名	
	相談対応指導者	第1回	11月26日(木)～11月27日(金)		70名	
		第2回	令和9年2月25日(木)～2月26日(金)		70名	

※薬物依存の定員については、地域生活支援指導者養成研修と併せて190名とする。

### (3) 地域生活支援指導者養成研修

県、市町において、依存症患者等の地域における生活の支援を行う者(障害者福祉サービス事業者、相談支援事業者等)を対象とした依存症の特性を踏まえた支援についての研修

研修名	開催日	実施方法	定員	申込締切日(必着)
アルコール依存症	令和9年2月15日(月)	ZOOMによる オンライン研修	60名	5月8日(金)
薬物依存症	7月7日(火)		190名(※)	
ギャンブル等依存症	11月19日(木)		60名	

※ 薬物依存の定員については、治療指導者・相談対応指導者養成研修と併せて190名とする。

#### 4 お問合せ及び受講申込み書類の提出先

○研修内容について → 依存症対策全国センターホームページ (<https://www.ncasa-japan.jp/>)

○申込みについて →

受講希望者の所属する医療機関等の所在地が

広島市以外の場合は 広島県健康福祉局疾病対策課  
〈〒730-8511 広島市中区基町10-52 TEL082-513-3069〉

広島市の場合は 広島市健康福祉局障害福祉部精神保健福祉課  
〈〒730-8586 広島市中区国泰寺町1-6-34 TEL082-504-2228〉

## ブラウザゲーム

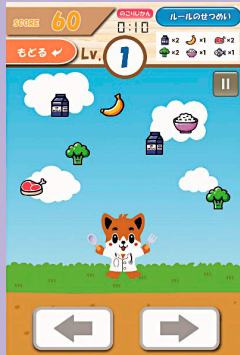
# 「日医君のわくわくミニゲーム！」が登場!!

—医療機関の診察や調剤などの待ち時間を有効に活用できるゲームが完成!—

### ■ゲームについて

- ・1日2時間までプレイ可能!遊べるゲームは2種類!
- ・レベル1~5までのステージ選択が可能のため、全世代が楽しめます。
- ・音が出ない仕様になっています。

#### 【日医君のキャッチゲーム】



- ・バランスの良い食事を摂ることの大切さを学ぶ
- ・日医君を操作して落ちてくる食材をキャッチ!

#### 【日医君のくるりんゲーム】



- ・脳トレ要素を取り入れた戦略的思考を促すゲーム
- ・ひとり対戦でもふたり対戦でも遊べる!

### ■ゲームの導入の流れ



- ①日本医師会ホームページのメンバーズルーム内よりポスターをダウンロード・印刷  
←メンバーズルームのサイトに飛べます
- ②医療機関の受付や掲示板等に掲示
- ③導入完了!

### ■注意事項等

- ・ポスターや二次元コードをSNS等に投稿・掲載することはご遠慮ください。
- ・通信料はご利用者様(患者様)のご負担となります。
- ・個人が特定される情報の取得はいたしません。

# 令和8年度 特定健診・特定保健指導に関する 人材育成研修会【基礎編】

## 目 的

「標準的な健診・保健指導プログラム（令和6年度版）」に示された健診・保健指導の理念や内容を再確認し、事業を適切に企画、実践及び評価することができる人材の育成支援を目的とする。

**主 催** 広島県保険者協議会

## 研修対象者

- (1) 医療保険者に所属する医師、保健師、管理栄養士等の専門職及び事務職（担当者及び管理職）
- (2) 市町、保健所等において特定健診・特定保健指導を担当する保健師、管理栄養士等の専門職及び事務職（担当者及び管理職）
- (3) 県内の特定健診・特定保健指導実施機関で特定健診・特定保健指導に従事する医師、保健師、管理栄養士等の専門職及び事務職

## 研修日時・場所等

- (1) 日 時 令和8年5月19日(火) 13:30~15:00
- (2) 開催方法 Zoom（ライブ配信）
- (3) 演 題 「なぜ特定健診・特定保健指導が必要になったと思いますか」
- (4) 講 師 千葉大学客員教授 元厚生労働省健康局長 矢島 鉄也 氏

## 申込方法

広島県保険者協議会ホームページに掲載している出席申込書をダウンロードし、必要事項を記載の上、令和8年5月8日(金)までにメールでお申し込みください。

申込後の変更・欠席は、すみやかに広島県保険者協議会事務局まで連絡してください。

カメラやマイク等対応する機器が整わない方については、国保会館での受講が可能ですので、備考欄に「国保会館で受講希望」と記載してください。

**受講料** 無料

## 留意事項

- (1) カメラ及びマイクがあるデバイスを使用してください。デバイス1台につき2人までをおすすめします。
- (2) 研修会参加時は、カメラをオンにしてください。
- (3) 講演内容の録画、録音、撮影は一切お断り致します。
- (4) 講演資料の著作権は、作成者または作成者の所属する組織が所有し、著作権法によって保護されています。著作権所有者の許可なく複製、二次利用することはできません。
- (5) 参加者みなさまが気持ちよく参加できるように、御協力をお願いします。

## 研修会の参加方法

研修会の参加に必要なID、パスコード等については、5月15日頃に申込の際に使用されたメールアドレスに送信しますので、ブラウザを起動し、ZoomのホームページからID、パスコードを入力することで参加が可能です。

なお、出席状況を把握するため、本協議会が申込後に指定するユーザー名を使用して入室してください。

## そ の 他

ユーザーアカウント数に限りがありますので、超過した場合は人数調整を行います。

## 申込み先及び問合せ先

広島県保険者協議会事務局（広島県国民健康保険団体連合会 保健事業課内）

担当者：浅田

電 話：082-554-0772

E-mail：jigyoku@hiroshima-kokuho.jp

## 広島県保険者協議会ホームページ

<https://www.hiroshima-kokuhoren.or.jp/hokensya/>



# 第47回広島県女性医師の会 学術講演会

広島県女性医師の会

広島県女性医師の会では、専門領域を越えた女性医師の親睦と情報交換を行っております。その一つとして、毎年6月の総会に合わせ、会員以外の方・男性も参加できる講演会を開催しております。今年も会場参加のみの形式で行います。朝ドラで再注目された小泉八雲(ラフカディオ・ハーン)と怪談のお話で、心の不安感から霊的なものや素朴な信仰に救いを求めた彼の生い立ちや妻節子との必然ともいえる邂逅(かいこう)をお話しいたします。是非会場でご参加お楽しみください。

(参加費無料)

**と き :** 令和8(2026)年6月7日(日) 10時30分~12時10分

12時40分からの有料懇親会もできればご出席下さい。

**と ころ :** 広島アンデルセン 4F デンマークルーム

(広島市中区本通7-1 〒730-0035、Tel (082) 247-2403)

## 演題と講師 :

### 講演

「広島ラフカディオ・ハーンの家」主宰  
比治山大学名誉教授

貝嶋 崇 先生

『怪談』を生んだ夫婦:小泉八雲と節子のお話

日医生涯教育講座単位申請中(コード69不安、1.5単位)

## お申込み・お問い合わせ先 :

講演会だけの場合、申し込みFAXは不要です。

有料懇親会にご参加の方は5月29日(金)までに、下記ご記入の上、FAXにてご送付ください。

お名前 ( ) 会員・非会員 (どちらかに○)

医療機関 ( ) お電話 ( )

講演会(無料) 参加 ( ) 人・不参加

昼食会(6,000円当日支払い) 参加 ( ) 人

FAX送付先: 082-504-6618 広島県女性医師の会 事務局

大手町こぶけ内科クリニック 小武家暁子

電話: 082-504-6255 E-mail: jskobuke@kkobu-clinic.jp

なお、広島県女性医師の会では、随時会員を募集しております(年会費4,000円)。

第39回

日本医学会公開フォーラム The Japanese Association of Medical Sciences Forum

# 骨粗鬆症

こつ  
そしょうしょう

現地参加  
&  
Web参加  
ハイブリッド  
開催

入場  
無料  
事前登録制

人生100年時代の骨折予防を考える

日時 2026年5月9日(土) 13:00-17:05 会場 日本医師会館 大講堂

総司会

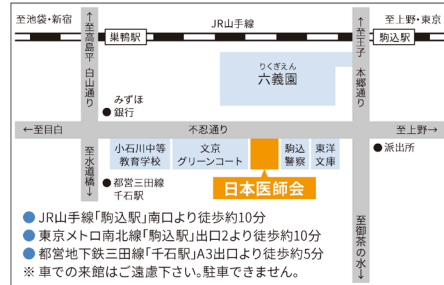
竹下 克志(日本医学会幹事/自治医科大学整形外科教授) 竹内 靖博(国家公務員共済組合連合会虎の門病院分院長)

- 13:00 開会の挨拶 門脇 孝(日本医学会長)
- 13:05 骨粗鬆症 序論 竹下 克志(日本医学会幹事/自治医科大学整形外科教授)
- 13:15 骨粗鬆症の疫学と病態 小川 純人(東京大学大学院医学系研究科老年医学教授)
- 13:45 骨粗鬆症検診の意義 田中 栄(東京大学大学院医学系研究科整形外科教授)
- 14:15 70歳からの30年間で元気に生きるための生活習慣  
山本 智章(新潟リハビリテーション病院院長)
- 14:45 薬物療法による骨折予防効果 竹内 靖博(国家公務員共済組合連合会虎の門病院分院長)
- 15:15 骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン2025に基づく診療体制の構築  
鈴木 敦詞(藤田医科大学内分泌・代謝・糖尿病内科教授)

- 15:45 休憩
- 16:00 総合討論 (司会)竹下 克志・竹内 靖博
- 17:00 閉会の挨拶 高橋 雅英(日本医学会副会長)
- 17:05 終了

日本医学会日本医師会生涯教育制度(ただし、医師のみ)

本フォーラムでは、生涯教育制度のカリキュラムコード:77(骨粗鬆症)3.5単位が取得できます。生涯教育制度の単位等を希望する医師の方は、参加申込の際に医籍登録番号、所属都市区等医師会名をご入力下さい。入力がない場合、および、各講演が未受講の場合、単位等の付与は行いません。



日本医師会館 大講堂

〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16 TEL:03-3946-2121(代)

- 主催 日本医学会
- 後援 日本医師会・NHK・読売新聞社
- 組織委員 竹下 克志(日本医学会幹事/自治医科大学整形外科教授)  
竹内 靖博(国家公務員共済組合連合会虎の門病院分院長)
- 参加費 無料
- 参加方法 日本医学会ホームページ(<https://jams.med.or.jp/>)から登録(QRコードからアクセスできます)  
※お申し込みの参加希望者の氏名、住所等の個人情報は、第三者に提供することはありません。
- 申込受付 2026年4月9日(木曜日)より受付開始
- 締め切り 2026年5月8日(金曜日)17:00  
先着順で定員(現地参加300名、WEB参加2000名)になり次第、締め切ります。

問い合わせ先 日本医学会 〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16 日本医師会館内  
TEL:03-3946-2121(代) E-mail:igakukai@po.med.or.jp

第168回

日本医学会シンポジウム

The Japanese Association of Medical Sciences Symposium

日時

2026年6月6日(土)

13:00▶17:05

会場

日本医師会館 大講堂

組織委員

福嶋 義光 (信州大学医学部公正研究推進講座・特任教授)

加藤 聖子 (九州大学大学院医学研究院生殖病態生理学分野教授)

入場  
無料  
事前登録制

現地参加  
&  
Web参加

ハイブリッド  
開催

# (PGT-M)について考える 着床前遺伝学的検査

13:00 開会の挨拶 門脇 孝(日本医学会長)

13:05 シンポジウム概説(序論)

加藤 聖子(九州大学大学院医学研究院生殖病態生理学分野教授)

福嶋 義光(信州大学医学部公正研究推進講座・特任教授)

[座長] 福嶋 義光

13:15 1.「PGT-M審査の現状と課題」

三浦 清徳(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科産科婦人科学教授)

13:45 2.「子どものいのちと最善の利益をめぐる問い」

笹月 桃子(早稲田大学人間科学学術院人間科学部教授)

[座長] 加藤 聖子

14:15 3.「PGT-M実施認定施設の立場から」 中岡 義晴(IVFなんばクリニック院長)

14:45 4.「PGT-Mを申請した遺伝性腫瘍患者の立場から」

野口 麻衣子(RB(網膜芽細胞腫)ピアサポートの会 共同代表)

「PGT-Mを経験した遺伝性腫瘍患者の立場から」

木瀬 真紀(RB(網膜芽細胞腫)ピアサポートの会 共同代表)

15:15 5.「不妊治療施設の臨床遺伝専門医・小児科医の立場から」

黒田 知子(加藤レディスクリニック臨床遺伝診断部部长)

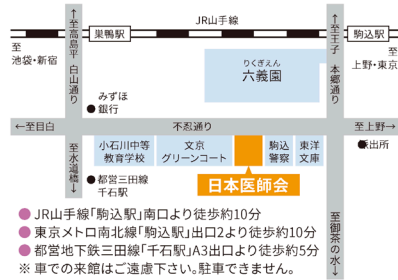
15:45 休憩

16:00 総合討論(質疑応答・総括)

(司会) 福嶋 義光・加藤 聖子

17:00 閉会の挨拶 磯 博康(日本医学会副会長)

17:05 終了



日本医師会館 大講堂

〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16 TEL:03-3946-2121(代)

日本医学会日本医師会生涯教育制度(医師のみ)

本シンポジウムでは、生涯教育制度のカリキュラムコード2(医療倫理:臨床倫理)3.5単位が取得できます。生涯教育制度の単位等を希望する医師の方は、参加申込の際に医籍登録番号、所属の都市区等医師会名をご入力下さい。入力がない場合、および、各講演が未受講の場合、単位等の付与は行いません。

主催 日本医学会

後援 日本産科婦人科学会・日本人類遺伝学会・  
日本小児科学会・日本神経学会・  
日本遺伝カウンセリング学会

参加費 無料

対象者 医師および医療関係者(医療関係者以外の方の申込も可)

参加方法 日本医学会ホームページ(https://jams.med.or.jp/)から登録(QRコードからアクセスできます)

※お申し込みの参加希望者の氏名、住所等の個人情報は、第三者に提供することはありません。

申込受付 2026年4月9日(木曜日)より受付開始

締め切り 2026年6月5日(金曜日)17:00

先着順で定員(現地参加300名、WEB参加2000名)になり次第、締め切ります。



問い合わせ先

日本医学会

〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16 日本医師会館内

TEL:03-3946-2121(代) E-mail:igakukai@po.med.or.jp

<認可特定保険業者> 公益社団法人 日本医師会

# ご加入のおすすめ

**加入資格**  
64歳6カ月未満の日本医師会会員  
(会員区分は問いません)

保険料は  
**いつでも**  
増減できます!  
余裕資金は随時払で  
**まとめて**  
増額できます。

人生100年時代に  
**一生涯受け取れる**  
年金を準備できます。

予定利率は**1.5%\***  
事務手数料は  
払込保険料に対して  
**0.25%**

※令和7年4月時点

キャリアによって  
年金制度が変わる  
**医師の**  
**ライフスタイルに**  
**あった年金です。**



## 医師としての使命を果たすあなたに。 医師年金でキャリア後の 安心を手に入れましょう。



ぜひ  
お試し  
ください

公益社団法人 日本医師会  
年金福祉課  
TEL:03-3942-6487(直通)

保険料	100: 60,000円
一律	12,000円

払込保険料総額 **15,408,000円**

内訳	加算年金 (214歳)	基本年金 (214歳)
加算年金	12,840,000円	
基本年金		2,568,000円

加入条件

試験日	令和4年10月21日
生年月日	昭和50年1月1日
加入申込期間	令和4年2月15日
加入(払込)予定月	令和4年2月 (47歳2ヶ月)
加算年金保険料払込予定月	令和4年2月 (47歳2ヶ月)
年金受取開始年月	令和22年1月 (満65歳の誕生日)

81コース 15年保証期間付基本型

65歳	75歳	80歳
加算年金	59,500円	69,000円
基本年金	11,900円	11,900円
受取年金月額	71,400円	71,400円
15年受取年金総額	12,852,000円	

82コース 5年確定年金型

65歳	75歳	80歳
加算年金	254,600円	254,600円
基本年金	11,900円	11,900円
受取年金月額	266,500円	266,500円
15年受取年金総額	17,415,000円	

83コース 10年確定年金型

65歳	75歳	80歳
加算年金	11,900円	11,900円
基本年金	11,900円	11,900円
受取年金月額	23,800円	23,800円
15年受取年金総額	17,415,000円	

## 医師年金ホームページで、 簡単シミュレーション!

ご希望の受給額や保険料、生年月日を入力するだけで、  
簡単に受取年金月額のシミュレーションができます。



医師年金 検索

▼個別プランの設計や詳しい資料のご請求はこちら

公益社団法人 **日本医師会** 年金福祉課

〒113-8621 東京都文京区本駒込 2-28-16  
TEL : 03-3942-6487 (直通) FAX : 03-3942-6503  
受付時間 : 午前9時30分~午後5時(平日)  
E-mail : nenkin@po.med.or.jp



20240401S24

募集

広島県医師会・広島市医師会共催事業

## 被爆2世医師による被爆伝承手記

広島県医師会では、被爆の実相と平和の尊さを次世代に伝えていくため、令和4年度より医師会館内に「被爆伝承コーナー」を設置しています。このコーナーでは被爆医師の体験や証言、医療の視点から見た原爆の影響などを紹介し、被爆地広島における医師の役割や平和への思いを発信しています。

被爆者の高齢化が進み、被爆体験を直接聞く機会が年々少なくなっている中で、今年度は昨年度と同様に広島市医師会と共同で「被爆2世医師による被爆伝承手記」を募集します。本企画では、被爆2世の医師の先生方に、これまでご家族からお聞きになってこられた被爆体験や、被爆地広島で医療に携わる中で感じておられる思いなどをご寄稿いただき、被爆の記憶を未来へつないでいくことを目的としています。

ご寄稿いただいた手記は広島県医師会館1階「被爆伝承コーナー」等に展示する予定としております。また、後日ご寄稿いただいた手記を製本させていただく可能性もございます。多くの先生方のご応募をお待ちしております。

## 1 テーマ

以下を参考に、自由にご執筆ください。

- ・次世代に伝えたいこと
- ・ご家族から聞いた被爆体験
- ・被爆地広島で医療に携わる思い
- ・核兵器と医療について考えること など

## 2 応募資格

広島県医師会会員または医師会に所属されておられた被爆2世(あるいは3世)の医師

## 3 原稿について

- ・文字数：自由(1,200字程度)
- ・形式：手記(随筆形式、題名自由)
- ・写真等もあればご提供下さい。(オリジナルの場合は返却いたします)



作品名：ヒロシマの遺産  
作者：故 江川政昭 先生  
(被爆伝承コーナー展示中)

## 4 応募方法

原稿データを令和8年6月15日(月)までに下記までメールまたは郵送にてお送りください。なお、ご寄稿のご意向を5月末までに広島県医師会学術課までお知らせいただければ幸いです。

## 5 掲載・活用

ご寄稿いただいた手記は、広島県医師会館内の「被爆伝承コーナー」に特別展示として1年間展示する予定です。また、応募多数の場合は、冊子等として取りまとめ、広く紹介することを検討しています。

## 6 その他

- ・原稿は原則として返却いたしません。
- ・手記の校正・展示方法については、広島県医師会におまかせください。

(連絡先・送付先)

広島県医師会 学術課

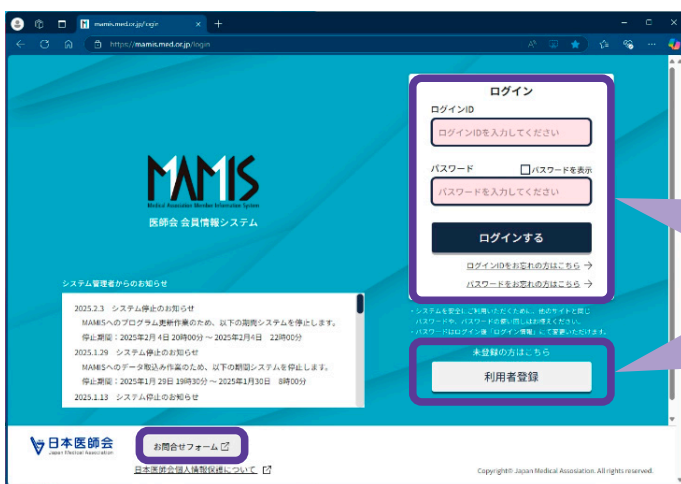
〒732-0057 広島市東区二葉の里3-2-3

E-mail: gaku@hiroshima.med.or.jp TEL: 082-568-1511

# MAMISの利用者登録はお済みですか?

## ■MAMISログインURL

<https://mamis.med.or.jp/login>



※会員の初回ログインは「ID・パスワード通知ハガキ」を確認のうえ入力してください

医師会未入会の方はまずこちらから

※ハガキが見当たらないなどご不明な点はTEL：0120-110-030  
またはお問合せフォームまでお問い合わせください

MAMISの初回登録の詳しい操作方法は、  
上記「公開資料ダウンロードページ」内の  
医師向け操作マニュアル「ログインから  
利用者登録まで」をご覧ください。



■日本医師会医師向けMAMISポータルサイト  
<https://mamis.member-sys.info/>

■MAMISポータルサイト「公開資料ダウンロード」ページ  
<https://mamis.member-sys.info/download/>



■お問い合わせ先 医師会会員情報システム運営事務局

# 0120-110-030

受付時間：平日10:00～18:00

※土・日・祝日、年末年始を除く平日



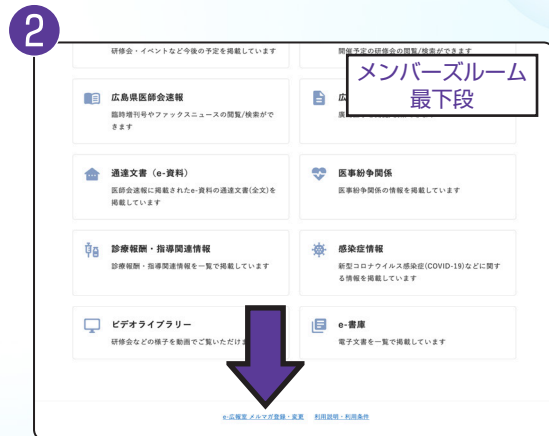
# 広島県医師会速報 メルマガ配信のお知らせ

いつも広島県医師会速報を購読いただきありがとうございます。広島県医師会速報は毎月5・15・25日号の発刊に合わせて、メルマガ配信も行っております。メルマガは紙媒体よりも早く情報をお届けでき、記事中のURLやe-資料に直接アクセスして頂けます。緊急時には広島県医師会からのメッセージを配信しており、大変便利なツールとなっております。配信を希望される場合は、e-広報室にてメールアドレスの登録をお願いいたします。

※速報配送設定は「メルマガのみ受け取り」「冊子のみ受け取り」「両方受け取り」の3項目からお選び頂けます。

## 登録手順

①e-広報室にログイン→②メルマガ登録・変更→③5つの項目を入力後、「同意して確認画面へ」をクリック→④内容を確認いただき「送信」をクリックで完了です！



# e-広報室「医事紛争関係」ページで 医療機関の接遇・マナー研修動画を ご覧いただけます!!

令和7年4月12日(土)に開催した広島県医師会医療安全研修会(接遇・マナー)の動画や速報をご覧いただけます。ぜひ、自院の職員研修にご活用ください。

医事紛争はいつでも起こりえます。医事紛争にしないためには、患者との信頼関係が重要ですが、対応を間違えるとクレームとなり、交渉が決裂すれば訴訟へ発展する可能性もあります。患者が医療機関の満足度を判断する指標として、職員の接遇・マナーが重要ポイントです。どれだけ診療が素晴らしくても、言葉遣いや態度一つでその患者の医療機関に対する評価は大きく変わってくるでしょう。

新たな職員が入職した際に、医療機関における接遇・マナーを知っていただき、明日からの業務に役立てていただければ幸いです。

## ■ 医事紛争対応の流れ

広島県医師会 常任理事 石川 暢恒

## ■ 医療機関に求められる接遇～患者に安心感を与える行動について～

SOMPOリスクマネジメント株式会社 医療・介護コンサルティング部  
サービスグループ 上級コンサルタント 北本 渉

医事紛争に関する相談はこちらからご連絡ください。  
1人で抱え込まず、困ったことがあれば  
ご遠慮なく相談ください!

**7-PLACE**

相談票

相談内容概要記載例

- 概要記載例1(患者等のトラブル対応について～患者本人から口頭で申し出があった場合～)
- 概要記載例2(患者等のトラブル対応について～患者代理人弁護士から文書が届いた場合～)

【e-広報室医事紛争相談窓口】

<https://news.hiroshima.med.or.jp/member/medical-dispute/inquiry/>



# 学術講演会・学会ガイド

注1) 1ヵ月以内の予定のみ掲載

注2) 申込受付を過ぎたものも予定に掲載しております

※日医生涯教育講座承認待ちのものを含む

5月の予定	
5	火
6	水
7	木
8	金
9	土
10	日
11	月
12	火
13	水
14	木
15	金
16	土
17	日
18	月
19	火
20	水

5月の予定	
21	木
22	金
23	土
24	日
25	月
26	火
27	水
28	木
29	金
30	土
31	日

6月の予定	
1	月
2	火
3	水
4	木

※ ㊦は日医生涯教育講座として県医師会が認定したものです。

※ 単位の配分につきましては、主催者にお問い合わせください。

※ 広島県医師会館駐車場減免区分 ㊦1：減免対象 ㊦2：要医師資格証 ㊦3：減免なし

# 学術講演会

※演題に対する単位の配分は、主催者にお問い合わせください。

## 第414回呉循環器病研究会

と き 5月8日(金) 午後7時

ところ 呉阪急ホテル 皇城 Web配信

演題と講師

心不全・CKDパンデミックに立ち向かう“一石三鳥”の治療戦略

札幌医科大学 保健医療学部 看護学第三講座(内科)教授 兼 医学部 内科学講座 循環器病態内科学分野

丹野 雅也

主 催 呉循環器病研究会

連絡先 呉市医師会 ☎ 0823-22-2326

単 位 1 コード 19

## 一みなで備えようや! 広島の未来のためじゃけえ! - 第4回新興・再興感染症への診療対応講演会

と き 5月11日(月) 午後7時

ところ 広島医師会館 講堂 Web配信

演題と講師

呼吸器感染症予防週間の意義

関西医科大学内科学第一講座呼吸器感染症アレルギー科 教授

関西医科大学附属病院 感染制御部

部長

宮下 修行

※要申込

主 催 広島市医師会

連絡先 同上(地域医療課) ☎ 082-232-7321

単 位 1 コード 8

## 広島市佐伯区医師会学術講演会

と き 5月12日(火) 午後7時30分

ところ 広島市佐伯区地域福祉センター 大会議室

Web配信

演題と講師

認知症診療アップデート-診断・治療から予防まで-

JA広島総合病院 脳神経内科

主任部長

青木 志郎

※要申込

主 催 広島市佐伯区医師会

連絡先 同上(今川) ☎ 082-921-4800

単 位 1 コード 29

## 竹原地区病診連携講演会

と き 5月12日(火) 午後7時

ところ 竹原市保健センター

一般講演

特別講演

心不全を考慮した高血圧治療

-ARNI500処方から見えてきたこと-

玉島中央病院 循環器内科 部長 三好 章仁

主 催 竹原地区医師会

連絡先 同上 ☎ 0846-22-9377

単 位 1 コード 12

## 第106回広島北キャンサーネット研修会

と き 5月12日(火) 午後7時

ところ Web配信

演題と講師

緩和ケアの最近の話題など

広島市立北部医療センター安佐市民病院

緩和ケア内科部長

関根 龍一

主 催 広島市立北部医療センター安佐市民病院

連絡先 同上(がん相談支援センター)

☎ 082-815-5533

単 位 0.5 コード 81

## 県立広島病院(地域がん診療連携拠点病院) がん医療従事者研修会

と き 5月12日(火) 午後6時

ところ 県立広島病院 中央棟 講堂 Web配信

演題と講師

進化する核医学治療-NETへのPRRTから前立腺がん

PSMA治療まで-

県立広島病院 放射線治療科 部長 土井 歆子

NETの診断・薬物療法とPRRTを含む治療戦略、および

適切な専門医連携

県立広島病院 臨床腫瘍科

主任部長

篠崎 勝則

主 催 県立広島病院 がん診療推進運営委員会

連絡先 同上(総務課管理係:岡本)

☎ 082-254-1818

## 第231回小児科研修会

と き 5月12日(火) 午後7時

ところ 広島市立舟入市民病院 会議室

演題と講師

発熱時、同部位に反復して出現する紅斑を主訴とした1例

県立二葉の里病院 小児科 下 菌 彩子

成長曲線を用いた学校健診の対応について

みやがわ小児科医院

宮河 真一郎

主 催 知愛会

連絡先 広島市立舟入市民病院(小児科:岡野)

☎ 082-232-6195

## 第353回世羅郡医師会学術講演会

と き 5月14日(木) 午後7時

ところ 世羅中央病院 Web配信

演題と講師

地域医療における泌尿器科診療の新展開

-過活動膀胱治療と前立腺癌診断の最前線-

興生総合病院 泌尿器科部長

宮地 禎幸

主 催 世羅郡医師会

連絡先 同上 ☎ 0847-25-0116

単 位 1 コード 65

## Diabetes the Next in Mihara

-GIP/GLP-1が拓く未来-

と き 5月14日(木) 午後7時

ところ 三原シティホテル Web配信

演題と講師

病態進展抑制を見据えた糖尿病治療

-チルゼパチドは治療の質を変えられるか-

川崎医科大学 糖尿病・代謝・内分泌内科学

講師

木村 友彦

主 催 三原市医師会

連絡先 同上 ☎ 0848-62-2283

単 位 0.5 コード 76

## 呉内科会学術講演会

と き 5月19日(火) 午後7時10分

ところ 呉阪急ホテル 安芸

演題と講師

内科診療で見逃してはいけない不眠の弊害とその対応

呉医療センター 精神科 科長 大盛 航

不眠症治療薬のパラダイムシフト

-オレキシン受容体拮抗薬を中心に-

こころホスピタル草津 精神科

副院長

藤田 康孝

主 催 呉内科会

連絡先 呉市医師会 ☎ 0823-22-2326

単 位 1 コード 20

## 三原市医師会学術講演会-地域の健康寿命延伸を考える-

と き 5月20日(水) 午後7時

ところ 三原シティホテル Web配信

演題と講師

高血圧患者さんを診る中で考える心房細動治療と抗凝固療法

広島赤十字・原爆病院 循環器内科 小田 望

主 催 三原市医師会

連絡先 同上 ☎ 0848-62-2283

単 位 1 コード 74

**㊦ 東広島地区医師会学術講演会**

と き **5月21日(木) 午後7時**  
と ころ 東広島保健医療センター 大会議室 Web配信  
演題と講師

長寿社会を見据えたCKD診療  
- SGLT2阻害薬早期導入の意義 -  
川崎医科大学 腎臓・高血圧内科学 城 所 研 吾  
講師

主 催 東広島地区医師会  
連絡先 同上 ☎ 082-422-3810  
単 位 1 コード 19

**第120回K-net講演会「膵臓がん診療 up to date」**

と き **5月21日(木) 午後6時30分**  
と ころ 広島市立広島市民病院 中央棟 講堂 Web配信  
演題と講師

膵臓がんを見逃さない-診断と化学療法の最前線-  
広島市立広島市民病院 内科 部長 山 崎 辰 洋  
進化する膵臓がんの外科治療  
広島市立広島市民病院 外科 主任部長 吉 田 龍 一  
講師

※要申込  
主 催 広島市立広島市民病院  
連絡先 同上 (医療支援センター:丸川・新久)  
☎ 082-221-2291

**㊦ 広島市中区医師会認知症研修会**

と き **5月22日(金) 午後7時**  
と ころ TKPガーデンシティ広島 アメジスト Web配信  
演題と講師

一般内科医のプレクスピラゾール使用経験からの考察  
下松中央病院 内科 講師 丸 岩 昌 文  
講師

※要申込  
主 催 広島市中区医師会  
連絡先 同上 ☎ 082-504-6681  
単 位 1 コード 29

**㊦ 第11回呉共済病院市民公開講座**

と き **5月23日(土) 午後1時**  
と ころ 新日本造機ホール (くれ絆ホール)  
演題と講師

進化する大腸癌治療-手術治療を中心に-  
呉共済病院 消化器外科 医長 齊 藤 保 文  
人生会議からつながる在宅緩和ケア  
-その人らしく生きるために-  
呉共済病院 緩和ケア認定看護師 鎌 田 千 秋  
講師

特別講演  
人生100年時代! 崑ちゃんの心と体の元気の秘訣  
喜劇俳優 大 村 崑  
主 催 呉共済病院  
連絡先 同上 ☎ 0823-22-2111  
単 位 1 コード 0

**㊦ 府中地区医師会学術講演会**

と き **5月25日(月) 午後7時**  
と ころ 府中地区医師会館 講堂  
演題と講師

実地医家によるうつ病の(最近の)初期対応と治療  
広島大学 精神神経医学 准教授 淵 上 学  
講師

主 催 府中地区医師会  
連絡先 同上 ☎ 0847-45-3505  
単 位 1 コード 70

**第180回賀茂東広島精神科医会学術講演会**

と き **5月25日(月) 午後7時**  
と ころ Web配信  
演題と講師

統合失調治療におけるアンメットニーズとこれからの治療展望  
藤田医科大学医学部 精神神経科学講座 教授 岩 田 仲 生  
講師

主 催 賀茂東広島精神科医会  
連絡先 東広島地区医師会 ☎ 082-422-3810

**㊦ 国立病院機構 呉医療センター・中国がんセンター 地域医療研修センター 特別講演会**

と き **5月26日(火) 午後6時30分**  
と ころ 呉医療センター・中国がんセンター 研修センター1・2  
演題と講師

股関節外科の現在と20年後の展望  
広島大学大学院 医系科学研究科 整形外科 教授 安 達 伸 生  
講師

主 催 呉医療センター・中国がんセンター  
連絡先 同上 ☎ 0823-22-3816  
単 位 1 コード 9

**㊦ 第328回竹原地区医師会学術講演会**

と き **5月27日(水) 午後7時**  
と ころ グリーンスカイホテル竹原 Web配信  
演題と講師

体脂肪分布と炎症の視点で考える代謝的な健康とは?  
-糖尿病・脂質異常症の新たな理解-  
広島赤十字・原爆病院 内分泌・代謝内科 部長 亀 井 望  
講師

主 催 竹原地区医師会  
連絡先 同上 ☎ 0846-22-9377  
単 位 1.5 コード 75

**㊦ がん診療(緩和ケア)に関わる地域医療連携研修会**

と き **5月28日(木) 午後6時**  
と ころ 広島赤十字・原爆病院 東棟 講堂 Web配信  
演題と講師

事例で学ぶ緩和ケアの倫理-予後の話しにくさとう向き合うか  
東北大学大学院文学研究科 社会学専攻分野 教授 田 代 志 門  
講師

※要申込  
主 催 広島赤十字・原爆病院  
連絡先 同上 (がん相談支援センター:木岡)  
☎ 082-241-3111  
単 位 1 コード 2

**㊦ 第204回尾道市立市民病院オープンカンファレンス**

と き **5月28日(木) 午後7時**  
と ころ 尾道市立市民病院 新館 大会議室  
演 題

高齢者の栄養管理  
外科医が携わる在宅訪問診療

主 催 尾道市立市民病院  
連絡先 同上 ☎ 0848-47-1155  
単 位 1 コード 10, 80

**第69回広島大学整形外科科学教室開講記念会**

津下メモリアルレクチャー  
と き **5月30日(土) 午後4時**  
と ころ リーガロイヤルホテル広島 ロイヤルホール  
演題と講師

変形性膝関節症の新たな治療戦略構築  
京都大学大学院 医学研究科 感覚運動外科学講座 整形外科科学 教授 松 田 秀 一  
私たちが目指す近未来の医療・介護・ヘルスケアとは  
慶應義塾大学医学部 整形外科科学 教授 中 村 雅 也  
講師

※要日整会JOINTSアプリ  
会 費 1,000円  
主 催 広島大学大学院整形外科科学教室  
連絡先 同上 ☎ 082-257-5232



**Web申込可** マークは広島県医師会ホームページからお申し込みいただけます。

**今号の学会案内**

- 日本医師会認定産業医研修会 ..... 68
- **Web申込可** 広島県医師会主催 令和8年度 第1回産業医研修会 ..... 70
- 第57回産業医学講習会 ..... 71
- **Web申込可** 医学生・研修医等をサポートするための会 ..... 73
- **Web申込可** 2026(令和8)年度 母体保護法指定医師研修会 ..... 75
- 市郡地区医師会等が主催する医療安全研修会 ..... 77

## 日本医師会認定産業医研修会

(学術課)

- **参加希望の方へ** 下記の主催・連絡先にお申し込み下さい。  
研修会によっては参加費を頂戴します。詳しくは各主催団体へご確認ください。
- **単位について** 単位は講義終了後、1ヵ月以内にMAMISマイページへ付与します。講義の途中で退席、外出などされた場合は単位付与できませんので、くれぐれもご注意ください。

日時・場所	取得単位	定員	研修内容・講師	申込連絡先
5月31日(日) 12:30~17:20 会場：中災防 中国四国安全衛生サービスセンター	生涯実地 4単位	30人	「職場巡視に有用な簡易測定機器の取扱いと評価方法(局所排気装置)」 「職場巡視に有用な簡易測定機器の取扱いと評価方法(騒音測定)」 中災防 中四国センター 舘 壮司 「積極的傾聴法の基本、積極的傾聴法実習」 株式会社C's PORT 河内 理	中央労働災害防止協会 中国四国安全衛生 サービスセンター (TEL:082-238-4707)
7月5日(日) 12:30~17:20 会場：中災防 中国四国安全衛生サービスセンター	生涯実地 4単位	30人	「産業医から見る保護具着用管理のポイント(マスク)」 中災防 中四国センター 長谷川 翔平 「復職/両立支援における産業医の役割と実際」 京口門労働衛生事務所 所長 水津 純江	中央労働災害防止協会 中国四国安全衛生 サービスセンター (TEL:082-238-4707)
8月23日(日) 12:30~17:20 会場：中災防 中国四国安全衛生サービスセンター	生涯実地 4単位	30人	「高齢化時代の安全衛生」 中災防 中四国センター安全管理士 衛生管理士 湊 健二 「職場のハラスメントの基礎と防止・対策」 山口大学 教育学部 教授 佐竹 圭介	中央労働災害防止協会 中国四国安全衛生 サービスセンター (TEL:082-238-4707)
10月4日(日) 12:30~17:20 会場：中災防 中国四国安全衛生サービスセンター	生涯実地 4単位	30人	「職場巡視のポイント」 「産業医から見る作業手順書」 中災防 中四国センター安全管理士 広次 勝幸 「産業医として働く人のうつ病と自殺予防への対応」 広島大学大学院医系科学研究科 教授 岡村 仁	中央労働災害防止協会 中国四国安全衛生 サービスセンター (TEL:082-238-4707)

日時・場所	取得単位	定員	研修内容・講師	申込連絡先
11月15日(日) 12:30~17:20 会場:中災防 中国四国安全衛生サービスセンター	生涯実地 4単位	30人	「新たな化学物質管理について(化学物質リスクアセスメントとSDSの活用)」 中災防 中四国センター 長谷川 翔平 「産業医面談の実際」 京口門労働衛生事務所 所長 水津 純江	中央労働災害防止協会 中国四国安全衛生 サービスセンター (TEL:082-238-4707)
2027年 1月31日(日) 12:30~17:20 会場:中災防 中国四国安全衛生サービスセンター	生涯実地 4単位	30人	「産業医から見る保護具着用管理のポイント(手袋)」 中災防 中四国センター主任技術員 木島 大介 「ストレスチェックの概要と職場環境改善の進め方」 株式会社C's PORT 代表取締役 森田 由美子	中央労働災害防止協会 中国四国安全衛生 サービスセンター (TEL:082-238-4707)
3月7日(日) 12:30~17:20 会場:中災防 中国四国安全衛生サービスセンター	生涯実地 4単位	30人	「腰痛予防対策~腰痛予防対策指針に基づくリスクアセスメント、企業の取組事例を中心に~」 中災防 中四国センター安全管理士 北野 泰人 「資源に焦点を当てたコミュニケーション(解決志向アプローチ)」 株式会社C's PORT 代表取締役 森田 由美子	中央労働災害防止協会 中国四国安全衛生 サービスセンター (TEL:082-238-4707)



## 電子カルテ・レセコンメーカーや通信会社を装った 電話連絡・訪問にご注意ください!

県内の医療機関において、電子カルテ・レセコンメーカーを装った業者による悪質な事案が発生しました。具体的には、以下のような手口が確認されております。

- ・「落雷対策仕様のルータへの交換が必要」との電話勧誘
- ・「費用は不要」「メーカー委託業務」などのウソの説明
- ・工事後に不明瞭な請求やリース契約を強要
- ・解約を申し出た際には違約金を要求





また、通信会社を装った電話連絡・訪問により unnecessary 機材を購入させられるといった相談も寄せられております。

同様の電話連絡・訪問があった場合はその場で契約・工事を行わず、必ず電子カルテメーカーなどへ直接確認をお願いします。

不審な事案に遭遇された場合や、対応に迷われる際には、お気軽に広島県医師会までご相談ください。

(広報情報課)

# 広島県医師会主催 令和8年度 第1回産業医研修会

- **と き** 令和8年6月28日(日) 午前10時～午後5時
- **と ころ** 広島県医師会館 1階ホール (〒732-0057 広島市東区二葉の里3丁目2番3号)
- **参加人数** 200名程度  
※申込み多数の場合、日医認定産業医の有効期限が令和8年度内の本会会員を優先いたします。
- **対 象** 医師
- **受 講 料** 広島県医師会会員……………無料  
広島県医師会会員以外…5,000円 (当日受付にて現金でお支払いください。)
- **申込期間** 4月15日(水)～5月15日(金)必着
- **申込方法** 以下のいずれかでお申し込みください。
  - ①本会ウェブサイトの申込フォーム
  - ②下記申込票をFAX (082-568-2112) で送信。
 ※6月初旬に受講票を発送します。



Web申込みは  
二次元コードより

令和8年6月28日(日)

時間	研修内容・講師	単位
10:00 ～12:00	「産業医として知っておきたい新しい化学物質管理」 日本製鉄(株)東日本製鉄所 鹿島地区 産業医 守田 祐作	基礎・後期 または 生涯・専門 2単位
13:00 ～15:00	「労働安全衛生規則改正を受けた職場における熱中症対策」 (独)労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所 化学物質情報 管理研究センター ばく露評価研究部長 齊藤 宏之	基礎・後期 または 生涯・専門 2単位
15:00 ～17:00	「高年齢労働者に対する作業環境管理と作業管理」 産業医科大学 産業生態科学研究所 作業関連疾患予防学 教授 大神 明	基礎・後期 または 生涯・専門 2単位

----- 【申込票】 -----

**6月28日(日)午前10時～午後5時 広島県医師会主催 令和8年度 第1回産業医研修会**  
【申込締切】5月15日(金) 必着 【申込先】広島県医師会 学術課 Fax: 082-568-2112

フリガナ 申込者氏名		性別	男・女	医籍登録 番 号	
医療機関名					
受 講 票 送付先住所	〒 - (医療機関・自宅)				
生 年 月 日				区 分	基礎・更新
メールアドレス				広島県医師会 会員区分	どちらかに○をしてください 会員・非会員
<input checked="" type="checkbox"/> をしてください。 <input type="checkbox"/> MAMISのマイページ登録は完了しています ※MAMIS未登録の場合は登録後にお申し込みください					

## 第57回産業医学講習会



日本医師会では、産業医の資質向上と産業医活動の推進を図るため、平成2年4月に日本医師会認定産業医制度を発足させております。

本講習会はこの制度における認定更新に必要な単位取得のための生涯研修会として位置付けられております。認定産業医が本講習会を受講されますと更新研修3単位、専門研修13.5単位(合計16.5単位)が取得できます。ただし、新規に認定産業医を申請するための基礎研修の単位は取得できません。

また、本講習会を3日間受講された方には修了証が交付され、労働衛生コンサルタントの筆記試験が免除になります。

さらに、本年度は7月19日(日)午後の講義(3コマ、3.5単位)については別途受講者を募り、Web研修会を行う予定です。ただし、来館による受講とWeb研修会の受講の併用はできません。本講習会の修了証を得たい方は必ず3日間ご来館の上、ご受講ください。

**主催**：日本医師会

**開催日**：令和8年7月18日(土)～7月20日(月・祝)

**会場**：日本医師会館(〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16)

**受講資格**：日本医師会会員または日本医師会認定産業医

**受講人数**：550名

**受講料**：日本医師会会員 15,000円(税込)※

日本医師会非会員 27,000円(税込)

※受講料支払手続時点で本会所属が確認できた場合のみ、会員料金となります。

### 申込方法および留意事項：

※下記の事項に必ずご同意いただいた上でお申し込み下さい。

- ①受講希望者は、「全国医師会産業医部会連絡協議会」Webサイト(<https://www.sangyo-doctors.gr.jp/>)の「お知らせ」ページからお申し込み下さい。
- ②申込受付期間は、5月11日(月)9時30分～5月18日(月)23時59分までとし、受講者多数の場合は『抽選』にて受講者を確定します。
- ③3日間、同一の席での受講となります。(座席指定は承れません)
- ④抽選結果(当選、落選)につきましては、5月下旬以降(予定)にお申込み時に登録のメールアドレス宛にご連絡いたします。当選された場合、メールの案内にしたがって、期日までに受講料をお支払い下さい。※期日までにお支払いがなかった場合、受講をキャンセルされたものとして取り扱います。
- ⑤入金確認ができ次第、申込完了メールを送信しますので、受講票のダウンロードをお願いいたします(講習会当日は、必ずご持参願います)。
- ⑥申込完了後のキャンセルにつきましては、返金対応できませんのでご容赦ください。
- ⑦抽選結果を含めた受講可否等に関するご意見、ご要望は、一切お受け出来ません。

### 生涯研修取得単位：

講習会開催日が有効期間内の認定産業医には生涯研修単位を医師会会員情報システム(MAMIS)上で後日付与いたします。なお、新規に認定産業医を申請するための基礎研修の単位は取得できません。

**修了証**：3日間すべての講義を受講された方に後日発行いたします。

**託児所**：講習会開催期間中、日本医師会館内に託児所(無料・定員5名程度)を設置する予定です。託児所をご希望される方は、本申込時に該当箇所へチェックをお願いいたします(事前の申込みがない場合、託児所のご利用はできません)。また、定員数を超過のお申し込みがあった場合、ご利用いただけない場合もあることを、予めご了承ください。

**昼食会場等**：講習会会場(大講堂)でのお食事はできません。場所等は当日のご案内に従ってください。

### Web研修会(7月19日(日)開催)について：

受講申込等の方法については「全国医師会産業医部会連絡協議会」Webサイト等において、別途ご案内いたします。

①申込方法・入金確認等に関する問合せ：

講習会専用ヘルプデスク TEL 03-6742-0320

※受付時間：平日9時30分～18時（土、日、祝日は除く）

②認定産業医制度に関する問合せ：

日本医師会健康医療第一課 TEL 03-3942-6138

※受付時間：平日9時30分～17時30分（土、日、祝日は除く）

※本件について、下記の全国医師会産業医部会連絡協議会Webサイトにて案内いたします。

「全国医師会産業医部会連絡協議会」Webサイト

<https://www.sangyo-doctors.gr.jp/>



第57回産業医学講習会 令和8年7月18日(土)～20日(月・祝)

第57回産業医学講習会 令和8年7月18日（土）～20日（月・祝）

会場：日本医師会館 大講堂、小講堂

日時	講習内容
7/18 (土) 10:00 ~ 10:10	挨拶：松本 吉郎（日本医師会長） 来賓挨拶：厚生労働省労働基準局安全衛生部長
10:10 ~ 11:10	[産業医に必要な法的知識の解説] 1. 最近の労働衛生行政の動向及び安全衛生の基本対策（安全管理概論、マネジメントシステム・リスクアセスメント、災害調査・原因分析） 【更新1単位】 厚生労働省労働基準局安全衛生部労働衛生課長
11:10 ~ 11:20	休憩
11:20 ~ 12:20	2. 労働衛生関係法令 【更新1単位】 厚生労働省労働基準局安全衛生部労働衛生課長
12:20 ~ 13:20	昼休み
13:20 ~ 14:20	3. 労働基準法施行規則第35条の解説 【更新1単位】 厚生労働省労働基準局補償課職業病認定対策室長
14:20 ~ 15:50	[産業医に必要な実践各論] 1. 作業管理の方法 【専門1.5単位】 東 敏昭（産業医科大学 顧問 名誉教授）
15:50 ~ 16:00	休憩
16:00 ~ 17:00	[産業医に必要な実践各論] 2. 快適職場形成について（医療機関の職場環境改善を中心に） 【専門1単位】 吉川 徹（労働安全衛生総合研究所）
7/19 (日) 10:00 ~ 11:30	[産業医に必要な実践各論] 3. 職場のストレスとメンタルヘルス対策 【専門1.5単位】 江口 尚（産業医科大学教授）
11:30 ~ 12:30	[産業医に必要な実践各論] 4. 情報機器作業・腰痛職場・騒音職場の労働衛生管理 【専門1単位】 榎原 毅（産業医科大学 教授）
12:30 ~ 13:30	昼休み
13:30 ~ 15:00	[産業医に必要な健康管理概論] 1. 健康診断と事後措置 【専門1.5単位】 堀江 正知（産業医科大学 副学長）
15:00 ~ 15:10	休憩
15:10 ~ 16:10	[産業医に必要な実践各論] 5. 粉じん障害対策 【専門1単位】 黒澤 一（東北大学 教授）
16:10 ~ 16:20	休憩
16:20 ~ 17:20	[産業医に必要な産業医学総論] 1. 産業医学総論 【専門1単位】 相澤 好治（北里大学 名誉教授）
7/20 (月・祝) 10:00 ~ 11:30	[産業医に必要な実践各論] 4. 職場における化学物質対策 【専門1.5単位】 山本 健也（労働安全衛生総合研究所）
11:30 ~ 12:30	[産業医に必要な実践各論] 6. 作業環境管理の方法 【専門1単位】 宮内 博幸（産業医科大学 教授）
12:30 ~ 13:30	昼休み
13:30 ~ 15:00	[産業医に必要な産業医学総論] 2. 疫学概論 【専門1.5単位】 山口 直人（労災保険情報センター 理事長）
15:00 ~ 15:10	休憩
15:10 ~ 16:10	[産業医に必要な健康管理概論] 2. 健康管理・健康教育の方法（労働衛生教育、救急措置を含む） 【専門1単位】 園藤 吟史（大阪市立大学 名誉教授）

# 医学生・研修医等をサポートするための会

Web申込可

令和8年度 医学生・研修医等をサポートするための会

## YOUはどうして 〇〇科に?

— 専攻医が語るキャリア選びのリアル —

令和8年 **6月3日水** 18時30分～  
20時00分

広仁会館大会議室および  
Web(Zoom)のハイブリッド開催

● 司会：広島県医師会常任理事 檜山 桂子

開会 (18:30～) ● 広島大学病院女性医師支援センター長 堤 保夫  
講演 (18:35～) ● 座長：広島県医師会女性医師部会長 石田 万里

「子どもたちの未来を支える (20分)  
～小児科医という仕事～」  
広島大学病院 小児科 武内 香菜子

「じゃあ、実際に循環器内科医になってみて (20分)  
どうだったのか」  
広島大学病院 循環器内科 大江 啓之

「Youはどうして救急科×整形外科に? (20分)  
～掛け合わせで探す私のキャリアプラン～」  
広島大学病院 放射線災害医療総合支援センター 特任助教 三谷 雄己

ディスカッション (19:35～)

閉会 (20:00)

### 申し込み方法

裏面の申込書にお名前・所属・連絡先を記入し、**5月25日(月)**までにFAXまたはE-mailでお申し込み下さい。  
広島県医師会HP女性医師コーナーからも、お申し込みいただけます。

広島県医師会 女性医師コーナー

こちらからもお申し込みいただけます。▶



会場にお越しいただいた方には、  
美味しい軽食・スイーツをご用意しております。



託児を設置します。ご希望の方は準備の都合がありますので、必ず**5月19日(火)**までに広島県医師会学術課までご連絡ください。



お問い合わせ先：広島県医師会学術課 ☎ 082-568-1511 ✉ gaku@hiroshima.med.or.jp

共 催：日本医師会、広島県医師会、広島大学病院女性医師支援センター  
後 援：広島大学男女共同参画推進室

令和8年度 医学生・研修医等をサポートするための会

# YOUは どうして ○○科に?

— 専攻医が語るキャリア選びのリアル —

申込書

## 申し込み方法

参加を希望される方は、お名前・所属・連絡先を記入し、FAX・E-mailまたは下記QRコードからお申し込みください。

●FAX 082-568-2112

●E-mail [gaku@hiroshima.med.or.jp](mailto:gaku@hiroshima.med.or.jp)



◀ こちらからもお申し込みいただけます。

申し込み締め切りは、  
5月25日(月)です。

お名前	
所属 (学生は学年も)	
連絡先 (メールアドレス)	
参加方法	どちらかに○をつけて下さい。▶      Web      会場

お名前	
所属 (学生は学年も)	
連絡先 (メールアドレス)	
参加方法	どちらかに○をつけて下さい。▶      Web      会場

\*どなたでもご参加いただけます。 \*参加費は無料です。

\*Web参加の場合は、記載されたメールアドレスに参加用URLをお送りします。

【お問合せ先】 広島県医師会 学術課

TEL:082-568-1511 / FAX:082-568-2112

E-mail:[gaku@hiroshima.med.or.jp](mailto:gaku@hiroshima.med.or.jp)

# 2026(令和8)年度 母体保護法指定医師研修会

Web申込可

母体保護法指定医師の新規申請および更新申請には本研修会の受講が必須です。

- 【日時】** 令和8年6月7日(日) 午後2時～午後5時30分  
**【場所】** 広島県医師会館1階ホール・Web同時配信  
(広島市東区二葉の里3-2-3 TEL 082-568-1511)
- 【対象】** 広島県の母体保護法指定医師ならびに広島県で新規申請を希望する医師  
**【受講料】** 広島県医師会会員：無料/広島県医師会非会員：20,000円※  
※広島県医師会非会員の先生は有料です。お申し込み確認後、事務局より請求書を送付しますので、期日までにお振込みください。
- 【定員】** 会場参加：150名 Web：300名  
**【申込締切】** 2026年5月7日(木)  
**【単位※】** 母体保護法指定医師研修会受講証  
日本医師会生涯教育講座 2.5単位  
日本専門医機構参加単位 1単位  
日本専門医機構共通講習 1単位  
日本専門医機構産婦人科領域講習 2単位  
日本産婦人科医会研修参加 1単位  
※Web参加の先生は、講演後に出題される問題にご回答いただきます。

## 【注意事項】 必ずお読みください

- ・ 会場参加、Web参加とも10分以上の遅刻や途中退出があった場合、母体保護法指定医師研修会受講証、日本専門医機構共通講習の単位は取得できません。
- ・ 代理出席、不正などが認められた場合には、指定取消等の処分を行います。

## 【会場参加の方】

JSOGカードおよび日本産婦人科医会会員証(二次元コードが印字されたもの)と医師資格証や運転免許証等の身分証明書をご持参ください。研修会開始前と終了後に受付でJSOGカードの読み込みを必ず行って下さい。開始前と終了後の両方の読み込みがなければ、母体保護法指定医師研修会受講証、日本専門医機構共通講習・産婦人科領域講習の単位は付与されません。

## 単位確認方法

- ・ 運転免許証もしくは医師資格証等の身分証明書(ご本人確認のため)
- ・ JSOGカード(専用アプリ)・・・研修会開始前と終了後の読み込み必須
- ・ 二次元コードが印字された日本産婦人科医会会員証(医会会員のみ)  
※二次元コードによる会員証は令和6年5月9日より開始されております。日本産婦人科医会の会員ポータルサイトの『会員証二次元コード表示・印刷』から準備してください。ご不明の点は、日本産婦人科医会へあらかじめ確認のうえ持参をお願いします。

問合先 E-Mail：portal@jaog.or.jp(日本産婦人科医会)

## 【Web参加の方】

視聴記録および講演後に出題される問題への回答をもって単位が付与されます。講演開始から10分以上経過して入室した場合や途中退出した場合、問題への回答がない場合には、母体保護法指定医師研修会受講証、日本専門医機構共通講習・産婦人科領域講習の単位は付与されません。さらに共通講習の単位取得には講演後に出題される問題の80%以上の正解が必要です。

※回答が確認できないことにより受講を認めないケースが発生しております。通信環境・操作などに不安がある場合は会場受講してください。

**【内 容】**

## 1. 医療安全・救急処置に関するもの

「安全な無痛分娩の提供のための領域間連携」

講師：北里大学名誉教授・JCHO相模野病院周産期母子医療センター 顧問 海野 信也

## 2. 生命倫理に関するもの

「本邦での多胎妊娠における減胎（減数）手術に関する臨床研究」

講師：大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻生命育成看護科学講座

母性胎児科学 教授 遠藤 誠之

## 3. 母体保護法に関するもの

## ①「令和7年度 家族計画・母体保護法指導者講習会」伝達講習

多様化する社会の中で母体保護法指定医師が考えるべきこと

講師：母体保護法指定医師審査委員会 委員 玉木 正治

## ②母体保護法の趣旨と適正な運用

講師：広島県産婦人科医会 会長 豊田 紳敬

主催：広島県医師会 共催：広島県産婦人科医会

**【申込方法】**

広島県医師会ホームページの申込みフォームから申込みください。

ホームページトップ → 医師のみなさまへ → 研修会・講習会の参加申込ページ（研修会参加申込ページ）

2026（令和8）年度 母体保護法指定医師研修会より申込みください。

[\(https://www.hiroshima.med.or.jp/forms/2026/0607\\_botai\\_hogo/\)](https://www.hiroshima.med.or.jp/forms/2026/0607_botai_hogo/)**令和8年度母体保護法指定医師研修会終了後開催****経口妊娠中絶薬（初期妊娠）にかかるとの説明会****【日 時】** 令和8年6月7日（日）午後5時30分

（令和8年度母体保護法指定医師研修会終了後 30分程度）

**【場 所】** 広島県医師会館1階ホール・Web同時配信

（広島市東区二葉の里3-2-3 TEL 082-568-1511）

**【申込方法】** 同日開催の2026年度 母体保護法指定医師研修会の申込みをもって受付とする**【内 容】** 経口妊娠中絶薬（初期妊娠）の取り扱いについて

主催：広島県医師会 共催：広島県産婦人科医会

**広島県医師会医事紛争委員会からのお知らせ**医師賠償責任保険の利用に際して提出いただきました資料等は、  
本会のルールに沿って今後廃棄いたします。資料等の返却が必要な場合は、お手数ではございますが令和8年  
6月30日（火）までに以下の事務局までお申し出ください。

問合せ：一般社団法人広島県医師会 保険医事課（082-568-1511）



# 市郡地区医師会等が主催する医療安全研修会

広島県医師会では、平成26年度より市郡地区医師会が開催する医療安全研修会に対し、研修一覧を提供して講師に係る費用を補助する制度を創設し、広島県内の医療安全機運の向上を目指しています。研修会のWeb開催が主流となった現在において、より多くの会員に医療安全研修の機会を確保するため、令和7年度より他地区からの研修希望者の受け入れを条件といたしました。

無床診療所においては、医療法で定められている医療安全に係る従業員研修にもご利用いただけますので、医師だけでなく医療従事者の方も、気になる研修がある場合は、ぜひ、主催する市郡地区医師会に申し込んでください。

日程	開催方法	研修内容		全体定員 (他地区定員)	主催医師会 問合せ先	Web申込	
令和8年	5/26(火) 19:30	Web 現地	演題	医療業界のサイバーリスクの現状及び対策	70名 (10名)	佐伯地区医師会 0829-20-0030	
			講師	東京海上日動火災保険株式会社 広島支店 企業公務金融室 川畑 拓人			
	7/29(水) 19:00	Web 現地	演題	カスタマーハラスメントと応招義務	50名 (20名)	府中地区医師会 0847-45-3505	
			講師	広島県医師会 医事紛争顧問弁護士 前川 秀雅			
	12/2(水) 19:00	Web 現地	演題	職場トラブル防止の考え方	50名 (20名)	府中地区医師会 0847-45-3505	
			講師	東京海上日動火災保険株式会社 広島支店 企業公務金融室 川畑 拓人			

- 他地区からの参加は、Web参加を原則とします。
- 開催地区の事情により、他地区からの受入可能人数はそれぞれです。気になる研修会がある場合は、早めの申し込みをしてください。
- 上記研修会の受講は「必須」ではなく、将来に役立つ「自己スキルアップ」です。

## 医療安全研修ってしなきゃいけないの??



全ての医療機関は次の4つの安全管理体制の確保が義務づけられており、指針の策定等が必要です。医療機関として、安全管理体制をしっかり整備しましょう!!

### 【根拠法令：医療法第6条の12（管理者が講ずべき措置）】

病院等（病院、診療所又は助産所）の管理者は、厚生労働省令で定めるところにより、医療の安全を確保するための指針の策定、従業者に対する研修の実施その他の当該病院等における医療の安全を確保するための措置を講じなければならない。



医療安全への対応は、どんどん進化しています。  
 昔の情報だけでは、No!!  
 最新情報を常にキャッチし、患者が安心して通える医療機関を作りましょう!!  
 医師だけでなく医療機関スタッフにも声をかけて、  
 ぜひ、知識のアップデートをしてください。

(参考)

項目	指針の策定	体制の確保等	従業員研修	その他
安全管理体制	医療安全指針の策定	医療安全委員会の設置(※2)	年2回程度実施する他、必要に応じて実施(※3)	インシデント(ヒヤリ・ハット)報告、事故報告等(※4)
院内感染対策(※1)	院内感染対策指針の策定	院内感染対策委員会の設置(※2)	年2回程度実施する他、必要に応じて実施(※3)	感染症の発生状況の報告、院内感染マニュアルの整備
医薬品安全管理	医薬品業務手順書の作成	医薬品安全管理責任者の配置	必要に応じて実施(※5)	医薬品安全使用のための情報収集等
医療機器安全管理	医療機器保守点検計画の作成	医療機器安全管理責任者の配置	新機器導入時ほか必要に応じて実施(※5)	医療機器安全使用のための情報収集等

- ※1 医療安全管理と一体的に実施可。
- ※2 無床診療所においてはその委員会の設置は任意。
- ※3 無床診療所においては院外研修での代用も可。
- ※4 死亡・死産の場合は、必ず管理者(院長)に報告する。
- ※5 医薬品安全管理、医療機器安全管理、医療ガス安全管理に係る研修は、他の研修と併せて実施してもよい。

## 日本医師会ペイシェントハラスメント・ネット上の悪質な書き込み相談窓口

(日医ペイハラ・ネット相談窓口)

昨今、インターネット上(Google Map等の口コミやSNS等)で悪質な書き込み被害が増加しております。

日本医師会では令和6年10月に、インターネット上での悪質な書き込みについて、医療機関へのアンケートを実施し、令和7年1月より、日本医師会ペイシェントハラスメント・ネット上の悪質な書き込み相談窓口(日医ペイハラ・ネット相談窓口)を開設しました。

### 相談受付方法

●【会員限定メンバーズルーム】

<https://www.med.or.jp/japanese/members/info/patient/>

●フリーダイヤル：0120-830-870 (電話受付時間：平日9時～18時)

### 相談窓口概要

インターネット上での悪質な書き込みを含むペイシェントハラスメント全般について相談できます

### 費用

無料でご相談いただけます

## 編集室

## 浮世絵鑑賞を十倍楽しむ方法

NHK大河ドラマ『べらぼう』の影響もあり、浮世絵ブームが再来しています。当時の浮世絵は単なる美術作品ではなく、役者や遊女、名所や流行を庶民にいち早く伝え、贈り物としても楽しまれながら、江戸にとどまらず全国へ広がった情報メディアでした。もっとも、浮世絵は明治時代に入ると新しい印刷や写真技術の普及により、古いものとして急速に価値を失い、日本国内では顧みられなくなり、その芸術的価値を見いだしたのは欧米人でした。当時は二束三文で取引され、多くの名品が海外へと渡っていきました。現在、こうした名品の多くが欧米の主要美術館や博物館に所蔵されているのは、そのためです。しかし国内にも優れたコレクションは残されており、私たちは展覧会という形でそれらを鑑賞することができます。

葛飾北斎の神奈川沖浪裏や、「赤富士」として知られる凱風快晴のような目玉作品が来ていると、それだけで展覧会に足を運びたくなるものです。実際、こうした作品の前には人だかりがで、周囲への配慮もあって長くどまって鑑賞することは難しいものです。かといって、注目をひかない作品は素通りしてしまいます。鑑賞後、何を見たかと振り返ると、意外と目玉作品以外には思い出せないことはないでしょうか。それではもったいないので、私なりの鑑賞法をお教えます。コツは「鑑賞者」ではなく「バイヤー」になったつもりで、作品を一枚ずつ見ていくことです。

浮世絵はもともと絵草子屋で一定の価格で売られていた出版物ですが、その後、収集の対象となる中で作品ごとに価値が見いだされ、現在のような価格差が生まれてきました。ただし、写楽のように当時はほとんど評価されず、後世になって高く評価された例もあり、現在の価値は必ずしも当時の人気だけで決まるものではありません。では、どのように作品を評価していくのか。少し視点を整理すると、まず最初に見るべきは「誰の作品か」です。写楽、北斎、広重、歌麿といった絵師は別格であり、この時点で作品の価値は大きく上振れします。さらに、流派の中で師匠や弟子が有名であると本人の格も上がります。富嶽三十六景や東海道五十三次などの有名なシ

リーズ物は全作品を集めたい人もいるため価格が上がります。構図の強さや画題の魅力も大切です。風景画では、江戸の風景、富士山が描かれていると人気が高くなります。さらにはモネやゴッホなど西洋美術の巨匠が模写したものや、切手に描かれるなどの認知的要素も、価格に大きく関わってきます。この辺りは浮世絵入門編です。

さらに、実際の価値の評価は「減点」の発想で考えます。初摺かどうか、すなわち摺りの質は重要な要素であり、線の鋭さや色板の木目の現れ方、ぼかしの違いから判断します。保存状態はかなり大切な要因で、退色や虫損、裏打ちや余白の欠損があれば大幅な減点となります。希少性も無視できず、現在どれだけ現存しているかが評価に影響します。まず、初摺で保存状態も良好な完品の評価額を定め、そこから状態や摺りの条件によって価格が下がっていきます。場合によっては完品の百分の一以下になることもあり、本物であっても価値に大きな幅が生じるのはそのためです。また、浮世絵専門のオークションサイトでの落札価格や『開運!なんでも鑑定団』の鑑定結果などを見ておくと、かなり参考になります。もっとも、私たちに真贋の判断はできません。展覧会に並ぶ作品はすべて本物と考え、本物を味わいながら自分の目を養うことが、浮世絵鑑賞の醍醐味になります。多少の予備知識は必要ですが、その学び自体もまた楽しみの一部であり、本稿がその手がかりとなれば幸いです。

展覧会では、目玉作品には人が集まり、さらに目が向きがちです。しかし、そのすぐ近くに、異なる魅力をもちながらも見過ごされる評価の高い作品が潜んでいることもあります。そうした一枚に足を止め、ゆっくりと向き合う時間は、また別の楽しみを与えてくれます。広島では浮世絵の展覧会が開催される機会は多くありませんが、東京では、どこかで浮世絵の展覧会が開かれていることが多いものです。東京へ出張で訪れた際には、浮世絵の展覧会を訪れ、行列の先だけでなく、その周囲にも少し目を向けてみてください。自分なりに価値を見立てながら一枚を選び取る体験は、浮世絵展の印象をきっと変えてくれるでしょう。

(住居 晃太郎)

## 広島県医師会速報 2026年(令和8年)5月5日

- 発行所／一般社団法人 広島県医師会 〒732-0057 広島市東区二葉の里三丁目2番3号 TEL:082-568-1511 FAX:082-568-2112  
広島県医師会HP <https://www.hiroshima.med.or.jp/> E-mail:kouhou@hiroshima.med.or.jp
- 編集者／広島県医師会長 松村 誠  
(広報委員) 豊田 紳敬、上野 宏泰、宇高 毅、加藤 誓、金沢 郁夫、河村りゅう、住居見太郎、  
隅田ますみ、津村 清、中元 宏史、光野 雄三、岩崎 泰政、土谷 治子、正岡 良之
- 印刷所／レタープレス株式会社 〒739-1752 広島市安佐北区上深川町809番地の5 TEL:082-844-7500 FAX:082-844-7800